

令和 3 年度使用

中学校 教科用図書 調査研究報告

令和 2 年 7 月

小田原市教科用図書採択検討部会
足柄下採択検討会

【注意事項】

- ・ 調査研究報告書は、写真撮影等による記録をご遠慮願います。
- ・ 本日の資料は、採択終了後にホームページで公開します。

	発行者の略号	東書	三省堂
	書名	新しい国語（1～3）	現代の国語（1～3）
ア 教科・ 種目に 共通な 観点	① 編集の趣旨と工夫	各学年で身につけるべき国語の資質・能力が、教材ごとに「言葉の力」として生徒にも分かりやすい表現で示されている。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域について、3年間を通して系統性・段階性をもたせるように教材の配列が工夫されている。また、各教材で身につけた「言葉の力」を、他の教材でも活用できるように配列が工夫されている。	発達段階や学年の特性、学校生活や行事など、季節感を考えて編集されている。特に、各学年が同じ時期に同じ領域の学習ができるような配置の工夫がされている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	① 文法の教材では学習の導入にゲーム形式を取り入れるなど、生徒が楽しみながら主体的に学べる工夫がなされている。 ② 「書くこと」や「読書」の教材を通して、情報活用能力を育成できるよう配慮されている。 ③ 基礎編の「学びを支える言葉の力」では実際に日常で経験しそうな場面を想定した学習内容で、汎用的な力を育成することができるように工夫されている。教科書全体を通して、国語学習を生活や人生に生かすという視点で教材が作成されている。	① 「語彙を豊かに」や読むこと教材の脚注欄で、教材の学習に関連づけながらことばの基本的な知識・技能が習得できるように工夫されている。 ② 各教材に設けられた「学びの道しるべ」は、いくつかのプロセスをたどりながら、学び方の基礎・基本を習得する手立てがされている。 ③ 文章教材は人や社会について多角的に考える教材が配列されている。また対話や考えの共有などの設定により、交流による学習の達成感を引き出す工夫がされている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ② 箱根町 ③ 真鶴町 ④ 湯河原町	概ね良い。	概ね良い。
	(7) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	① 教科書全体を通して課題解決的な言語活動が計画的に設定され、仲間との対話を通して学びを深める流れが作りやすくなっている。また、教材の導入部分「学びの扉」では、生徒が共感しやすい日常のつまずきの場面を漫画で表現し、課題となる点を生徒が主体的に発見できるように配慮されている。 ② その教材が他教科の内容と関連がある場合、最初のページに関連教科名を表示して分かりやすい。 ③ (イ)①を参照。 ④ 生徒にとって親しみのある浦島太郎を古典教材の導入に使うことで、興味関心を高めると共に古典を学ぶ意義も伝える工夫がされている。 ⑤ 教科書全体を通して、対話をしながら学びを深められるように工夫されている。 ⑥ 1年生前半は、小学校の復習的な内容を扱うと共に文字量をおさえ、スムーズな進級を促す工夫がされている。 ⑦ 「読むこと」(言葉とメディア)系統の教材でメディアリテラシーを学び、「書くこと」(伝達)系統の教材で情報活用能力を育成できるように各学年で配慮されている。 ⑧ アの(エ)③を参照 ⑨ 導入で課題に気付き、教材を「読むこと」で課題を解決できる。そこで学んだことを次の教材を通して「書く」「話す・聞く」といった言語活動へつなげることで、資質・能力をバランス良く身に付くような配慮がされている。	① グループディスカッションや、データ・グラフからの情報の読み取りの教材で、交流や共有のプロセスが設けられてあり、課題解決の力を伸ばす構成になっている。 ② 全教科の学習を支える基礎的な力を「読み方を学ぼう」や「思考の方法」で学習できるように工夫されている。英語「音声のしくみとたつき(1年)」、社会「共生社会に関するデータ(2年)」、理科「フロン規制の物語(3年)」など、関連のある教材が取り上げられている。 ③ (イ)①を参照 ④ 物語・随筆・紀行文や、漢詩・漢文、また短歌(和歌)・俳句などの古典作品が数多く取り上げられている。古典教材には折り込みページを配して作品の全体像を捉えられるようにしてある。 ⑤ 冒頭の領域別教材一覧には、教材に関する言語活動の具体が記載されており、各学年とも言語活動例が網羅されている。 ⑥ 1年生の最初の説明文教材の前にプレ教材が設けてあり、小学校の学習の確認をしながら中学校の学習に円滑に接続できるようにしてある。 ⑦ 各学年に「情報を関連づける」単元を設けており、資料編には情報リテラシーを高めるための「情報探しの方法」「引用と著作権」を配し、情報の扱い方の学習ができるように構成されている。 ⑧ アの(エ)③を参照 ⑨ 3年間を通して、単元に系統性があり、単元ごとに習得と活用を繰り返しながら、学習が螺旋的・反復的に積み上げられるように構成されている。
(4) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	① 概ね適切である。 ② 鮮やかな表紙から各学年へメッセージを感じ取ることができる。また、使用している用紙も改訂前と比較して4.5%の軽量化がなされるなど使いやすさを向上させている。 ③ 筆遣いや字形を実際の書き文字に近づけた特別な明朝体を使用し、見やすさと分かりやすさを向上させている。また、小学校で習っていない漢字には初出箇所には振り仮名をつけている。	① 概ね適切である。 ② カラーユニバーサルデザインによる配色や、色の濃淡や罫線の使い方などに工夫が凝らされている。 ③ 読みやすさを意識して開発した独自の書体を使用しており、画数や点画の方向に誤解が起らない配慮がある。また、字間・行間は生徒の発達段階を踏まえており、読みやすいレイアウトになっている。	
イ 教科・ 種目別 の観点	① 学習指導要領解説に示された言語活動例をもとに各領域（話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと）の資質・能力を育成するための題材として工夫や配慮がなされているか。	① 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各教材で身につけたい資質・能力が「言葉の力」という形で分かりやすく明示されている。また、他教材だけでなく、他教科や実生活でも生かせる汎用性を持たせている点も良い。さらに、教材末尾の振り返りにおいて、学んだことを自分のことばで記述する活動が設けられているので、言語能力の確実な育成につながることを期待できる。	① 「話すこと・聞くこと」の領域では、「ビプリオバトル(2年)」などの言語活動が取り上げられている。「書くこと」の領域では、テーマ例・作文例・作品例を示し、ゴールイメージを持って書くことに取り組めるような工夫がある。「読むこと」の領域では、文章や図表の効果を考える課題や、条件を踏まえて意見を述べる課題や、読み比べる課題などの手立てがある。「伝統的な言語文化」の領域では、現代と古典の世界をつなぐ導入が置かれており、ビジュアルな資料を効果的に配置している。
	② 語彙を豊かにするための題材として工夫や配慮がなされているか。	② 「読むこと」の教材末尾に「広がる言葉」が設定され、文章中の表現と関連させながら、語感を磨いたり語彙を豊かにしたりすることができる。また、文法を取り扱う教材では、物語仕立ての文章で、楽しみながら日本語のきまりや特徴を学べるような工夫がなされている。	② 各教材に「語彙を豊かに」を設定し、教材のことばに関連する多様な語句を取り上げたり、学習活動に即した表現例を提示したりするなど、語彙力を高める工夫がされている。
	③ 読書活動の充実を図るための題材として工夫や配慮がなされているか。	③ 各学年で「読書」の教材が学年の始まり、各長期休暇前に設定されている。また、各学年においては戦争・平和、国際理解・人権など、テーマ別に作品が選定されるとともに読書活動のてびきがつき、図書館を利用して調べたり、ポップを作成したりするなど、「情報活用能力」を育成する工夫もなされている。	③ 「読むこと」教材の末尾に、教材と関連性のある図書紹介「私の本棚」がある。また、「読書の広場」にはテーマごとに各学年47冊の図書紹介がある。資料編には図書館の利用方法が掲載されており、読書活動をすすめるための手立てがある。

	発行者の略号	教出	光村
	書名	伝え合う言葉 中学国語（1～3）	国語（1～3）
ア 教科・種目に共通な観点	① 編集の趣旨と工夫	生徒の自覚的な学びのための知識・方法を具体的に示し、各内容を反復的に学習することで言葉の力を身に付けられるよう工夫がされている。また、SDGs等の現代的な課題を取り上げることなどを通して自ら問をもち交流しながら考えを深める活動が設定されている。	「習熟段階を踏まえた学習の積み重ね」を重視し、教材を精選し配列を工夫がある。各分野が長期休暇を挟む期間毎に網羅され、生徒自身も学習計画や授業の見通しが立てやすい。また、SDGsにも対応した教材を取り上げるなど、構成が工夫されている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	① 各教材に[知識及び技能]の指導事項を設定し、言葉や情報の扱い方、各領域等で学ぶべき基礎的・基本的な知識・技能が身につくような、教材の作成、構成になっている。 ② 各教材の始めに「学びナビ」を設け、言語活動のポイントを示すなど生徒が明確な見通しを持ち、重点を明確にして学習を焦点化して進めることができるように工夫されている。 ③ 新しい時代の社会を担う一員として、生活や社会における様々な課題に対して、それを発見し、他者との協働的な活動の中で、コミュニケーション力を高め、互いの立場や考えを尊重し、よりよい態度と解決を目指す態度と資質・能力を育成できるよう配慮してある。	① 基礎基本を重視し、思考・表現の活動に生かせるよう語彙表が用意されており、語彙の拡充と実践使用を意図した構成になっている。 ② 主体的・対話的な学習活動を進められるよう、「聞き上手になろう」などの主体的に聞く教材や「助言を自分の文章に生かそう」などの書くことについての多様な教材が系統的に配置されている。 ③ 実生活に生かす国語の力を身につけられるよう、必要になる技能を高める課題や今日的な課題が設定されており、各教材共、導入に力を入れ興味関心を引き出しやすい試みがなされている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	概ね良い。	概ね良い。
	(9) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	① 国語科、学習者の課題に向かうキーワードを7つ設定し、これに即した多様な話題を通して、生徒が自ら問を立て、試行錯誤しながら課題を解決する自己学習力を育成できるように工夫されている。 ② 教材末に「学びに生かそう」を設けることで、国語科で学んだことを他教科や日常生活に生かせるように配慮されている。 ③ イ①を参照 ④ 長く現代まで受け継がれている我が国の言語文化を重視し、古典作品や近代文学はもとより、各領域等で伝統的な言語文化への関心を高める教材が設けられている。 ⑤ 各領域の教材で学習指導要領に示された言語活動例と指導事項を対応させ、バランスよく設定されている。 ⑥ 小学校で習得した事柄を中学校でも確認し、着実に習得するための丁寧な説明や、振り返りのステップを明確に位置付けている。 ⑦ 各領域の教材で、学習に関わる語彙や表現をまとめ、教材の中の多様な情報（内容）のつながりを把握し、活用する力を育成できるように工夫されている。 ⑧ ア(エ)③を参照 ⑨ 指導内容を螺旋的・反復的に繰り返して資質・能力の向上を図る指導ができるように、学年間と学年を通しての系統的な単元構成が意図されている。	① 主体的な学びを引き出すために「見通し」と「活用」を重視している。各教材全てに「見通しをもつ」「捉える」「読み深める」「考えを持つ」「振り返る」の一連の流れが明示されており、学習過程に沿って学びのスパイラルが形成されている。 ② 「モアイは語る」(2年・社会・技術・総合・道徳)や「情報」教材(全学年・さまざまな発表を伴う場面)など教科横断的に発展・深化させる教材が各学年とも採録されている。 ③ イ①を参照 ④ 古典の教材は、伝統文化に親しむ上で、リズム感・語感に優れたスタンダードな名文(「扇の的(平家物語)」)などを採録している。導入ではカラーイラストや豊富な図版資料が用意されており、見てわかり読んで味わう工夫がされている。 ⑤ 対話やスピーチだけでなく、「書くこと」で思考の過程をまとめたり、他者と協働してより良い情報伝達の方法を工夫したりする活動が取り入れてある。 ⑥ 漢字・語句は小学校段階の復習として1年各所で扱うほか、1年最初の教材は文字も大きめで取り組みやすい教材を配されている。また3年では、高等学校への接続を意識した社会性の高い教材を取り上げている。 ⑦ 「情報化社会に生きる」などの独立した単元が設定されており、3年間を通してメディアリテラシーを含めた情報活用能力と思考力の向上が図られている。 ⑧ ア(エ)②③を参照 ⑨ 生徒にも教師にも取り組みやすいように巻頭と単元冒頭に目的・目標・流れが明確に示されている他、3年間・1年毎・単元の種類毎に学習の積み上げが図られている。
(1) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	① 概ね適切である。 ② 一部にユニバーサルデザインに配慮した書体(ユニバーサルデザインフォント)や、デジタル機器で表示した際の視認性が向上した書体を採用している。また、表紙や製本は長期の使用に耐える堅牢な方式となっており、紙は軽量で裏写りのないものを使用している。 ③ 本文と脚注など内容のまとまりを明確化したり、文字と、イラストや図表、模範などとの空きや重なりに注意したり、マークやデザインの使用を統一して整理したりするなど、教材の重点に集中でき、内容が把握しやすいレイアウトを工夫している。	① 概ね適切である。 ② カラーユニバーサルデザインを取り入れ、フォントにも配慮がなされている。また、拡大教科書や資料のデジタルコンテンツなども用意されている。 ③ ②に加え、図版資料等は豊富であり厳選されている。イラスト・背景等にも文章との関連を重視した配慮がうかがえる。また、資料と文章を結びつける学習にも向いている。	
イ 教科・種目別の観点	① 学習指導要領解説に示された言語活動例をもとに各領域（話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと）の資質・能力を育成するための題材として工夫や配慮がなされているか。	① 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域では、「何を」「どのように学ぶか」という学習の進め方と、自さすゴールを例示している。問題解決のための対話力や表現力コミュニケーション力を重視し、生徒が学習の見通しを持ちやすいようにしている。「読むこと」では、教材本文の読みの観点を明確化・焦点化した主体的に読み進めることができるようにしてある。	① 観点ごとに学習系統が設定されており、例えば「話す・聞く」の領域では、紹介→説明→提案(主張)など3年間の発達段階を見通して学習を積み重ねやすくしており、加えて「考えて話す」といった、思考を伴う話し方の基本的な練習ができるよう工夫されている。「書くこと」の領域では、段階的な構成に加えて情報活用力を育てるための工夫が加味されている。「読むこと」については、文学的文章として採録された教材の多くは心に残る台詞やセンテンス、日本語の美しい響きを有しているものを厳選している。
	② 語彙を豊かにするための題材として工夫や配慮がなされているか。	② 重要な語句や表現は脚注欄に「意味を確認する」「短作文で表現に生かす」「考えるときの観点として生かす」など、学習上の観点と共に抽出し、教材の理解を助けるとともに、異なる学習場面での理解や表現に生かせるように配慮している。また、それらの語句を教材の末尾に一覧まとめて示してある。	② 教材に日常よく耳にする慣用語や語句が使われているものが多いため、授業自体が語彙学習にもなるよう配慮されている。また、教科書脚注欄に漢字・語句・類義・対義・意味・解説などがまとめられており、意味調べや短作文などの活動を通して語彙の習得のために効果的に活用できる。語彙学習としての小単元が各所にちりばめられた構成になっているのも効果的であると思われる。
	③ 読書活動の充実を図るための題材として工夫や配慮がなされているか。	③ 各単元のキーワードや教材の内容に関連した図書を、単元ごとに「広がる本の世界」を設けて紹介している。また、デジタル資料「まなびリンク」では、図書館司書の仕事や図書館活用と関連させた図書紹介がある。	③ 教材末にある「広がる読書」のコーナーや読書教材内の「本の世界をひろげよう」などに、四十七都道府県の推薦図書リストから選んだ本、表紙付きカラー印刷で277冊を紹介し、一部は本文紹介している。また、学年毎に「本を紹介する」「感想を共有する」「読書生活をデザインする」といった系統的学習内容も採録され、読書活動の広がりに寄与している。

	発行者の略号	東書	大日本
	書名	新しい数学	数学の世界
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫 (7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条、第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮 (4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④蒲河原町 (9) 内容と構成 ○中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	「わかる」「できる」を確かなものにする 「深い学び」で、考える力が身に付く 数学のよさを実感し、もっと学びたくなる ①例題と似た問題が設けられ、内容を確実に理解でき、巻末に「補充の問題」では繰り返し練習できるよう、個に応じた基礎的・基本的な知識や技能が確実に習得できるよう構成されている。 ②「章の問題 B」では、「事柄や事実」「方法や手順」「理由」を記述式で説明する「活用問題」が設定されている。 ③「学びをふり返ろう」や「大切にしたい見方・考え方」では、学習を振り返る機会を随所に設け、数学的な見方・考え方を働かせることによるよさを実感し、生活や学習に積極的に活用しようとする態度を養えるよう構成されている。 ①「学びをひろげよう」において、数学と関わる仕事をしている人の思いやその仕事内容が紹介されている。（夢への挑戦） ②「問」には、「例」と似た型の問題に「ダイヤモンド」をつけ、「例」の理解を確認してからほかの問題に取り組めるようにし、「例」と「問」の段差によるつまづきを解消できるように構成されている。（知育） ①「深い学び」では、問題発見・解決の過程を重視した数学的活動が設定されている。また、問題「Q」では、補助疑問を手がかりとし、主体的に考えたり、調べたりする問題解決的な学習ができるような課題が設定されている。 ②他教科と関連がある問題にマークを示し、教科横断的な学習の参考になるよう工夫されている。また、「D」マークのついた箇所では、関連する他教科の教科書紙面がweb上で、閲覧できるようにされている。 ③「数学マイノート」では、ノートづくりの工夫や振り返りの記述例が紹介され、巻末の「レポートにまとめよう」では、論述・要約する力が育まれるような例が掲載されている。 ④第1学年では、日本伝統模様を用いた図形のしきつめ、第2学年では、桜の開花予想、将棋の先手の決め方、第3学年では楽器の鼓をイメージした建物の直径を求める課題が設定されている。 ⑤第1学年の空間図形では、5種類の正多面体を組み立てて観察できるものや角錐の体積を調べられる学習用具が用意されている。 ⑥第1学年の0章では、小中の円滑な接続が図れるように、かけ算の九九に関する内容が構成されている。また、第3学年の「数学のまど」や「数学の自由研究」では、高校などの先の学習につながる発展的な内容が取り上げられている。 ⑦第1学年では、必要な情報を取捨選択したり、情報を読み取ったりする課題が設定されている。第2学年では、実際のデータを用いて、目的に応じてデータを分析する活動が設定されている。第3学年では、プログラミングが体験できるように構成されている。 ⑧「基本の問題」を節ごとに設け、節の基本的な内容の理解を確認し、早期につまづきに対応できるように構成されている。 ⑨節の導入では疑問から次の学びへと向かう意欲が高まる工夫がされている。	数学的活動を通して、思考力、判断力、表現力を育てる 基礎的・基本的な知識や技能が身に付く 数学のよさ、考える楽しさが実感でき、数学の世界を豊かにする ①「たしかめ」「Q」「プラス・ワン」など、新しく学んだことがしっかりと身につくよう、さまざまな問題が設定されている。 ②「Q 判断しよう」「Q 伝えよう」では、数学的な判断力・表現力を育むために、学習した内容をもとに判断し、数学の用語や図などを使って他の人に考えを伝える題材が設定されている。 ③各領域の「社会にリンク」では、数学で学んだ知識が社会生活や自分の職業などに生かされている具体例を、実社会で活躍する人物からのメッセージとして掲載されている。 ①「社会にリンク」において、職業と数学との関わり、その仕事のやりがいなどが紹介されている。（夢への挑戦） ②学習したことと同じように取り組める「たしかめ」や「Q」を補充する「プラス・ワン」、節末の「たしかめよう」、巻末の「〇章をふり返ろう」、巻末の「補充問題」など、繰り返し練習する機会が設けられている。（知育） ①各章に「活動」が設定され、これまでの学習を生かして予想したり、調べたりする問いや、考えを比べたり、話し合ったりする場面が取り入れられている。また、「Q 伝えよう」では、数学の用語や図などを使って、人に考えを伝える課題が設定されている。 ②巻末の「MATHFUL」では、数学の歴史や数学者、美術や音楽などの芸術分野との関わりが紹介されている。 ③第1学年の「学びにプラス（数学の表現を使おう）」では、数学的な言語力を高めるための課題が設定されている。 ④第1学年では、麻の葉模様や万華鏡、手まり、第2・3学年では、折り紙などを取り上げられている。 ⑤第1学年の空間図形では、2種類の正多面体を組み立てて観察できる学習用具が用意されている。また、データの分析では、データを収集するための活動が設定されている。 ⑥第1学年の巻末の「小学校の算数ふり返り」では、算数で学習した内容が確かめられるように構成されている。また、「知りたい！高校ではどんな数学を学ぶのかな？」では、高校で学ぶ数学の内容が中学校での学習と関連させて紹介されている。 ⑦デジタルデータの活用が有効な場面において、コンピュータを活用した指導ができるように配慮されている。第3学年のデータ活用領域においては、表計算ソフトウェアの具体的な操作の手順が紹介されている。 ⑧学習の習熟度や個に応じて利用することができる「たしかめよう」「〇章をふり返ろう」「補充問題」が設けられている。 ⑨導入課題には「考えよう」が設定され、生徒自らが問題や疑問を見いだすことができるように構成されている。
	(1) 分量・装丁・表記等 ①各内容の分量とその配分は適切であるか。 ②体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね適切である。 ②配慮されている。 ③カラーユニバーサルデザインの観点を意識し、ユニバーサルデザインフォントや具体物の写真など配慮されている。	①概ね適切である。 ②配慮されている。 ③本文にユニバーサルデザインフォントを使用するなど配慮がされている。
	イ 教科・種目別の観点	①数学的活動を通して、基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。 ②言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、論理的に考察し、さらにその過程を振り返り、その考えを表現して深めるための工夫や配慮がなされているか。 ③不確定な事象を取り扱うなかで、目的に応じてデータを収集して処理し、その傾向を読み取って判断するような題材の工夫、批判的に考察し、問題解決に取り組めるような題材の工夫や配慮がなされているか。	・生徒が主体的に考えたり調べたりする問題解決的な学習を通して、新たな知識や技能を身に付けることができるような問題「Q」や補助発問が設定されている。 ・「説明してみよう」では、数学的な表現を用いて、自分の考えを説明し合える活動ができるように構成されている。また、「考えてみよう」「調べてみよう」では、既習事項を利用して、問題を解決する方法を論理的に考察できるように構成されている。 ・「Dマーク（デジタルコンテンツ）」が掲載されている課題では、データを処理し多様な統計グラフを作成できる「Tosho 統計ツール」や、標本を無作為に抽出して母集団の平均値を求めるコンテンツを用いてデータを整理し、データの傾向を読み取り批判的に考察する活動が設定されている。また、大量のデータページを充実させて、データ収集及び整理の練習ができるよう構成されている。

	発行者の略号 書名	学図 中学校数学	教出 中学数学
ア 教科・種目 に共通な観点	<p>①編集の趣旨と工夫</p> <p>(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条、第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮</p>	<p>「なぜ?」「わかった!」を尊重する力・論理的に考える力を身に付ける 多様な他者とコミュニケーションする力・少数意見も尊重した合意形成する力を身に付ける 未解決の問題への関心・社会貢献する意欲を高める</p> <p>①「章のまとめの問題」では、基本、応用、活用の3つに分類し、習熟度に応じた確認ができ、章末や巻末の課題で個に応じて学力を伸ばせるように構成されている。 ②「Q」では、対話的に学習が進められるように、解決に向けた見通しを立てる話し合いの場面から、生徒自ら目標を設定し、問題解決における話し合いの場面などが設定されている。 ③章末の「役立つ数学」では、身のまわりのどのようなところで数学が役に立っているのか、数学史の中で数学がどのような発展をしてきたのかを知ることで、数学の学習への意欲を高められるように構成されている。</p>	<p>楽しさやよさを実感しながら、学力を確実に身に付ける 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通じた資質・能力の育成</p> <p>①同じ誤りを繰り返すことがないように、よく見られる誤りを取り上げ、誤りを正しく直したり、注目したりできるように構成されている。また、学習した知識・技能には、どんなよさがあるのかを、キャラクターの言葉で示されている。 ②重要な数学的な見方・考え方が使われている箇所の側注には、学習内容に沿った具体的な言葉を添え、数学的な考え方が明示されている。 ③「数学の広場」では、日常生活や実社会に関連する話題や課題、学習したことをさらに探究する課題などが掲載されている。</p>
	<p>(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町</p>	<p>①巻末の「表現する力を身につけよう」において、自分の考えをまとめ、他者に伝える、発表のしかたや聴き方について考えることを通して、相手の立場を尊重する態度を考える場面が設定されている。(健やかな心と体) ②「ふりかえり」「確かめよう」「やってみよう」章のまとめ問題「深めよう」を設け、既習事項の確認や基礎的・基本的な知識や技能が習得できているか確認し、定着が図れるようになっている。(知育)</p>	<p>①自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりして、自他の敬愛と協力を重んじる態度に触れる場面が設定されている。(健やかな心と体) ②本文の学習を進めるうえで、関連する既習内容を「もどって確認」で示し、基礎的・基本的内容を生徒自らが確認できるようにしている。(知育)</p>
	<p>(7) 内容と構成 ○中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確かな育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p>	<p>①「Q」では、側注の「見方・考え方」をもとに、解決に向けた見通しを話し合い、生徒が自ら考え、主体的に学習を進められるように構成されている。 ②「深めよう」では、他教科と関連した課題が設定されている。 ③巻末の「表現する力を身につけよう」において、レポートなどの発表のしかたや聴き方を考え、よりよい伝え方や聴き方を身につけられるような場面が設定されている。 ④第1学年では、伝統模様や和算について、第2学年では、鶴亀算、第3学年では伊能忠敬の業績が取り上げられている。 ⑤第1学年では、正の数・負の数の加法において、巻末の学習用具を使ってカードゲームができるよう設定されている。また、角錐の体積を学習用具を用いて考える課題が設定されている。また、小学校で学習した内容を第1学年の各領域の「ふりかえり～算数から数学へ～」で確認できるように構成されている。 ⑥第3学年巻末の「高校へのかけ橋」において、中学校の内容と関連のある題材を取り上げられている。 ⑦各学年の巻末の「プログラミングを体験してみよう」では、スクラッチを使用したプログラミングを体験しながら、プログラミング的思考が育むように設定されている。 ⑧各領域の前には、「ふりかえり」のページを設定し、既習事項を確認できるように構成されている。 ⑨「トライ」や「Tea Break」「深めよう!」「さらなる数学へ」で補充的・発展的な内容を設定し、実体に応じて学習が進められるように構成されている。</p>	<p>①複数の生徒の考え方を適宜取り上げ、よりよい解決方法を見つけようとする場面や、誤りであることを論理的に説明する力をつける場面が設定されている。 ②陸上トラックの作り方、記号や式の英語の読み方、斜面上の球の運動など、他教科と関連の深い場面を積極的に取り上げられている。 ③「レポートをかこう」では、調べて分かったことや感想などをレポートにまとめた例が示されている。 ④数学に関連する伝統文化や他国の数学の歴史が紹介されている。 ⑤「Q」では、作業、観察、実験、調査などの活動を通して、結果を予想したり、新たな法則や性質を見いだしたりする場面が設けられている。 ⑥第1学年の空間図形では、5種類の正多面体を組み立て観察できたり、角錐の体積を調べたりする学習用具が用意されている。 ⑦「算数から数学へ」では、小学校から中学校への学習内容の拡張が示されている。また、「ひろがる数学」では、中学校から高等学校へ学習内容がどのようにひろがっていくかが紹介されている。 ⑧動的な表現や3Dによる立体表現を活用できるようなデジタルコンテンツが用意されている。 ⑨「例」と「たしかめ1」の問題の型をそそえ、順序立てて無理なく取り組めるように設定されている。 ⑩式の計算や方程式では、系統性を考慮しながら易から難へと配列されている。また、巻末の「数学の広場」では、本文の学習をさらに発展させられるような課題が設けられている。</p>
	<p>(7) 分量・装丁・表記等 ①各内容の分量とその配分は適切であるか。 ②体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。</p>	<p>①概ね適切である。 ②配慮されている。 ③カラーユニバーサルデザインの観点を意識し、色だけでなく形でも判別できるよう工夫されている。</p>	<p>①概ね適切である。 ②配慮されている。 ③ユニバーサルデザインフォントを使用し、図においてはカラーユニバーサルデザインの工夫がなされている。</p>
イ 教科・種目 別の観点	<p>①数学的活動を通して、基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。</p>	<p>・小タイトルを入れることで、どんな知識・技能をこれから身につけていくか明示し、「どんなことがわかったかな」では、目標に沿った形で提示し、項の学習を通してどのような知識・技能を身に付けることができたかが明確になるように掲載されている。また、「次の課題へ!」で既習事項を確認した上で、思考が次の課題へ繋がるよう構成されている。</p>	<p>・巻末の「学習のまとめ」では、各章の重要事項や解法がまとめられ、基礎的な知識や技能の習得の確認ができるよう構成され、「例題」「たしかめ」「問」「補充問題」と段階的に学習しながら力を身につけられるよう配慮されている。</p>
	<p>②言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、論理的に考察し、さらにその過程を振り返り、その考えを表現して深めるための工夫や配慮がなされているか。</p> <p>③不確定な事象を取り扱うなかで、目的に応じてデータを収集して処理し、その傾向を読み取って判断するような題材の工夫、批判的に考察し、問題解決に取り組めるような題材の工夫や配慮がなされているか。</p>	<p>・単元ごとに「数学的活動」が設定されており、協働的な学習をもとに、主体的に問題発見から課題解決、さらに新たな問題を発見することができるように構成されている。また、巻末には、振り返りや考えが深められるよう「できるようになったこと」さらに学んでみたいことが設定されている。</p> <p>・巻末の「今の自分を知らう」では、SDGsの17の目標に関連する題材が設定されている。データから傾向や問題点を捉え、自分たちにはできないことはないかを考える中で、判断する力が身につけられるよう構成されている。</p>	<p>・単元ごとの利用の課題では、課題を図や表を利用しながら「問題をつかもう」「自分の考えをもとう」「友だちの考えを知ろう」「みんなで話し合おう」「深めよう」と論理的に課題解決が図れるよう構成されている。</p> <p>・複数の不確定な事象を扱い、目的を持ってデータを収集し、データ処理や傾向を読み取り、判断できるように構成され、第2学年の「データの分析」では、気象データの課題を多角的に考察できるような流れで構成されている。</p>

	発行者の略号	啓林館	数研
	書名	未来へひろがる数学	これからの数学
ア 教科・種目 共通な観点	①編集の趣旨と工夫	数学を学ぶ楽しさや意義を実感でき、質の高い学びを実現できる教科書 資質を活かし、様々な能力を高めていくことができる教科書 数学を通して、社会生活の課題に対しても活用できる「数学的な見方・考え方」を体得できる教科書 生徒自らが学びの過程をふり返って評価し、改善する力をつけることができる教科書 授業内だけでなく、様々な学びの場で生徒が使いやすくなる教科書 学習の中でICTを有効に活用できる教科書	数学の基礎的・基本的な知識や技能が確実に身につく、豊かな人生を送るための基盤をつくる 数学的な見方・考え方や自己の考えを表現する力が、日々の学びを通して自然に身につく 個に応じて力を伸ばし、創造性を培い、身につけたことを生活の中で活用する力を高める 生命や自然、伝統や文化、他国を尊重するとともに、社会をよりよくしようとする態度を養う
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）」に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①「例」と「例題」が設定され、基礎的な知識を段階的に学習していく内容と既習事項を利用して学習していく内容を区別して取り組めるよう構成されている。 ②「説明しよう」、「話しあおう」、「まとめよう」では、自分の考えを整理し、まとめて伝えたり、他者と自分の考えを比較して考えたりする場面が設定されている。 ③巻末の「学びのあしあと」では、学びの記録を残すことで、自らの学習を客観的に振り返ることができるように構成されている。また、巻末の「学びをいかそう」の「社会見学にいこう」では、生活や職業と関連する題材を扱い、勤労を重んずる態度を養えるように構成されている。	①例題には、学習内容の理解がしやすくなるようにねらいが記載されている。また、例題の解答例には、ノートへの書き方が簡潔に書けるように構成されており、様々な考え方に触れられるようにいくつかの解答例が掲載されている。 ②別冊「探究ノート」には、既習の内容を総合的に活用して解決できるような身のまわりの問題が設定されている。また、全体が対話的な学びの構成となっており、説明する問いかけや方法や理由を説明する問いかけが設けられている。 ③様々な身近な問題が取り上げられており、数学を活用する意識することや数学の有用性を感じることができるように構成されている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①「学びをいかそう」の「社会見学にいこう」では、職業と関連する題材が設定されている。（夢への挑戦） ②基礎的な知識・技能の確実な定着を図るために、計算や式の変形などが丁寧に示され、スモールステップでの学習が進められるよう構成されている。（知育）	①別冊「探究ノート」には、自分の考えを表現し、まとめるページが設定されている。（自ら考え表現する力） ②「ふりかえり」、「確認問題」、「ぐんぐんのぼそう チャレンジ編」では、既習事項のふりかえりや基本的な知識・技能の定着、思考力・判断力・表現力を育てることができるよう構成されている。（知育）
	(9) 内容と構成 ○中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」において、自分の考えを他者にわかりやすく伝える場面、他者との考えを比較してよりよい考えへと高めていく場面、ノートやレポートに考えを整理する場面が設けられている。 ②雷の音の速さ（理科）、ストリングアート（美術）、ランドルト環・AED（保健体育）など、他教科で学習する内容が取り上げられている。 ③「説明しよう」、「話しあおう」、「まとめよう」において、自分の考えを整理し、まとめて伝えたり、他者との考えを比較して考えたりする場面が設けられている。 ④「日本の伝統模様」さっさ立て「大炬」曲尺」など、日本の伝統のよさを感じ取れるような題材が取り上げられている。 ⑤「学習のとびら」において、観察や操作を取り入れた活動やデータを収集して整理する場面が設定されている。 ⑥第1学年では、「算数をふりかえろう」において、速さ・道のり・時間、割合、少数、分数を扱い、学び直しができるように構成されている。 ⑦情報通信ネットワークを使ってデータを収集したり、コンピュータを使って整理したりする場面が取り上げられている。 ⑧新しい学習に入る前などでは、「ふりかえり」で関連する既習内容を示すことにより、振り返りながら学習が進められるよう構成されている。また、「ふりかえり算数」、「ふりかえり〇年」のように示し、学習のつながりも意識できるように構成されている。 ⑨単元ごとの利用の課題では、数学を使って問題を解決したあとに、その結果を発展的に考えたり、深めたりする3段階のステップが設定されている。	①「Q」、「TRY」では、課題に取り組むプロセスがキャラクターの対話によって例示され、多様な意見を比較検討し、まとめていく場面が設定されている。 ②数字に関する英単語（英語）、圧力、濃度、天体（理科）、世界遺産に登録されている「五箇山」「富士山」「ナスカの地上絵」が取り上げられている。 ③「学習の進め方」や「ノートのつくり方」、「レポートを書こう」では、ノートやレポートの書き方、発表の仕方がわかるガイダンスページが設定されている。 ④第1・3学年では「和算」「算額」、第2学年では和紙・鹿威しが取り上げられている。 ⑤第1学年の作図では、定規などを用いて、条件を満たす位置を探す課題が設定されている。また、別冊「探究ノート」には、規則性を見つめるための表や機関庫の模型を作るための作図が書き込めるように構成されている。 ⑥「中学1年のまとめ」では、算数の内容をまとめて確認できるように構成されている。また、高等学校で学ぶ内容に触れられるような「発展」のページが設定されている。 ⑦開帳、図形、データの活用の各領域では、生徒が実際に操作しながら考察することができるデジタルコンテンツが設けられている。 ⑧章のはじめの「ふりかえり」では、その章の学びに関連する既習事項を振り返ることができ、このページに関連した内容が現れる箇所には「ふりかえり」の内容が掲載されている。 ⑨「問」、「確認問題」、「問題 A・B」、「チャレンジ編」と段階的に計算に取り組めるよう設定されている。
	(2) 分量・装丁・表記等 ①各内容の分量とその配分は適切であるか。 ②体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね適切である。 ②配慮されている。 ③メディアユニバーサルデザインの観点を持ち、ユニバーサルデザインフォントを用いているなどの配慮がなされている。	①概ね適切である。 ②配慮されている。 ③ユニバーサルデザインフォントが全体的に使われるなど配慮されている。
イ 教科・種目別の観点	①数学的活動を通して、基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。	・「ひろげよう」では、これまでに学んだことをもとにして考えたり、予想したりして、新しい学びへスムーズにつながるよう構成されている。	・各学年で学んだ知識を活用して解決する課題が別冊「探究ノート」にまとめられ、問題解決力を高める課題が設定されている。
	②言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、論理的に考察し、さらにその過程を振り返り、その考えを表現して深めるための工夫や配慮がなされているか。	・単元ごとの利用の課題では、自分から問題を見いだしたり、解決した問題をさらに発展させたりする力を育てるための3段階のステップが設けられている。また脚注には、様々な問題解決の際に必要な数学的な見方・考え方が掲載されている。	・「TRY1」、「TRY2」では、段階ごとに課題の難易度が上がることで論理的に考察できるような課題が設定されている。また、キャラクターの吹き出しでは、課題解決における助言だけでなく、解決の過程の振り返りや考えを深められるような内容が掲載されている。
	③不確定な事象を取り扱うなかで、目的に応じてデータを収集して処理し、その傾向を読み取って判断するような題材の工夫、批判的に考察し、問題解決に取り組めるような題材の工夫や配慮がなされているか。	・「説明しよう」や「話しあおう」が設定され、データの傾向を読み取り批判的に考察できるように構成されている。また、問題解決に取り組める題材として、身近の生活の中に隠れている様々なデータが設定されている。	・第1学年では、気温の変化を主たる題材として、データ処理の方法や傾向の読み取りを順に身につけられるよう構成され、第2学年の箱ひげ図では、学習にスムーズに入れるようにするために、導入として小学生で学んだドットプロットを用いた課題が構成されている。

	発行者の略号	日文	
	書名	中学数学	
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	「主体的・対話的で深い学び」を実現する 「わかる・できる」を確かなものにする 「数学は楽しい、役に立つ」を実感する	
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①例題にタイトルが掲載されており、きめ細やかなステップで展開され、基礎的・基本的な内容が理解しやすく、そして復習しやすく構成されている。また、章の導入前に既習事項が確認できるような問題が設定されており、基礎的な知識の理解状況が確認できるように構成されている。 ②数学的に説明をする学習の初期段階では、穴埋め形式で説明を完成させる問題が設けられるなど、数学的な表現力が段階的に身につけられるように構成されている。また、数量や図形などの性質を見いだし、統一的・発展的に考察する課題として「深めよう」が設定されている。 ③巻末の「暮らしと数学」や「数学を仕事に生かす」では、生活や社会の中で数学が重要な役割を担っている事例が紹介されている。また、各章の終わりには、章の内容に関連した内容に関する「数学のたんけん」が設定されている。	
	(4) 市町の方針との関連 ② 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①他者とのかかわりを通して多様なものの見方や考え方があることを理解し、助け合ったり高め合ったりできるような場面が設定されている。（健やかな心と体） ②各小節の「問」では、基礎的・基本的な内容が確実に定着できるような問題が設けられている。また、難易度が高い問題として側注に「チャレンジ」、基本的な問題として巻末に「補充問題」が設定されている。（知育）	
	(9) 内容と構成 ○中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ③学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ④言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①「考えよう」、「話し合おう」、「深めよう」、では、主体的・対話的で深い学びを実現するための課題が設定されている。 ②科学や芸術等、他教科とのかかわりのある学習題材が設定されている。 ③巻末の「数学レポートをかこう」では、数学的活動の過程を振り返り、レポートにまとめ発表することを通して、その結果を共有するような内容が構成されている。 ④第1学年では、伊能忠敬の測量、麻の葉模様など、第2学年では、勘右御伽双紙や、国内外の数学者の歴史が紹介されている。 ⑤データの分布では、全国各地の最新データを容易に入手できる気象データを収集して整理する活動が設定されている。 ⑥第1学年の巻頭の「算数の確かめ」や巻末の「算数の確かめ【問題編】」では、小学校算数で学んだ内容を確認することができるように構成されている。また、高等学校で扱う学習内容には（発展）マークが掲載されている。 ⑦プログラミング的思考が育まれるように、全学年に「プログラムと数学」が設定されている。 ⑧各章のはじめの「次の章を学ぶ前に」や「たしかめ」では、授業における生徒のつまづきを防ぐような内容が構成されている。 ⑨小節末の「やってみよう」や巻末の「とりくんでみよう」、巻末の「数学マイトライ」などでは、生徒個々の実情に応じて扱うことができる課題が設定されている。	
(4) 分量・装丁・表記等 ①各内容の分量とその配分は適切であるか。 ②体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね適切である。 ②配慮されている。 ③ユニバーサルデザインフォントを使用するなど配慮がなされている。		
イ 教科・種目別の観点	①数学的活動を通して、基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。	・学習の目的意識を持たせるために、学習の「めあて」が示されている。また、脚注には、本時に学習した知識・技能から次の課題へつながる内容が記載され、側注の「大切な見方・考え方」では、「知っていることを使えるようにする」や「同じように考える」などが明示され、学習した知識・技能が問題解決に生かせるように構成されている。	
	②言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、論理的に考察し、さらにその過程を振り返り、その考えを表現して深めるための工夫や配慮がなされているか。	・初出の数学用語の理解や用語を正しく使ったり、根拠を示して説明したりする数学的な表現が身に付くような具体例が「表現の例」として示されている。また、「学び合おう」では、巻末の「対話シート」を用いて、数学を活用して問題解決する方法を理解するとともに、自分の考えを整理し、他者と考えを伝えあうことや、その過程や結果を振り返ることができるように構成されている。	
	③不確定な事象を取り扱うなかで、目的に応じてデータを収集して処理し、その傾向を読み取って判断するような題材の工夫、批判的に考察し、問題解決に取り組めるような題材の工夫や配慮がなされているか。	・第1学年では、ヒストグラムの見方を表に整理して具体的に示し、より良い話し合いができるように構成されている。また、第2学年では、範囲と四分位範囲それぞれの良さや違いを理解できるように、それぞれの特徴が表に整理され掲載されている。	

	発行者の略号	東書	大日本
	書名	新しい科学	理科の世界
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫 (7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	教科書内で対話的な学習のモデルを効果的に見せることで、主体的対話的な学習ができるような工夫がされている。	5つのステップ（問題をみつけよう→計画を立てよう→結果から考えよう→振り返ろう→話し合おう）で進めている工夫がある。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	適切である。	適切である。
	(7) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①自分や他者への考えを検討・改善する場面や、他者対話する場面が多く掲載。 ②学習内容が、どの部分に関連するかを、引き出し線で結ばれている ③自然災害について地理でも学習することが示されている。 ④自分や他者への考えを検討・改善する場面や、他者対話する場面が多く掲載。 ④安山岩が城の石垣に使われていること他、岩石がそれぞれの地域で活用され、文化となっている場合があることを取り上げている。 ⑤おおむねよい。 ⑥これまでに学んだことで既習事項が掲載されている。また、本文の関係するところに引き出し線で示されている。 ⑦世界につながる科学で実際に科学の分野で働くヒトの声などが記載されている。 ⑧様々な事例を写真で紹介して、分かりやすくしている。 ⑨科学で調べていこうや科学の歴史が、漫画でわかりやすい。	①結果の見方、考察のポイントが示されていて、思考力、判断力を必要とすることで主体的な活動ができるよう工夫されている。「結果から考えよう」では対話的な活動が促されている。 ②「つながる」のコーナーで万葉集から見る植物を紹介し、国語や歴史に絡めている。 ③発表するための話し合いや提示の仕方を検討するよう促している。 ④安山岩が城の石垣に使われていること他、岩石がそれぞれの地域で活用され、文化となっている場合があることを取り上げている。小田原城の石垣の写真が使われている。 ⑤おおむねよい。 ⑥発展的な学習の数を学年が上がるほど多くなっている。（1年19、2年28、3年39） ⑦情報モラルを身につけるために気を付けることの読み物の項目がある。 ⑧日本各地の標準的な事例を写真で紹介して、分かりやすくしている。 ⑨結果や観察の例がページをめくらないと見られないようになっている。
	(1) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①適切である。 ②40mm縦が長い。A4スリム探究の流れがおさまる。 ③カラーユニバーサルデザインの観点から、グラフは色と線の形を変えている。 ③巻末に単位と有効数字の解説が書かれている。	①適切である。 ②ノートと同じサイズで使いやすい。 ③専用のアプリからデジタルコンテンツが使いやすい。 ③デジタルコンテンツが生徒にもつかいやすい。
	① 観察、実験などは、3年間を通じて、科学的に探究する力の育成が図られるような工夫や配慮がなされているか。	・レポートの書き方がとてもわかりやすく説明してある。 ・「科学で調べていこう」という見出しで、「問題発見（課題）→仮説→構想（調べ方）→実験観察→結果→考察（話し合い）→結論→発表（表現）→振り返り→活用」という学習の流れが提示されている。論議の仕方、発表の仕方が初めに提示されている。	・「思い出そう」から過去の学びとの関連性がわかる工夫が内容ごとにされている。 ・各単元末に、探求的活動の項目がある。
② 観察、実験などは、日常生活や社会とのかかわりの中で、生徒が理科の有用性を実感したり、自らの力で知識を獲得したり、また、それらを表現したりして、理解を深めて体系化していくような工夫や配慮がなされているか。	・生物のグループ分けを自分たちで考える工夫や、その後別の生物を獲得した知識からどこに分類されるか等の理解を深める問題提起がされている。また、これからの環境問題についても課題提起がある。 ・「つながる科学」という読み物にして、学習内容が生活の中のどのような場面で生かされているかが分かるよう示されている。	・「くらしの中の理科」として、学習内容が実生活とどのような関連があるかを学習できるように工夫してある。 例) 1年 津波警報、河岸段丘、ジオパーク、鉱物などがくらしの中の理科として扱われている。小田原城の石垣に地元の岩石が使われていることを扱っている。	
③ 原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測など、体験的な学習活動の充実が図られるような工夫や配慮がなされているか。	・遺伝子やDNAに関する研究・技術が日常とどのように関わっているかを調べて発表する活動になっている。	・“やってみよう”は、既習学習を活かして自分で実験できるものが多い。	

	発行者の略号	学園	教出
	書名	中学校科学	自然の探究 中学理科
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	実験・観察に多くのページを割いている。各章の始めと終わりに「Can-Do List」と称して、この章での学び方や自己チェックができるように解説されている。	教科書のはじめに観察・実験において課題、仮説、計画、観察・実験、考察、結論それぞれの学習の仕方の解説がなされている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①教科書の最初に「理科のトリセツ」のような表記で、その単元を学ぶ理由が解説されている。仕事や生活につながるよう細かく記載されている。 ②全時間に、この課題の見方・考え方がついている。また、仮説、ふりかえりがしっかりしている。 ③単元の最後に「学びを日常にいかしたら」とあり、学習した内容が今後の生活の中で生きるよう促されている。	①レポートの書き方、探究の仕方の説明が丁寧。 ②学習前と学習後の考えの変化を比較することができる。 ③「ハローサイエンス」と題して発展的な内容も含め、学習した内容が今後の生活の中で生きるよう促されている。 例) 1年 地質年代の一つである「チバニアン」を扱っている。「温泉と断層」の意外な関係を解説して興味関心を持たせている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	適切である。	適切である。
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①理科のトリセツで主体的に対話的で深い学びの実践の仕方の説明がある。教科書の巻末に、ホワイトボードがあり、全員が持っているので、話し合いがやりやすい。 ②自然災害、恵みについて地理でも学習することが示されている。 ③話し合いが必要な場面には人のイラストで話し合っている例が示されていて、どのように意見を言えばよいか分かりやすくなっている。 ④おおむねよい。 ⑤欄外に「これまで学んだこと」として何年生で学習したかが分かるように示されている。 ⑥QRコードを活用したプログラミング教材がある。教科書にフローチャートなどが紹介されている。 ⑦小数などのつまずきも復習されている。 ⑧人のイラストを使用して、丁寧にヒントを出している ⑨探求の課程が丁寧であり、すべての探究にCan-Do Listがある。 ⑩図や写真が豊富である。	①生徒キャラクターが理科学的な見方・考え方を働かせることができるように、展開に沿った適切な発言や素朴概念を織り込んだ発言をしている。 ②ブリッジのマークに、他教科で習う内容がわかる。 ③自分の考えを伝え合ったり、分析解釈科学的な概念を使用して考えたり説明したり言語活動を充実させる配慮が見られる ④おおむねよい。 ⑤「おさらい」として学びのあしあとが見られる。 ⑥ICT化の対応をもって充実を図っている。 ⑦「理科で使う算数・数学」として苦手な生徒にも丁寧にフォローしている。 ⑧各学年モデルカードがついている。 ⑨図や写真が豊富である。
	(エ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮されているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①適切である。 ②軽量化と内容のスリム化を図っている。 ③アイデアボードの活用による工夫がある。 ④コラム・問題などがQRコード化して、取り組みやすい工夫が見られる。 ⑤学習場面ごとに決まったピクトグラムを使用して、分かりやすくしている。	①適切である。 ②横にあった注釈がなくなり、縦方向のレイアウトになり、視点移動がスムーズ。 ③重要語句が朱書きになっている。
イ 教科・種目別の観点	① 観察、実験などは、3年間を通じて、科学的に探究する力の育成が図られるような工夫や配慮がなされているか。	・Can-Do List 自己チェックで何ができるようになったかを章ごとに確認することができる。 ・「理科のトリセツ」という見出しで、教科書の初めに探究の方法を示している。「気づき→課題設定→仮説→計画→実験→観察→結果→考察→振り返り」という学習の流れが提示されている。レポートの書き方、発表の仕方の解説がある。主体的、対話的、深い学びについての説明がある。	・探求を進めやすいレイアウト 課題→仮説→計画→実験→考察→結論がわかりやすく体系化されている。 ・レポートの書き方例があり、レポートをイメージして書ける。また、レポートの書き方の中で「誤差の取り扱い」、「有効数字」、「グラフの作り方」の解説が丁寧である。
	② 観察、実験などは、日常生活や社会とのかかわりの中で、生徒が理科の有用性を実感したり、自らの力で知識を獲得したり、また、それらを表現したりして、理解を深めて体系化していくような工夫や配慮がなされているか。	・サイエンスカフェの中でいろいろな仕事でも観察してスケッチをする大切さが書かれて、学習内容の有用性が配慮されている。また、学習内容を地域に反映させて学習するように促している。	・「学習前の私」で、日常生活に何気なくやっていることは「なぜ」の疑問の投げかけがある。
	③ 原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測など、体験的な学習活動の充実が図られるような工夫や配慮がなされているか。	・モノづくりを通して体験的な学習活動の充実ができる。 ・説明文の絵がわかりやすく、自分の経験と比較してイメージしやすい。	・生徒が、自主的に体験的な学習活動の充実が図れる“やってみよう”や“チャレンジ”があり、学習した内容をいかせる。

	発行者の略号	啓林館	
	書名	未来へひろがるサイエンス	
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	写真や図が興味関心を引くものを使用している。	
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①写真や図表を用いて解説し、知識の定着に役立てている。 ②学習の中に仮説や考察の場面を設けて、考える力の育成を図っている。 ③「科学コラム」の中に防災減災ラボ、お料理ラボのような読み物にした内容の中で学びを人生や社会に生かせる工夫がされている。	
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	適切である。	
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①全学年「探Qシート」という見出しで主体的、対話的に課題解決するような学習内容を盛り込んでいる。科学の持つ不思議を導入で強調し、興味関心を引いている。 ②関連のある教科を横断的に紹介している。 ③動物園や水族館の展示方法が自然のすがたに近い動物をみせるためのものになっていることで、理科の学習内容が社会に活用されていることを示している。 ④キャラクターの対話に探求の足場となるヒントが示されていて主体的な思考の助けとなる。 ⑤おおむねよい。 ⑥“つながる学び”で既習事項を確認できる。発展で高校へのつながりもわかる。 ⑦QRコードで意欲を高め、仮説や計画のヒントを得られる。 ⑧単元の内容が、イメージできる動画が単元の最初にある。 ⑨「サイエンス資料」でかけ算や割り算、百分率などのやり方を詳しく説明している。 ⑩例えば国内4カ所の砂浜の写真と比較し、その違いを考察するとか、写真が豊富で、その写真から課題が見つけれられるように工夫されている。火山噴火の写真と噴火後の山体の写真を並べて関連性が分かるようにしてある。	
(イ) 分量・装丁・表記等 ①各内容の分量とその配分は適切であるか。 ②体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①適切である。 ②紙面が横に広く、写真や図画大きくきれいにレイアウトされている。 ③図などを教科書だけでなく、QRコードも活用して、より多くの図版を見せる工夫がされている。		
イ 教科・種目別の観点	① 観察、実験などは、3年間を通じて、科学的に探究する力の育成が図られるような工夫や配慮がなされているか。	①「この教科書の使い方」という見出しで、「学習の導入→学習課題→計画や予想などの活動→観察・実験→結果→考察→まとめ→学習の終わりに」という学習の流れが提示されている。論議の仕方、発表の仕方が初めに提示されている。	
	② 観察、実験などは、日常生活や社会とのかかわりの中で、生徒が理科の有用性を実感したり、自らの力で知識を獲得したり、また、それらを表現したりして、理解を深めて体系化していくような工夫や配慮がなされているか。	・様々な“ラボ”という表現を元にして、日常生活と理科の関わりの関連づけが行いやすくなる工夫がされている。 ・小田原市の地層の写真が使われている。どこの地層で、どうやってできたかを考えるきっかけとなる。	
	③ 原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測など、体験的な学習活動の充実が図られるような工夫や配慮がなされているか。	・「探Q実験」という見出しで、単元に1カ所特に探究的な学習に取り組めるよう促している。	

	発行者の略号	東書	教出
	書名	新しい社会 歴史	中学社会 歴史 未来をひらく
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	①「主體的・対話的でふかい学び」を通じて、持続可能な社会の実現に向けて「今を問い、未来をともに拓く力」を育てる。	①生徒が学ぶ楽しさを実感し、歴史に学び、未来をひらくための教科書づくり。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①XチャートやWチャート、くらげチャートなどまとめ方をたくさん紹介しており、知識を定着させやすい「スキルアップ」で手法を学べる。 ②単元の課題・節の課題・時間毎の課題を明示し、考えて表現する機会が多く設定されている。 ③持続可能な開発目標や領土問題など、今日の日本で起きている問題を取り上げており、より良い社会を築く態度と意識が身につけられる。	①本時ページの各見開きでは、学習のめあてとなる「学習課題」とそれに対応して学習を振り返る「理解・表現」を設け、生徒が話し合いなどの対話的・協働的な学習を取り組み、深く理解できるようになっている。 ②「表現」、「Q」、「読み解こう」のコーナーが適宜用意されており、資料を読み取って考察する学習機会が多くある。 ③各時代の人物を取り上げ、社会の変化と人々の生活・職業との関わりなど個人の生き方について考察し、人間性の涵養をすることができる。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	各章、各単元に主體的・対話的で深い学びができる構成がなされている。	各章、各単元に主體的・対話的で深い学びができる構成がなされている。
	(9) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主體的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①1つの単元のなかに、探究課題を立てる導入と、課題を追求する内容、解決するための活動が組まれている。 ②教師側の視点からカリキュラム・マネジメントを計画しやすい工夫がなされている。 ③思考し判断し表現するための問いがたくさん用意されている。 ④日本の国宝や重要文化財を多数紹介し、伝統や文化を尊重する態度を育成することができる。 ⑤たくさんの資料があり、文化や伝統に触れやすくなっている。 ⑥年表で小学校の学習を踏襲することでスムーズに時代の学習に入ることができる配慮がなされている。 ⑦近代以降のメディア発達の影響や社会の内容を扱い、現代的な諸課題の解決に情報や技術が果たす役割を考えさせることができる。 ⑧Dマークコンテンツを使って、つまづきやすいポイントでデジタルコンテンツが豊富にあり、配慮されている。 ⑨概ね良好である。	①授業の導入場面では、生徒の興味・関心が高まるような写真・図版などの資料をわかりやすく掲示することで、円滑に授業を進められるような工夫がなされている。 ②全体として分野ならではの「見方・考え方」を明確にし、一貫した編集となっている。他分野や教科との横断的・連携的カリキュラムが立案しやすい構成となっている。 ③地名・人名などの固有名詞や社会科特有の用語などには、見開きごとにふりがながつけるとともに、主要な文字には教育的配慮がなされている。 ④自己と歴史との関係について考えを深められる資料ページにより、生徒が自分たちと歴史のつながりを意識できるようにしている。 ⑤日本に受け継がれている祭や芸能、人権の獲得に尽くした人々、地域社会に参画する人々の事例などに触れている。 ⑥小学6年生の時に登場したキャラクターが成長した姿で、登場しており共に学ぼうとする意識が連続するように工夫されている。 ⑦情報化の進展に伴う社会の変化、情報の有効な活用について理解が深まるように配慮されている。 ⑧学習内容を詳しく丁寧に記述しており、基本的な事項を習得しやすいように配慮されている。 ⑨概ね良好である。
(1) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①UDフォントが用いられ、目に優しい色彩ある。 ②資料が豊富で飽きないように工夫されている。 ③難しい漢字にはふりがなが振られている。	①平易な表現で、できごとの関連性をとらえやすく、「読んでわかる」文章になっている。 ②資料が豊富で飽きないように工夫されている。 ③難しい漢字にはふりがなが振られている。	
イ 教科・種目別の観点	① 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	①1時間の学習の見通しをもたせる学習課題が設定され、「見方・考え方コーナー」があり考えやすい工夫がなされている。 ①資料の掲載部分が大きくなっているため見やすく、考えやすい。	①「歴史の技」、「読み解こう」、「Q」、「表現」、「学習のまとめと表現」などのコーナーがあり、問いへの考察に際して見方・考え方を活用できるように工夫されている。 ①「歴史にアプローチ」では視点や方法を意識的に働かせながら学習を進めていくための学習コーナーがある。
	② 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	②キャラクターの会話を通して、探究課題を解決しやすい工夫がなされている。 ②思考を整理しやすい多様なツールが紹介されている。	②コラム「歴史の窓」や特設ページが充実しており、本文とは異なる視点から歴史を捉え直すことができる。
	③ 課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③単元ごとに問いが用意されており、考えて表現する機会が多く設定されている。 ③1つの単元のなかに、探究課題を立てる導入と、課題を追求する内容、解決するための活動が組まれている。	③各章末に図や語句を用いて整理する活動、考えを表現する活動、章全体を貫く「問い」にตอบสนองする活動を通して、課題を追究したり、解決したりすることができるように工夫されている。

	発行者の略号	帝国	山川
	書名	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	中学歴史 日本と世界
ア 教科・ 種目 に共通な 観点	①編集の趣旨と工夫	①「歴史をつくってきた人々の姿」から未来を考えていけるような教科書づくり。	①新課程における歴史教育に向け、高校生向けに培ってきた歴史教育の深い学びのためのクオリティを中学教科書に生かしている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①見開き1時間分の内容が、「導入」→学習を見通せる「学習課題」→振り返る「確認しよう」「説明しよう」の展開で構造化されており、基礎的な知識の習得がしやすい。 ②「説明しよう」のコーナーが設定されており、これを繰り返すことで、思考力・表現力・判断力が身につくように配慮されている。 ③未来の社会をつくるために参考となる先人達の取り組みを、環境・交流・人権・平和の4つの視点から紹介している。	①各単元が、導入の発問→本文→ステップアップによる振り返りという流れでどういつられており、知識技能を身につけやすくなっている。 ②「歴史を考えよう」や「地域からのアプローチ」のページを始め、課題や発問が工夫されている。生徒一人ひとりが課題に追求し、探求できるものとなっている。 ③大きな紙面（AB判）を利用して図版を大きく、みやすくし、発問によって、どこに注目すべきかを示唆している。「身近な地域を調べよう」のコーナーがあり、生徒が自身の地域に対して主体的に取り組むように促す内容になっている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。
	(7) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ④ 言語能力の確実な育成 ⑤ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑥ 体験活動の充実 ⑦ 学校段階間の円滑な接続 ⑧ 情報活用能力の育成 ⑨ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑩ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①章・節・見開きという三部構成をとっており、それぞれ間いと振り返りを設け、見直しを持って学習できるようにしている。 ②本文ページ下段に、「小学校・地理・公民との関連」コーナーが設けられ、他分野との関連が図りやすくなっている。 ③たくさんのコーナーがあり、毎時間言語活動を繰り返すような工夫がなされている。 ④文化史のページは、資料が大きく掲載され、説明も丁寧になされており、理解を深められるような配慮がなされている。 ⑤「タイムトラベル」のページで、歴史の疑似体験をすることができる。 ⑥年表で小学校の学習を振り返ることでスムーズに時代の学習に入ることができ配慮。 ⑦情報通信技術の発展や人工知能(AI)の発達が生徒に与える影響や今後の課題を考えられるように記述されている。 ⑧具体例や補足する図解などがあり、基礎的・基本的な学習が定着しやすくなっている。 ⑨学習内容ごとに学習課題があり、最後に確認があり、定着しやすい。	①資料を多く掲載されている。そのため、歴史における資料の重要性を学ぶことができる。また、資料には発問を付し、主体的に取り組める工夫が見られる。 ②日本の領土などの北方領土については地理的分野と関連し、主権者教育では、公民的分野とも関連し配慮されている。 ③本文に出てくる難しい用語には同じページに「用語解説」や注をつけ、生徒の理解を助ける工夫がされている。 ④各時代の文化に関する記述も豊富で、特色を考察しやすくなっている。 ⑤体験学習の充実について「身近な地域を調べよう」「地域からのアプローチ」に掲載。 ⑥全体を通し、小学校で学んだ人物・歴史の知識を踏まえ、学べるような記述になっている。また、色彩を分けることで高校の「歴史総合」につながる部分であることを意識させている。 ⑦ICTを活用して調査発表の仕方を「身近な地域を調べよう」に掲載。 ⑧本文が詳細に記述されているので、読むだけでも分かるような構成になっている。また、資料には番号がつけられ解説がわかりやすく掲載。 ⑨各単元が、導入の発問→本文→ステップアップによる振り返り、という流れで統一されている。
(4) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮されているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①適切であるように感じる。 ②資料が豊富で飽きないように工夫されている。 ③難しい漢字にはふりがなが振られている。	①概ね良好である。 ②資料が豊富で飽きないように工夫されている。 ③難しい漢字にはふりがなが振られている。	
イ 教科・ 種目別の 観点	① 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	①「タイムトラベル」の中で「前の時代と比べてみよう」というコーナーが設けられており、歴史的な見方・考え方を働かせながら時代の特色を考察することができる。 ①多面的・多角的に日本の歴史を捉える視点として、中央の歴史だけでなく地域史を重視している。	①歴史が変化する過程でおこる諸課題がどのように解決され、積み重なってきたのかを学び、時期・推移・因果関係・差異から考えることで、歴史的思考を養う工夫をしている。
	② 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	②「多面的・多角的にかんがえてみよう」が3テーマ設けられていて、育成できるように工夫されている。 ②一つの歴史的な事象について、さまざまな立場の人々の見方を示す資料を多く掲載している。	②歴史が変化する過程でおこる諸課題が、どのような時代を背景に生まれ、どのような影響を及ぼしたのか考えることができる工夫がされている。
	③ 課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③単元を貫く「章の問い」、「節の問い」や「章の学習を振り返ろう」というように問いが構造化され、自然と課題解決学習できる構成になっている。 ③見直し・振り返り学習がしやすい構造になっており、「章の問い」に対してステップ1からステップ3までの段階的な施行の道筋をつけて考えられるように工夫してある。	③章のまとめのページでは、時代全体を俯瞰して考えさせるための問いを用い、歴史的転換点が、変化していくことをもう一度考えることができる。 現代に課題について考える「地域からのアプローチ」「今日の世界」「現代に日本と世界」に掲載。

	発行者の略号	日文	育鵬社
	書名	中学社会 歴史的分野	【最新】新しい日本の歴史
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	①「新しい時代を担う主権者を育てる」を基本理念とし、国家・社会の形成者として必要な資質・能力の育成を図っている。	①国民としての自覚を持って国際社会で主体的に生きる力を育てることを基本方針としている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①授業1時間＝見開き2ページ構成になっており、見開きで何を学習するのが、学習課題で明確になっているため、問題解決学習がやりやすく、習得した知識を言語化しやすくなっている。 ②学習課題の理解を深めるため、歴史的な見方・考え方を働かせる間を「深めようコーナー」として設け、習得した知識を定着させ活用させることで、思考力・判断力・表現力の向上を図ることができる。 ③先人の姿を詳しく説明し、よりよい社会の実現を視野に課題を解決しようとする態度を養うことができる。	①歴史の大きな流れを理解することができる紙面構成で、歴史的分野における学習の基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得を図っている。 ②見開きのページに学習した内容の設問があり、レポートや論述形式でまとめ、発表したりする項目があり、言語活動に取り組みできるようになっている。 ③生徒一人ひとりの「生きる力」を養うために、「主体的・対話的で深い学び」を実現する教材を配置し、社会的事象を「自分事」としてとらえ、主体的に判断し、行動できるような工夫をしている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①歴史について自分で考えたり、対話したりして歴史の面白さを体験できる「チャレンジ歴史」というコーナーが設定されている。 ②他教科との横断的な視点で教育課程を組み立てることができるよう、教科書全体を通して関連のある教材を多数掲載している。 ③各時代を表現する活動が「学習の整理と活用」「アクティビティ」に掲載されている。 ④文化について代表的な事例を豊富に大きく取り上げており、その特色を広い視野から考えられるように配慮されている。 ⑤単元末の学習の整理と活用では、学習を振り返るとともに各時代の特色を捉えることができるアクティビティが設定されている。 ⑥小学校で学んだ人物・文化を再確認できるように構成されている。 ⑦「基本用語コーナー」では、歴史を理解する際に重要な用語を解説しており、生徒がすぐに確認できるようになっている。 ⑧資料には番号がつけられ解説がわかりやすく掲載されている。 ⑨時代像を具体的にイメージできる資料が豊富に掲載されており、興味関心をもてるように配慮されている。	①各章末の「学習のまとめ」では、ほかの時代との共通点や相違点に着目しながら、言葉や図で表すことで、時代の特色に関して深い学びを得られるような構成になっている。 ②道徳の内容項目「我が国の伝統文化の尊重」と関連している。 ③巻末には日本の歴史を400文字の文章で表現する課題をおき、歴史を自分の言葉で表現する力を養えるように配慮している。 ④人々の生活、その生活と密接に関係している経済・文化・技術についても積極的に取り上げて、生徒が多面的・多角的に歴史をとらえることができるよう配慮している。 ⑤「歴史新聞をつくらう」では、作業的・体験的学習により歴史への理解を深めることができるようになっている。 ⑥小学校で学んだ人物の紹介している。 ⑦「調査の仕方」調査のまとめ方を地域の歴史を調べてみように掲載されている。 ⑧文字は読みやすい大きさとし、教育外漢字や固有名詞等、適宜ふりがなを振り、地図等も配置している。 ⑨単元構成が3部構成になっていて、学習しやすくなっている。
(エ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね良好である。 ②資料が豊富で飽きないように工夫されている。 ③難しい漢字にはふりがなが振られている。	①概ね良好である。 ②資料が豊富で飽きないように工夫されている。 ③図版・イラスト等の色彩や形、紙面のデザインにも十分な工夫と配慮が見られる。	
イ 教科・種目別の観点	① 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	①本文ページに「見方・考え方」のコーナーが設けられており、学習課題の解決に向けて手がかりとなる歴史的な考え方・見方の例が示されている。	①キャラクターによる発問は、生徒たちが個々の事象に対して、歴史的な見方や考え方を働かせるための視点を提供している。
	② 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	②グループでの話し合いや意見交換を通して、多面的・多角的に課題を考えることができる。	②「史料の読み方」「歴史ズームイン」「歴史ビュー」「歴史・ワクワク調査隊」など、多様な資料と誌面構成で、生徒が歴史事象を多面的・多角的に考察する力を養っている。
	③ 課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③図版は、本文との関連が的確で、時代像を具体的にイメージできる資料が豊富に掲載されている。	③「つかむ→調べる→まとめる→表現する」問題解決型学習の教材配列で、知識・思考・判断・表現の一体化を図っている。

	発行者の略号	東書	教出
	書名	新しい社会 公民	中学社会 公民 ともに生きる
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	① 「主体的・対話的で深い学び」を通じて、持続可能な社会の実現に向けて今を問い、未来をともに拓く力の育成をめざしている。	① 市民的教養の基礎・基本を身につけ、社会を読み解き学び合い、主権者として生きる力を育み、持続可能な社会を創造する市民の育成をめざしている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	① 知識・技能を習得するために、生徒のつまづきやすい事項を、巻末の「用語解説」で補足説明を加えて定着を図っている。 ② 単元全体を貫く問いの「探求課題」と、節ごとの課題の「探求のステップ」や「学習課題」の3段階で思考・判断した内容を、表現する力につなげることをめざす。 ③ 「みんなでチャレンジ」などの対話的な学習の場を設け、社会参画して他者と協働していく力を育成していく。	① 生徒が市民社会を築いていくうえで必要な知識や技能を習得し、市民としての教養を身につけ、勤労の意味や意義について考察を深めるように工夫してある。 ② 表現活動を中心としたテーマ学習「言葉で伝え合おう」では、6つの言語活動のテーマに取り組むことで真理を求める態度を養う工夫がされている。 ③ 「読んで深く考えよう」、学習コラム「公民の窓」を通して、社会参画をしていこうとする意識や主権者として共に生きる力を育むことができる。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	概ね良い。	概ね良い。
	(7) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	① 「みんなでチャレンジ」「チェック&トライ」の課題や、国連が2030年までに達成を目指す持続可能な社会（SDGs）の各テーマに取り組むことで、現代的な諸課題を読み解く態度を養う。 ② 理科など他教科との関連についてDマークが付けられ、関連を図る工夫がされている。環境・エネルギーなどのテーマに関し、「もっと公民」で地理・歴史・公民で共通して掲載し関連づけて展開できるように工夫している。 ③ ロールプレイング、ディベートの事例や「探求のステップ」など本時の学習事項を確認する作業課題などを通じて言語能力の育成を図ることができる。 ④ オリンピック・パラリンピックを取り上げ、文化的な役割を考えさせている。掲載されている文化財には、マークをつけ理解を深められるようになっている。 ⑤ 「探求のステップ」や「まとめに活動」を通して探求活動の答えを考えることで、体験活動や社会参画を考える内容になっている。 ⑥ 各章の最初に小学校で学習した写真・用語をマークで示し、小中の接続の配慮がなされている。高校3年生の18歳選挙権を踏まえた内容も盛り込まれている。 ⑦ 「スキル・アップ」で資料を使い、活用能力の育成を図っている。 ⑧ カラーユニバーサルデザインの観点から情報の区別がつきやすく、全ての生徒が読み取りやすくなっている。 ⑨ 「導入の活動」、「学習課題、チェック&トライ」「まとめの活動」という流れが生徒の理解を深める内容になっている。	① 授業の始めの「学習課題」を受け、資料の読み解きのために随時付けられている「読み解こう」を経て、最後に学習内容の「確認」「表現」のコーナーの「問い」に取り組み、生徒が自ら学び、考える学習ができるようにされている。 ② 見開きページの下に「関連マーク」が付けられ、地理・歴史や技術・家庭科、理科など他教科や、SDGsとの関連を図る工夫がされている。 ③ 「公民の技」のコーナーでは、個人やグループでの活動を通して、公民の学習で身につけたい技能や表現力を養えるようにされている。 ④ 伝統や文化、宗教などについて取り上げ、新たな文化の創造や多様性の中で生きる寛容な社会を探究するように留意されている。 ⑤ 「言葉で伝え合おう」を中心に、グループでの学習活動が設置されている。 ⑥ 自社の小学校のキャラクターが成長した姿で登場し、関連付けが意識できる。見開きページの下に「関連マーク」が付けられ、小学校との関連が図れる。 ⑦ 「公民にアプローチ」では、社会科の資料活用を学び、情報活用能力の育成を図ることができる。 ⑧ 地名・人名などの固有名詞や社会科の用語には、ふりがなを付け、主要な文字には教育的配慮を施した書体を用いている。 ⑨ 生徒の日常生活や経験と関連深い身近な話題・内容が取り上げられているほか、巻頭・巻末のグラビアページなど、生徒の興味関心を喚起する写真資料が盛り込まれ、学ぶ楽しさや意欲が高まるように配慮されている。
(1) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	① 本文、資料などが見開き2ページでまとめられている。全6章の構成である。 ② 学習指導要領に示された内容をもとに構成されており、文体も「ですます体」を用い、わかりやすく記述してある。 ③ ふりがなを見開き2ページに付すことを原則としている。また資料が大きく掲載されていることが、さらに理解を助けている。	① 本文、資料などが見開き2ページでまとめられている。全7章の構成である。 ② 年間授業時数をふまえ、政治領域に重点を置くなど各単元の扱いに軽重をつけることにより、生徒がじっくり追求しながら学習が展開できるように配慮されている。 ③ 平易な表記・表現で、側注や巻末には「用語解説」、索引の最後には「英文略称」のコーナーを設け、読みやすい工夫がされている。各資料には、通し番号を付け、本文の資料との関連がわかるように資料番号が挿入されている。	
イ 教科・種目別の観点	① 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	① 学習活動の流れがイメージできるアイコンや、興味・関心を高めるイラストを使用している。また「見方・考え方」を活用して現代社会の見方を考えていく工夫がされている。	① 各章の「学習のはじめに」、章全体のポイントを提示し、各章に対応した「見方・考え方」に留意して、学習を深めていけるように配慮されている。授業導入の場面では生徒の興味・関心を高める写真・図版などの資料がわかりやすく提示され、円滑に授業に入っていける工夫がなされている。
	② 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	② 「導入の活動」と「まとめの活動」をリンクさせ、単元のまとまりをもたせることができる。また「みんなでチャレンジ」に取り組むことで、さらに多角的・多面的に考察・構想・表現できる工夫がされている。	② 「読んで深く考えよう」では、時事的なテーマや地域の事例から資料を活用して考察力が高められるように配慮されている。「言葉で伝え合おう」では、身近な社会的事象をテーマに議論や論述などの言語活動に取り組み、社会の一員として自覚を高められるように構成されている。
	③ 課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③ SDGsなど今の社会の課題を考えていくために、社会科の3年間の学習を貫く「環境・エネルギー」「人権・平和」など5つのテーマへ取り組む課題を設けている。また特設ページの「もっと公民」で関連させた学習を展開できるよう工夫されている。	③ 「言葉で伝え合おう」では、学習をふまえた発展的な学習課題として、「さらにステップアップ」のコーナーを設けて、考察がよりいっそう深められるような工夫が図られている。

	発行者の略号	帝国	日文
	書名	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	中学社会 公民的分野
ア 教科・ 種目に 共通な 観点	①編集の趣旨と工夫	① よりよい社会を目指して自分事として捉え、主体的に社会の形成に参画できる力を育むことをめざしている。	① 「新しい時代を担う主権者を育てる」を基本理念にし、「公民としての資質・能力の基礎」を育成することをめざしている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）」に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	① 導入の「大きなイラスト」、「資料活用」「学習課題」を使って行い展開、「確認しよう」「説明しよう」の流れで、知識・技能を主体的に習得できる工夫がされている。 ② 習得した知識や言語活動を使って思考力・判断力・表現力を培うことができる「アクティブ公民」、各章末の「章の学習を振り返ろう」が設定されている。 ③ 実社会で活躍する人へのインタビューである「先輩たちの選択」や、持続可能な開発目標(SDGs)などの課題で、社会参画の育成をめざすことができる。	① 何を学ぶのが「学習課題」で明示し、「確認コーナー」で基礎的・基本的な知識・技能の定着をめざしている。 ② 学習課題の手掛かりとなる「見方・考え方」をすべてのページに設け、「アクティビティ」「深めよう」などを通し、思考力・判断力・表現力の育成を図っている。 ③ 「明日に向かって」で、身近な地域の抱える課題を生徒が考え、社会参画を促すための手掛りとなる工夫がされている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	概ね良い。	概ね良い。
	(9) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすい理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	① 導入では、大きなイラストを掲載した「学習の前に」で学習の全体像を把握し、「資料活用」「学習課題」を使って展開し、「説明しよう」「確認しよう」で振り返ることによって知識をつなげ活用し、深い学びの学習をめざす。「先輩たちの選択」「未来に向けて」の内容は身近で、対話的な学びへの配慮がされている。 ② 見開きページの左ページ下に、「小学校・地理・歴史との関連」コーナーが設けられ、地理・歴史との関連を図る工夫がされている。 ③ 「アクティブ公民」でディベートや「確認しよう」など本時の学習事項を確認する作業課題などを通じて言語能力の育成を図ることができる。 ④ 狂言師・野村萬斎さんのインタビューでは、第一線の人の話から伝統を多角的に考察できるほか、キャリア教育との関連も図ることができる。 ⑤ 「未来に向けて」で、体験活動や社会参画を考える内容になっている。 ⑥ 章の導入の「学習の前に」で、小学校との関連がわかりやすく明記されていて、つながりをイメージしやすい。高校3年生の18歳選挙権を踏まえた内容も盛り込まれている。 ⑦ 「資料活用」の資料が興味を持つ内容が多く、情報活用能力育成につながる。 ⑧ 挿絵・図表が見やすく関連性もあり、学習効果を高める工夫がなされている。 ⑨ 身近な具体例を使った資料、導入資料、学習課題、確認しよう・説明しようという流れが生徒の理解を深める内容になっている。	① 「アクティビティ」で「見方・考え方」について考え、社会の課題の解決を、考察・構想し深い学びをめざす「チャレンジ公民」が各編の最後に設けられている。 ② 見開きページの右下の「連携コーナー」で、歴史と地理とのつながりや、技術・家庭科、道徳との関連が明記してある。 ③ 「アクティビティ」では、主体的・対話的な問いや活動をし、言語能力の育成につながる作業ができる。 ④ 現代社会の文化と伝統について、ブラジルの食品を扱うスーパーや各国の文化など写真やイラストで紹介してある。 ⑤ 法教育、主権者教育、キャリア教育など生徒が今後必要な教材が充実している。 ⑥ 章の最初の見開きページの左ページ下に、小学校社会科とつながりが明記されている。巻末には、高校で学ぶ「公共」との関連も紹介してある。 ⑦ 「情報スキルアップ」という情報の読み取りや活用する時に必要な知識・技能や注意する点が学習できるページがあり、情報リテラシー、社会的事象等について調べ、まとめる技能を身につけることができるようにしてある。 ⑧ 各編の導入ページに、その編の「見方・考え方」を身近な場面を漫画を使用して、大まかに編をつかむことができる。また、自由記述や空欄への記入をする解答方式が用意されている。 ⑨ 全ページに渡ってイラストの説明がわかりやすい。各編の導入ページに、その編の「見方・考え方」を身近な場面からイメージしやすい工夫がされている。
(1) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	① 本文、資料などが見開き2ページでまとめられている。4部全8章の構成である。 ② 本文がわかりやすい表現になるように配慮されている。二次元コードの利用で、タブレットで閲覧できる。関連動画も閲覧し、自学自習への支援ができています。 ③ 読みやすいフォントで書かれ、グラフもわかりやすい色に配慮されている。	① 本文、資料などが見開き2ページでまとめられている。全5編の構成である。 ② 資料や写真も大きく印刷され、見やすく理解しやすい工夫がされている。デジタルマークを掲載してあり、教科書のホームページで動画を閲覧できる ③ フォントやふりがな、色、図版はUDに配慮した内容、かつ、拡大教科書の発行の用意がされている。	
イ 教科・ 種目別の 観点	① 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	① 「パン屋の企画書を考えよう」のように、身近で興味ある実例が掲載されている。パン屋の店を持つ設定で考えることで、抽象的になりやすい経済面で、わかりやすく知識を習得し、活用できる内容になっている。	① 社会参画を促す「明日に向かって」が設けられている。持続可能な開発目標(SDGs)は、巻頭見返しで17の目標を示す、第1編から第5編までの学習の随所に記載し教科書全体で考えられる工夫がしてある。
	② 社会的な事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	② 「資料活用」の資料が充実し、生徒が考えたい発問が用意されている。対話的な学びの面では、野村萬斎氏の話など「先輩たちの選択」ではキャリア教育に、防災備蓄倉庫をどこに設置するでは防災教育と関連し、社会参画に興味を持つ工夫がされている。	② 「アクティビティ」を利用し、グループでの話し合いの場を設け、活動を促すことによって、多面的・多角的に考察、構想しやすくなり、社会の課題を考える学習で「チャレンジ公民」に取り組むことで、生徒が表現するための工夫がされている。
	③ 課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③ 「アクティブ公民」「章の学習を振り返ろう」に取り組むことで、課題を追究・解決していくことができる工夫がされている。環境教育、人権・平和などSDGsを踏まえた課題が設けられている。	③ 「チャレンジ公民」を通し、この見開きページの学習内容に関する事項を掘り下げる。また理解を深める「公民+α」や、考えの助けとなる「シンキングツールマーク」を利用し、課題を追究・解決していく教材の工夫がされている。

	発行者の略号	自由社	育鵬社
	書名	新しい公民教科書	【最新】新しいみんなの公民
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	① 生徒が基礎的な意味を理解できるように、基礎的な事項を厳選し、そこから再構成して主体的に学ばせることで、豊かな公民的な資質を養うことをめざしている。	① 課題を通して、生徒が「自分の立ち位置」を知り、「他人事」を「自分事」としてとらえ、現代社会への興味・関心を高め、自ら考えることができることをめざしている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「実質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	① 生徒の発達段階を考え、基礎的な事項を厳選している。技能を習得するために、生徒の発達段階を考え教えるべき教材を体系化することで知識・理解を高めるようにしている。 ② 発展的に学習して理解を深めるために「もっと知りたい」を設け、自主的に学ぶより深い理解が得られるようにしている。 ③ 「学習のまとめと発展」、終章のレポート、ディベート等で、公民として必要な主体的、実践的な能力を伸ばしていくための工夫や、「ミニ知識」のコラムを通して、学びを人生や社会に生かそうとしている工夫がされている。	① 生徒が「自分の立ち位置」を知り、「他人事」を「自分事」としてとらえられることで、生徒自身が生きる現代社会への興味・関心・意欲を高めさせ、自ら考える工夫がされている。 ② 現代社会の理想と現実を、本文と豊富な資料、コラムで示すことで、多面的・多角的な考察力、公正な判断力、適切な表現力の育成を図る工夫がなされている。 ③ 新聞活用教育(NIE)を促すために新聞記事を多数掲載することで自分が生きている社会に対して、幅広い知識や教養を身につけ、真理を求める態度を養う工夫がされている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	概ね良い。	概ね良い。
	(9) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	① 各章の最後の「学習のまとめと発展」において生徒が主体的に思考し表現することによって、公民に必要な能力を伸ばしていくよう工夫されている。 ② 技術・家庭、数学、理科、美術との関連が図られている。 ③ 各章の最後にロールプレイング、ディベートの事例や「課題の探求」など本時の学習事項を確認する作業課題などを通じて言語能力の育成を図ることができる。 ④ 「もっと知りたい」で伝統文化について取り上げている。また、巻末に日本の伝統工芸品の紹介をしている。 ⑤ 各章末の「学習のまとめと発展」の取り組み方を示している。また「やってみよう」や「課題の探求」で、体験活動や社会参画を考える内容になっている。 ⑥ 「ミニ知識」や「紹介する主な人物」などで小学校に関連した学習内容となっている。高校3年生の18歳選挙権を踏まえた内容も盛り込まれている。中学・高校の接続の配慮がなされている。 ⑦ 「やってみよう」の事例が生徒の興味・関心を持つ内容が多く、情報活用能力の育成につながる。 ⑧ 挿絵・図表が見やすく関連性もあり、学習効果を高める工夫がなされている。 ⑨ 導入資料、学習課題、確認しよう・説明しようという流れが生徒の理解を深める内容になっている。	① 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進をサポートする「学習を深めよう」「やってみよう」「TRY」など豊富な言語活動を設けられている。 ② 基礎的・基本的な事項の確実な理解のため、項目数を厳選し、学習指導要領が示す公民的分野の授業時数100時間で学習が完結できる分量になっている。 ③ 「スキルアップ」を7カ所設置し、発表や議論のしかた、ロールプレイング、ディベート、KJ 方、ランキング、ポスターツアールなど、公民の基礎的な技能が身につけられるように工夫されている。 ④ 我が国の伝統と文化、宗教、生活様式などを豊富な写真資料や図表、コラムで紹介し、生徒が理解を深められるように配慮している。 ⑤ 2〜5章の章末には、その章で学習した内容をふまえて、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察したり、社会に見られる課題を把握してその解決に向けて構想したり、未来の姿を構想できるような課題に取り組む「これから」を設け、学びに向かう力や人間性を養えるよう工夫されている。 ⑥ 小学校社会科で学習した関連内容については各章扉で、地理的分野・歴史的分野で学習した関連内容については該当する見開きで紹介することにより、小中の系統性と3分野の関連性を高め、スムーズに学習に入る工夫がされている。 ⑦ 「現代社会の入り口」の課題から各種の「メディア」活用の仕方を学び、情報活用能力の育成を図ることができる。 ⑧ 生徒にとってわかりやすさに重点をおき、文字は読みやすい大きさとし、教育外漢字や固有名詞など、適宜ふりがなを振り、丁寧な記述に心がけている。 ⑨ 生徒の生活経験と結びつきの強い身近な事例が取り上げられ、興味・関心が高まるように工夫されている。特に導入部分では、問題提起をして、生徒が資料などをとらえ、興味・関心が高めながら課題に取り組んだり、学習を進めたりできるよう配慮されている。
(12) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	① 本文、資料などが見開き2ページでまとめられている。全7章の構成である。 ② 図版資料が読みやすく工夫されている。 ③ 重要語句がゴシック(太字)になっている。また、本文に番号が書き入れてあり、関連する語句が分かるように工夫してある。	① 本文、資料などが見開き2ページでまとめられている。全5章の構成である。 ② 図版資料には通し番号が付けてあり、資料の大きさも大きく掲載されている。巻末に法令や年表のほか、日本の伝統文化の一覧表なども掲載されている。 ③ 色覚に関して個人差があることに留意して、図版・イラスト等の色彩や形、紙面のデザインにも十分に配慮してある。	
イ 教科・種目別の観点	① 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	① 学習内容に関連した写真やイラストをもとに社会的な見方・考え方を学習ができ工夫がされている。また「課題の探求」の内容も実社会に動きを示す有益な教材になっている。	① 現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、「対立と合意」「効率と公正」について紹介し、具体的な事例を通して学ぶことができるよう工夫されている。
	② 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	② 「もっと知りたい」で深く掘り下げ、社会の興味ある問題を扱う「ここがポイント」「アクティブに深めよう」の課題に取り組むことで、学習した知識・理解をさらに多角的・多面的に考察・構想・表現できる工夫がされている。	② 領土に関する記述を充実させ、新聞活用教育(NIE)を促すために、新聞記事を多数掲載してある。社会事象について多面的・多角的に考え、今日的課題について話し合ったり、よりよい未来を構想させたりする活動を入れる工夫がなされている。
	③ 課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③ 単元を貫く「章や節の問い」を設定し、各「学習課題」「確認しよう」で考察を加え、章末の「章の学習を振り返ろう」で考えを深めていくことで、課題を追究・解決する活動が充実できる工夫がされている。	③ 問題解決型学習として「つかむ」ための資料、「調べる」ための資料、「まとめる」ための資料をバランスよく配置する工夫がなされ、持続可能な社会を形成するという観点から、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探索させ、自分の考えをまとめるように工夫されている。

	発行者の略号	開隆堂		光村	
	書名	美術1 発見と創造	美術2・3 探求と継承	美術1	美術2・3
ア 教科・ 種目に 共通な 観点	①編纂の趣旨と工夫	全ての生徒が学び易く、確かな学力が身につく、創造性とともに国際性と郷土愛を育む教科書を目指している。また、広がり豊かな視点に満ちて、発想を広げる工夫が見られる。		見える→深まる→広がるというコンセプトのもと、授業の流れが見えるよう目標立てされている。巻末に掲載された「学習を支える資料」や鑑賞の内容や手法を充実させ、他教科とのつながりを意識した構成をし、学びが深まり広がっていくよう工夫されている。 1年生で「知識・技能」、2・3年生で「思考力・判断力・表現力等」を重視した編集となっている。	
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）」に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	○学習目標を3つの柱を基に設定し、生徒の意欲を高め、生徒に育成したい資質や能力を授業の中心の課題として分かりやすく示している。 ①必要に応じて「美術の用語」を提示し、用語の解説も加えられている。また、題材の横断的な知識や技能について、巻末に「学びの資料」としてわかりやすく系統的に示し、多様な題材に対応できるように配慮されている。 ②学習を深めるための「学習のポイント」や「発想の手立て」を、発想や構想の方法、学習の進め方のヒントを必要に応じて示し、生徒のつまずきに配慮している。 ③美術の社会的意味や価値を考えるページを設定し、美術を学ぶ意味や目的を考える場面の工夫が見られる。また、「作者の言葉」を取り上げ、作品への興味関心を高め、作者の人となりや学ぶことができるよう工夫も見られる。		○学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された、美術科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされている。 ①美術1における美術の授業のねらいや内容、基礎的基本的な表現技能、知識の習得に必要な資料、鑑賞の仕方について丁寧に提示されている。 ②制作活動において鑑賞と表現の往還をする流れとなっており、作品や題材との出会い、制作、ふり返り等の一連の活動を通して「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮がなされている。 ③暮らしに生きるデザインや現代社会の課題に触れる題材、歴史や言語といった他教科との横断的な学習資料、および特別の教科道徳と関連づけた題材が用意され、「学びに向かう力・人間性等」の涵養について工夫されている。	
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	・小学校との連携を考えた題材として「図画工作から美術へ」や「学びの地図」を巻頭に配置し、学習の質的变化に順応できるよう配慮している。 ・学校の文化財や組織、人材の活用を学ぶページの「美術館を楽しむ」では、地域的美術館との連携に役立ち、美術館の存在価値を認める学びになっている。		・小田原市のめざす「未来を創るたくましい子ども」像の側面として、自ら考え表現する力の育成や、伝統工芸やデザインを通じた地域理解の題材を扱い、ふるさとへの愛着を育む内容となっている。	
(9) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①3つの柱を中心に学習目標を分かりやすく提示し、教科書をきっかけに検討し合ったり、話し合ったりしながら、自分の考えを広げたり、深めたりできるように言葉かけをしている。 ②カリキュラム・マネジメントに役立つように、マークでどの教科のどのような学びに関連しているかを表示している。 ③「作者の言葉」から、作品への思いを知り興味・関心を高めると共に、自分の発想や構想を言葉で伝えることの重要性を知ることができるよう工夫されている。また、「学習のポイント」を使い、話し合う機会をつくり、生徒を深い学びへ導く配慮もされている。 ④我が国の伝統と文化及び他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目的として、生活を明るく豊かにする日本及び諸外国の美術や美術文化を取り上げ、身近な視点から学べるよう工夫されている。 ⑤生徒の学習風景写真や、書きによるつづき、制作途中の作品と完成品の比較ができるよう構成され、学んだ技法や構想を体験したくなるような工夫がされている。 ⑥小学校の図画工作から美術へ、中学校の3年間を通して学習の展開に沿った流れを持つ構成から、各領域・各題材のつながりを意識している。 ⑦QRコードを用いた題材ごとの資料、所蔵先へのリンク、ピックアップアーティストファイルなど多彩な解説や資料が提示されている。 ⑧発想・構想の方法や学習の進め方などをマークで示し、具体的に示している。 ⑨3年間の学習の流れを大切に構成されている。		①学習の流れや、各題材における目標が示され、生徒自身が学びの主体となれるよう工夫されている。 ①QRコードによる多様な情報提供があり、生徒自身が個々で学びを深められるよう配慮されている。 ①生徒作品の制作過程や作者の言葉、発想の仕方や制作過程の提示や、鑑賞において教科書への書き込みが可能なページを配し、それらを活用した深い学びの実現が期待できる。 ②各題材においてその内容が「特別の教科道徳」とのつながりや他教科との横断的学習ができるよう示されている。 ③鑑賞活動を通じた作品への理解や、それらをもとにした言語活動、文字デザインなどの分野において言語能力が育成されるよう工夫されている。 ④日本の古来の美術、文化財、地域や生活に息づく色やデザインについて扱ったり、海外や現代とのつながりについて考えたりする題材の提示がされている。 ⑤素材や表現方法の紹介により、体験活動が充実するようになっている。また、屋内外公共デザインにふれ、その仕組みや機能を学習する資料が用意されている。 ⑥美術1において図工と美術の違いや、美術の学びについての解説がなされ、円滑な接続の一助となっている。 ⑦資料を集めてアイデアを考えたり、調べたことを伝え合ったりする題材があり情報活用能力に育成をすることができる。 ⑧漢字にふりがながふられ、識字困難な生徒にも配慮されている。また、音声による紹介や制作過程の具体を視覚的に確認できるよう配慮されている。 ⑨各ページに、「表現」「鑑賞」が示され、それぞれの関係性を確認しながら制作等の活動に移ることができる。 ⑨QRコードを活用して教科書の立体作品を多面から鑑賞したり、掲載されたもの以外の生徒作品を多数鑑賞したりすることができるようになっている。		
(1) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①「絵画・彫刻」、「デザイン・工芸」、「鑑賞」の領域の学習説明から各領域の題材へバランスよく配置されている。 ②空間を適度に守りながら、図版がより大きく掲載され、見やすくなっている。 ③マークを使って、整理されている。細かい図版には、拡大表示もされ、全体と比べることができ、理解が深まる配慮が見られる。図版には各ページで図番号が付けられ、作品を示しやすくなっている。 インクルージョン教育への取組として、多様な個性をもつ生徒への配慮がある。		①それぞれの項目が見開きで確認でき、配分も適切である。 ②「絵画・彫刻」「デザイン・工芸」「学習を支える資料」の分野に分かれ、色分けされているので、表現分野では特にわかりやすい。 ③UI/UXを使い、改行幅を大きくして読みやすい表現にしている。また、ページによって、素材の手触りや大きさが伝わるような工夫がなされている。文章表現が生徒に考えさせたり、取組を促したりするような問いかけとなっている。		
イ 教科・ 種目に 別の 観点	① 生徒が自ら造形的な見方・考え方を働かせながら、表現したり鑑賞したりして、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができるような工夫や配慮がなされているか。	①学習の意味が伝わるよう領域ごとの扉ページに始まり、学習の魅力などをメッセージで伝え、学習の流れを示し、生徒に学習の意義と方法を理解させた上で、実際の学習へとつなげ、生徒が自ら学習する力を育てる工夫している。 3年間の学習のまとめとして、習得した資質・能力をどのように生かすべきかを考え、「美術の力を生かして社会とかかわる」という内容で自己と社会のかかわりを考える機会を作っている。		①美術1において、表現及び鑑賞についての基礎基本を示したり、美術2・3も含めた「学習を支える資料」にて題材とつながりのある内容を提示したりすることによって、見方・考え方を働かせながら表現したり鑑賞したりすることができるようになっている。また、現代社会の課題や地域に関わる美術デザイン、美術史や文化遺産が扱われており、社会の中で美術文化に関わることができるよう工夫されている。	
	② 生徒が自ら主題を生み出して表現したり、自ら造形的な見方や考え方を働かせて鑑賞したりできるよう、表現及び鑑賞の題材に、自分らしい思いや考えをもつための工夫や配慮がなされているか。	②参考図版が、作家の作品から生徒作品までであることや、作風が様々なことから、自分らしく制作する楽しさを感じられるよう工夫されている。 鑑賞においては、正解や間違いがなく、感じたことや考えたことなどを自由に発言でき、豊かな情操が培えるよう工夫している。		②各題材において導入部の「鑑賞」を重視し、感じたり考えたりする機会をもてるようになっている。また、発想を広げるための手法やポイントも示されており、素材や用具の特色を活かした加工方法や、それらの組み合わせによる多様な表現について紹介され、自分らしい思いや考えを持つための配慮がなされている。	
	③ 「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、「共通事項」の学習内容を、相互に関連させながら取り扱うような工夫や配慮がなされているか。	③表現と鑑賞の学習が相互に関連するよう、マークで関連ページを示し、学習を深める工夫が見られる。 それぞれの巻末にある「学びの資料」との関連は、表現を体験することと、表現を味わうことの両方に関連し、学びを深めている。		③それぞれの題材において、「見る、感じる(鑑賞)」「表現する」「振り返る、比べる、深める(鑑賞)」の流れになっており、「A表現」と「B鑑賞」の学習内容を相互に関連させながら学びを深めることができるよう取り扱った工夫や配慮がなされている。	

	発行者の略号	日文	
ア 教科・種目に共通な観点	書名	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と広がり 美術2・3下 学びの探求と未来	
	①編集の趣旨と工夫	授業で活用できるように題材のねらいを示し、言語活動や制作過程などが数多く掲載され、系統立てて設定されている。3年間かけて美術の学びを積み上げた構成。実物の鑑賞体験に近い造本や色味の再現になっている。生活や社会に結びついた他教科とのつながり、生活や地域とのつながりにより、美術の働きを実感的に理解し、自らの生活に生かせるよう掲載されている。	
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	「学びの目標」を全題材に設定。 ①造形と美術が職業との関連、生活との関連を示している。「学びを支える資料」「教科書 QR コンテンツ」で説明されている。 ②掲載作品の作者の言葉に触れ、制作過程（情景写真、アイデアスケッチ、ワークシート）が掲載されている。 ③著名人の美術に直接携わる仕事出ない方の紹介をしている。また、「学びの目標」を分かりやすい言葉で示され、生徒が主体的に学び工夫がされている。	
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①制作過程や作者の思い、考えが記載され、参考にしやすい。また、身近な所の造形写真が多く記載され、広げていくことができる。「造形的視点」から、ねらいが明確で、意識が絞れ、活動知識が結び付けられている。	
	(4) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①実際の授業を撮影した情景写真が多く用いられ、生徒が親近感を持ち、活動に興味、関心を持つことが工夫されている。 ・協働されている写真や「作者の言葉」として掲載され、納得できる工夫がなされている。 ・「造形的視点」から、何を考え、気づかなくてはならないかが明確で、深められる。 ②国語、数学、理科、社会、音楽、特別活動、道徳と横断的な視点で、題材や事例が多く記載している。 ③「作者の言葉」やアイデアスケッチを記載することで、伝わってくる思いと作品表現がより分かりやすくなっている。 ④地域文化を考えさせるうえで、伝統工芸、文化、アイヌ、沖縄の文化など、日本の伝統文化の多様性を紹介している。 ⑤活動写真が多く掲載されている。QRコードの活用。 ⑥「となりのトロ」からスタートし、「中学校美術の世界はようこそ」で、1年次、美術との出会い、2年次、学びの実感と広がり、3年次、学びの探求と未来へと段階を踏み、見通しを記載することで、道しるべになっている。 ⑦実際に活用例が示され、情報モラルについても記載されている。 ⑧過程や、さまざまな発想のきっかけを持つ題材が設定されている。 ⑨「学びを支える資料」が各学年についているので副読本なく、授業展開ができるので、生徒にとっても1冊で済む。	
	(2) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①盛りだくさんだが、インパクトある実物大の資料が示されるなど、興味、関心を引き出す。 ②耐久性のあるコーティングがされていて、作業していても安心感がある。 ③見出しが丸ゴシック体で見やすく、優しい。	
イ 教科・種目別の観点	① 生徒が自ら造形的な見方・考え方を働かせながら、表現したり鑑賞したりして、生活や社会の中での美術や美術文化と豊かに関わることができるような工夫や配慮がなされているか。	①教科等横断で深まる学びが、生徒の学びの広がりや知識のつながりにも配慮しつつ、道徳科との関連もさりげなく心に残る示し方や生活や地域とのつながり、共生や防災、環境のことを考えるページなどが記載されている。	
	② 生徒が自ら主題を生み出して表現したり、自ら造形的な見方や考え方を働かせて鑑賞したりできるよう、表現及び鑑賞の題材に、自分らしい思いや考えをもつための工夫や配慮がなされているか。	②作家の発想方法を紹介し、アイデアスケッチや情景写真を多数掲載し、作者の言葉や興味を広げるコラムを掲載することで、学びの広がる情報が多い。また、作品を体感できる原寸大図版は作品の魅力が伝わる。	
	③ 「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、【共通事項】の学習内容を、相互に関連させながら取り扱うような工夫や配慮がなされているか。	③実感を伴った理解をするよう、折られるページや原寸大表示や全教材に知識への意識を促す「造形的な視点」を設定し、掲載作品から感じたこと、気づいたことを意識させ、活動と意識が結び付けられる工夫がされている。	

	発行者の略号	東書	教図
	書名	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	New 技術・家庭 技術分野 明日を創造する
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	①主体的に問題解決に取り組み、生涯にわたって技術を工夫し創造し続けられる資質・能力の育成を目指した編集となっている。1つの編は、「編の導入」「基本ページ」「学習のまとめ」で構成され、学習を深めるためのページやコラムも豊富にある。 ①「何度も教科書を開いてほしい」という思いから、教科書1冊を通して読めるバラバラ漫画がある。テーマは「技術は夢をかなえるためにある」で、子どもの何気ない発想から、ものづくりの試行錯誤が生まれ、宇宙での技術開発に発展するという物語。	①技術に興味・関心を持ち、時代の変化に柔軟に対応できる力、自らの手で課題を解決できる力を育成することを目標とした編集になっている。 ①「指導のしやすさ」「問題解決的な学習の進め方」「限られた時数での指導」など、教育現場の生まれた編集方針となっている。 ①基礎技能の習得をまとめた別冊「技術ハンドブック」と各分野に設計・計画ができるワークシートが付属されている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条、第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①技術の原理・原則や基礎的な技術の仕組みについて、本文の内容を裏付ける図などを掲載することで、科学的な思考に基づく知識が習得できるよう工夫されている。 ②主体的に思考・判断・表現をしながら技術による問題解決に取り組むことを重視し、問題解決例では「私の工夫」が随所に設けられ、工夫・創造することの大切さと思考のきっかけが示されている。 ③巻末のSDGsや特集 Society5.0を通して、生活や社会と技術との関りについて紹介し、人が豊かに安全に暮らしていくために技術が貢献していることを伝え、豊かで健全な心が養われるように配慮されている。	①基礎・基本の知識と技能を1章で習得できるように章構成にし、幅広い知識と教養を身につけられるよう配慮されている。 ②各編のまとめでは、技術の問題解決について考え、まとめることで、思考力・判断力・表現力の評価ができるよう配慮されている。 ③生徒自身が未来の社会を創造するという意識を持てるよう、未来の社会像をイメージできる「SDGs」「Society5.0」などを取り上げている。また、キャリア教育として、社会で技術を活かしている人、伝統的な技術を継承する人、社会で活躍する人々を特集し、生徒が自らの進路を想像できるように配慮されている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①巻頭・巻末に「SDGsとTechnology」をわかりやすく特集し、「小田原市学校教育振興基本計画」の「これからの社会に対応した教育の推進」に則り、持続可能な社会の構築に寄与する態度が養えるように配慮されている。 ②「ブレインストーミングやKJ法など誰でも意見が言える言語活動」や多彩な学習法による、多角的・多面的に見る力を通して「箱根町教育基本方針」の「未来に大きな理想と明るい希望を持って貢献できる人」を培う教育を行うことができる。	①問題解決学習に適した設計・計画の立て方と実習題材を豊富に掲載することで「小田原市学校教育振興基本計画」の、『学ぶ意欲を高め、確かな学力の定着をめざした授業の展開』および『個に応じた学習指導の充実』の一助となっている。 ②コラム「技ヒト」を通して学習内容を社会・生活に活かすキャリア教育の視点から、「箱根町教育基本方針」の「未来に大きな理想と明るい希望を持って貢献できる人」を培う教育を行うことができる。
	(9) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①技術を読み取る活動、施行ツールの活用、フィールドワークやインタビュー、まとめと発表の仕方など学習方法がわかりやすく示されており、主体的な学びができるようになっている。社会で活躍する技術に携わる方々のメッセージが「技術の匠」として掲載され、技術者との対話的な学びができるようになっている。「技術のつぎ（最適化）」「環境」「防災」「情報モラル」「消費者」「伝統文化」などのマークで学習を深めるポイントが示されている。 ②「リンクマーク」で他分野の内容や家庭分野との学習のつながりを示し、「他教科マーク」で他の教科との関連を示している。また、「技術の見方・考え方」を示し、「技術の最適化」の例を紹介することで、職業観・勤労観の育成につなげている。(⑥) ④問題解決例を通して、「伝統的な建築と最先端技術の融合」「国際社会における日本の技術」「郷土への興味・関心」「継承することのたいせつさ」など考えられるようになっている。 ⑧⑨導入やまとめの活動の配置が固定されている。UDフォントやふりがな、図版やイラストの配置、カラーユニバーサルデザインも配慮されている。巻末には、「技術の見方・考え方」をスモールステップで確認できるようになっている。	①すべての内容項目の章立てが共通化され、技術の基礎・基本がわかりやすく学べる構成になっている。また、実習の基礎技能は別冊の「技術ハンドブック」で確認しやすくなっている。進路の選択を考えられるように、「先輩からのメッセージ」のコーナーが設けられ、技術者・未来の自分との対話的な学びができるようになっている。構想を具体化するに当たり、思考の流れ、頭の中を整理できる表があり、学習を深めることができる。 ④伝統技術や日本の文化について考えられるコラムが設定されている。また、未来の社会像「Society5.0」の特集ページや、社会の発展と技術について自ら考察できるよう工夫されている。 ⑤題材の実践を通して問題解決の力がつく構成になっている。「技術ハンドブック」や「切り取り式設計計画表」など実習が進めやすい構成になっている。 ⑦技術が持つプラス面とマイナス面の両方に生徒の意識が行く工夫がされている。 ⑧⑨読みやすさの工夫がされている。見やすさ、情報量、文字サイズ、3文構成などが工夫されている。重要語句は青の太文字、資料は黄色のマーカーなど見つけやすい工夫がされている。
(2) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①各内容の分量は、時数、学期、学年配分などからみて偏りがなく適切である。 ②表紙をめくると目次になっており、学習内容が見渡せるようになっている。また、巻頭の「教科書の構成」では、教科書の構成マークの意味について説明し、教科書の構成を十分に理解してうえで活用できるようにしている。 ③本文・イラスト・写真・図表等の配分は適切で、かつ関連を持たせた構成にしている。色覚特性に関する専門家の協力のもと誰でも読みやすい工夫がされている。	②生徒が音読しやすいように、文章は読みやすい3文構成で簡潔にまとめられている。「見つける」→「学ぶ」→「振り返る」という3ステップで構成され、作業手順も明確になっている。学習の流れの中で「基礎知識」「基礎技能」「安全」を学び、考える場面が設定されている。 ②教科書の下段には技能チェック欄で学習の振り返りができるようになっている。 ③一連の流れが写真で示され、キーワードと解説が適切に示されている。	
イ 教科・種目別の観点	① 実践的・体験的な活動を通して、基礎的な知識及び技能の習得やそれらを生かした思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮がなされているか。	①生徒自身の問題解決に導くために、「問題の発見・課題の設定」「設計・計画」「製作・制作・育成」「評価、改善・修正」の流れを統一的に示すとともに、「問題解決カード」としてワークシート例が掲載されている。これにより、見通しを持って課題に取り組むことができる。 ①問題解決に必要な基礎的な技能を「TECH Lab」にまとめて掲載し、問題解決の際に選択して活用することができる。	①各工程で学ぶべき基礎技能や作業のポイントが大きな写真付きで詳しくまとめられている。また、設計・計画の流れを各編共通の4ステップ（問題の発見、目的・条件の設定、構想・計画の具体化、計画のまとめ）にまとめることで、生徒が問題解決の力を養えるように工夫されている。 ①巻末に付属した設計計画表では、生徒個人の設計・計画を、手順を踏んで自らまとめられるようにし、問題解決の力を定着させられるように工夫されている。
	② 「技術の見方・考え方」や「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習となるよう、内容構成に工夫や配慮がなされているか。	②技術分野のガイダンスにおいて、技術の見方・考え方が「最適化の窓」として示されている。この「最適化の窓」をのぞき、生活や社会における技術を見ることで、技術の工夫に気付くことができるように配慮されている。 ②各編1章の巻末には「チェック 技術の見方・考え方」があり、その章で学んだ技術の見方・考え方についてまとめるとともに、2章の問題解決における「問題の発見」につながるよう工夫されている。	②1・2・3章の構成を学習指導要領の(1)(2)(3)に対応させることで、生徒の発達段階に応じて技術の見方・考え方を、関心の喚起から技術の活用へと徐々に育まれるように工夫されている。 ②学習ごとの冒頭の「めあて」と、ページ末の「振り返る」が対応しているため、生徒自身での学習の振り返りが取り組みやすくなっている。また、編の終わりには、観点別に「まとめ」と「振り返り」ができるよう工夫されている。
	③ 既存の技術の理解を図る学習過程や、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程が取り上げられているか。	③問題の発見や課題の設定の際に、考えや意見を整理する手段として、フィッシュボーンや5WHなどの思考ツールを紹介している。また、ブレインストーミングやKJ法でのアイデアを多く出す方法も紹介している。 ③各編の導入において、身の回りの製品や社会における技術の最適化について取り上げ、「技術の見方・考え方」によって、既存の技術の工夫を読み取ることができるように工夫されている。	③技術のプラス面とマイナス面を理解して、わたしたちの未来の社会につなげることができるように、生徒が自らの問題としてとらえることができるような資料が充実している。 ③各編のまとめでは、技術の役割や活用についてまとめることで、これまでに学んだ技術の見方・考え方を働かせたり、技術の問題解決について考えたりまとめることで、思考力・判断力・表現力の評価ができるよう配慮されている。

	発行者の略号	開隆堂
	書名	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
ア 教科・種目に共通な観点	①編纂の趣旨と工夫	①実践的・体験的な学習活動を豊富に設定し、その活動を通して生徒が自立して主体的により良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて必要とされる基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるように編集されている。 ①各内容とも「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」の順で系統的・発展的に編集されている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①幅広い知識と教養の基盤となる、技術分野の基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得できるようにするとともに、生活の中の真理を追究できるようになるために、科学的な根拠をもとに、技術を理解・習得できるようにしている。 ②「自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動する」問題解決的学習を通して、創造性や自主性及び自立性を養うことができるようにしている。 ③創造・工夫する力、他者とかがわる力、知的財産権を尊重する態度、技術にかかわる倫理観、綿密さへのこだわり、忍耐強さなど具体的な育成を図ろうとする工夫が見られる。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①技術に関する進路や職業に関する話題が充実していて、「小田原市学校教育振興基本計画」の『キャリア教育の推進』に対応している。技術との関わりについて考えながら、職業観を育み、勤労を重んじる態度を養えるようにしている。 ②基礎的・基本的な内容を中心に、豊富な資料により視野を広げているので、「箱根町教育基本方針」の『かしこく～基礎・基本の定着～～思考力・表現力の育成～』を培う教育を行うことができる。
	(9) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①問題解決的学習を通して、創造性や自主性及び自立性を養うことができる。各題材にQRコードを記載し、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ②「リンクマーク」を用いて他の内容との関連、他教科、小学校との関連を表している。 ③成果の発表や自己評価、相互評価を行うなど、言語活動の充実と言語能力を養える工夫がされている。学習のまとめごとに「振り返り」が設定されている。情報の内容では、外来語や略語が本質的に理解できるよう、英語の綴りが併記されている。 ④日本の伝統的な技術を知り、先人の知恵や技能が日本の文化を支え、発展させてきたことの理解を通して、日本の伝統と文化の素晴らしさを理解し、自らの生活の中で継承・発展できるようにしている。 ⑤実習を行う際には、科学的な原理・法則、などを踏まえて計画・設計し、身体的な技能などを用いて具体的なものが創造できるようになっている。 ⑥両立が難しいときに、何を重視するかを決定するトレードオフの関係に気付ける「トレードオフマーク」を掲載し、繰り返し学べるようにしている。また、最もよいバランスに「最適化」するように考えさせている。その他、「安全」「環境」「防災」などのマークで留意点を分かりやすくしている。
	(2) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①系統的・発展的に組織されており、分量・配分は、授業時数や多様な指導計画などに適応できる。特定の事項・事象・分野などに偏らず、全体的に調和がとれている。 ②「学習項目の目標」「基礎的・基本的な内容の習得」「学んだ知識や技術を生活に活かす学習の展開や工夫」の順に構成されており、使いやすくなっている。 ③図、イラスト、写真を用いてわかりやすくまとめられ、カラーUD、UD フォントを採用するなど、インクルーシブの視点で編集されている。
イ 教科・種目別の観点	① 実践的・体験的な活動を通して、基礎的な知識及び技能の習得やそれらを生かした思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮がなされているか。	①「気付く→はたらかせる→定着させる」の3つの活動を通して「技術の見方・考え方」を身に付けさせる内容となっている。題材も、身近な製品やサービスなどから「技術の見方・考え方」を解説している。 ①技術的に考えられるよう、「工夫」「技術の仕組み」「科学的な原理・法則」にわけている。 ①作業では、修正が必要な場合にも対応できるよう、修正方法を取り扱っている。
	② 「技術の見方・考え方」や「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習となるよう、内容構成に工夫や配慮がなされているか。	②ガイダンスのページでは、「技術の見方・考え方」を取り上げ、各編で深めている。 ②身近な製品の工夫を取り上げ、製品と結びついた発問や解説を取り入れることで、具体性のある知識を身に付けさせる工夫がされている。 ②実践的・体験的な学習活動を通して、生活をよりよくしようとする意欲を引き出し、自ら問題を見出し、課題を設定して、解決を図る力を身に付けることができるように工夫している。
	③ 既存の技術の理解を図る学習過程や、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程が取り上げられているか。	③実習例では、問題の発見と課題の設定が記載され、学習と社会との関連が分かるようになっていている。また、これからの技術について考えさせられるような話題を取り上げ、将来的な技術への関心・課題意識につながるよう工夫されている。 ③実践的・体験的な学習活動を通して、生活をよりよくしようとする意欲を引き出し、自ら問題を見出し、課題を設定して、解決を図る力を身に付けることができるように工夫している。

	発行者の略号	東書	三省堂
	書名	新しい書写	現代の書写
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	確かな「書く力」を身につけさせ、それを日常に生かす活用力を養い、自らの文字を正しく整ったものにしていく課題解決の過程で、自主・自立の精神を養い、文字と向き合う心を育てることをねらいとしている。	学習の見通しをもち、主体的に学習を進め、次の学びへの意欲が得られるように構成するとともに、日常生活・社会生活の中で活用できる書き方のポイントがひとめでわかるようにしている。さらに、学習したことを、多様な「書く」場面で主体的に活用する力をつけ、文字文化の担い手として、文字を手書きすることの意義を見つめ直すことをねらいとしている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①文字を正しく整えて速く書くための知識・技能を系統的に整理して「書写のかぎ」と名付け、原則1単元に1事項配置して、確実な習得を図るよう工夫。 ②「見つけよう」で文字から「書写のかぎ」をみつけ出したり、「生かそう」で「書写のかぎ」を他の文字に応用したりする活動を通して、思考力・判断力・表現力を養えるよう配慮。 ③巻頭の「書写で学ぶこと」で、書写学習の意義を知って学習の見通しを持ち、将来にわたって自分の文字をより良くしようとする態度を育てるよう工夫している。	①毛筆が硬筆による書写の能力の基礎を養うことをふまえ、毛筆学習のあとには硬筆で確かめられるようにし、学習内容の定着や、他の文字にも応用できる力がつくように工夫している。 ②「基礎編」を設け、姿勢や用具の扱い方など、丁寧に解説し、「書き方を学ぼう」を設け、学習のポイントを明確に提示。「振り返ろう」「書いて身につけよう」で実践的な力がつくよう工夫。 ③宛名や伝票の書き方など、生活に必要な書式を提示。 ③手書き文字の魅力を伝え広めながら社会で活躍する人物を取り上げることで、文字を手書きにすることの意義を認識できるとともに、職業観を養えるよう工夫。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	概ね良い	概ね良い
	(4) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①巻頭の「書写で学ぶこと」「書写の学習の進め方」で、見通しをもって、主体的に学習に取り組めるように配慮。 ①単元末の「振り返って話そう」で対話をとおして学習を振り返ることで、思考を深めて次の学習への意欲が高められるように工夫。 ②巻末の「書写活用ブック」や「生活に広げよう」では、国語との連携を図り、手紙やポスター、本のポップ、パンフレットなど、言語活動と関連する教材を積極的に取り上げている。 ②国語や他教科の学習と連携している単元・教材には、「教科書関連マーク」をつけて意識付けを図っている。 ④文字文化コラムを設けて、文字の歴史や用具・用材、手書き文字と活字、社会の中で使われる手書き文字など、取り上げている。 ④書き初めにより伝統的な文字文化についての理解を深める工夫。 ⑥「小学校の学習を振り返ろう」により、小学校書写との円滑な接続。 ⑥3年生に、書道の芸術性につながる文字の表現効果を学ぶ単元や、高校の内容を紹介するコラムなどを設けたり、書道で扱う古典作品の写真を掲載したり、興味・関心を高めている。 ⑦インターネット、タブレット等を活用して、毛筆の運筆動画や、関連する国語の教科書ページを見ることが出来る。 ⑧⑨紙面内の学習要素の位置を固定化。 ⑧⑨右利きでも左利きでも教材文字が見やすいように、教材文字を上、書き込み欄を下に配置。 ⑧⑨ユニバーサルデザインフォントを使用。	①学習の見通しをもちやすいよう、冒頭で「学習の流れ」について解説し、「目標」「振り返り」を設け、主体的に学習に臨めるようにしている。 ①各教科の「見つけよう・考えよう」や「やってみよう」では、対話をとおして書写の学習を深められるよう工夫。 ②学習した内容を、他教材や他教科・社会生活で活用できるようにしている。 ④「資料編」や伝統文化に親しむ資料にふれることを通して、幅広い知識を得られるようにしている。 ⑥「基礎編」や楷書の教材では、小学校での学習内容を整理して確認。 ⑥3年の教材では発展的な内容を取り上げ、高等学校芸術科書道への興味・関心が広がるようにする。 ⑦「基礎編」では、書写の学習に役立つ動画資料として、デジタルコンテンツを提供。二次元コードで、硬筆、毛筆の姿勢や持ち方、運筆、用具の使い方が確認できる。 ⑧⑨朱墨を使った二色使いや、筆の移動を示すマークなどをを用いる事で、視覚的に理解できるよう工夫。 ⑧⑨アイコンで学習内容や流れが直観的に捉えられるよう工夫。 ⑧⑨カラーユニバーサルデザインの専門家による校閲を受け、全ての生徒にとって見やすく、わかりやすい配色。 ⑧⑨読みやすさ、学びやすさを追求して開発した、独自の明朝体・ゴシック体。 ⑧⑨色による区別に加えて、形の違いや、記号・番号・説明文などの補助的な手掛かりを入れている。
	(1) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮されているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①学年配当時に照らした適切な単元数、分量。 ②AB版のワイドな紙面を活用して、図版が大きく資料性が高く、書き込み欄が充実している。	①各学年の配当字数の中で無理なく学習計画が立てられる分量。
イ 教科・種目別の観点	① 毛筆と硬筆との関連をもたせるための工夫や配慮がなされているか。	①硬筆文字から「書写のかぎ」を発見し、→毛筆で書くことで確認→硬筆で他の文字を書く。 ①毛筆と硬筆の配分を考慮。	①毛筆で書いて確かめた内容を、「書いて身につけよう」などの豊富な書き込み欄をとおして、普段の硬筆の文字に生かすことができるようにしている。
	② 文字を正しく整えて速く書く能力を育成するための工夫や配慮がなされているか。	②姿勢図、用具の持ち方、扱い方などをカラー写真で掲載。 ②運筆を正しく行うための朱墨の図版。	②「書き方を学ぼう」では、正しく整った読みやすい文字を速く書くためのポイントを整理し、他の文字にも応用できる力がつくよう工夫。 ②朱墨を用いて、穂先の位置や筆脈などが理解出来るよう工夫。
	③ 日常の学習や生活に役立てる態度を育てるための工夫や配慮がなされているか。	③「生活に広げよう」では、生徒の身近な場面を題材に掲載している。ポップ、案内状、手紙、ポスター、年賀状、話し合いメモなど（「書写活用ブック」）	③「資料集」では学習場面・社会生活での書字をサポートする例を豊富に示している。手紙・送り状・のし袋・願書・原稿用紙など

	発行者の略号	教出	光村
	書名	中学書写	中学書写
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	自分の文字を教材文字と比べて課題を見つけ、その解決方法を見通して取り組むことで他の文字に活用し、一般化できるようにしている。また、その過程で自ら考えたり、仲間との対話をとおして気づいたりし、生きてはたらく書写力や、次の時代に向けた文字文化と豊かにかかわる主体的な文字の使い手を育てることをねらいとしている。	「学習の進め方」を示すことによる学びやすさ、硬筆を繰り返し練習することによる書く力の定着、書写で身につけた力を各教科の学習場面や学校生活・社会生活に生かせるような教材を位置付けたことにより、学びと生活を直結させることをねらいとしている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①はがきや手紙、包み紙や小包伝票の書き方を習得することで、幅広い知識と教養を身につけられる。 ②「課題選択教材」を用いることで、自らが課題を設定し、解決に向けて取り組めるように配慮されている。 ③多様な手紙やはがきを書く活動を取り入れたことで、書いて伝え合うことを人生や社会に生かせるように配慮されている。(例：職場体験でお世話になった地域のかたへの手紙、恩師への礼状、暑中見舞い、年賀状、絵はがき等) ④教材の言葉、文章をとおして、生命を尊ぶ心の育成や、自然、環境を意識できるように配慮されている。	①手紙やはがき、原簿用紙等の書式を整理して示し、身につけた書写力を日常生活に生かす手がかりとしている。 ①②身のまわりにある文字を取り上げた「全国文字マップ」や、ユニバーサルデザイン書体を扱ったコラム等、文字や文字文化への理解を高める教材を随所に位置づけている。 ③社会で活躍する人物の言葉や手書き文字を紹介することで、文字を手書きすることの意義を認識できるとともに、生徒が自ら夢を描き、それに向かって行動しようとする意欲を高められるように工夫されている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	概ねよい	概ねよい
	(6) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①「目的に合わせて書こう」「書写をとおして学んでいくこと」を通して、3年間で学習する内容や身につけたい力について見通しがもてるように工夫されている。 ①基本紙面では、学習ステップがわかるアイコン（「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」）を提示することで、学習活動をナビゲートし、生徒自らが学習手順をわかるように工夫されている。 ②習得した書写の力を、教科横断的な学習活動や日常生活に活用できるように関連を図っている。(例：横書きノートの例、植物観察のメモとレポート等) ④文字の変遷や短冊と色紙、日本建築と書、歴史上の人物が書いた文字、各都道府県の城址の文字等を知ることで、我が国の伝統と文化を尊重できるように配慮されている。 ⑥小学校での学習内容を図版でまとめ、既習事項に新しい学習内容を無理なく積み重ねていけるように配慮されている。 ⑥「発展」を設けることで、高等学校で学習する内容への興味・関心が高まるようにしている。 ⑦インターネット、タブレット等を活用して、毛筆の運筆動画を見ることがができる。 ⑧⑨読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ⑧⑨色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色の工夫をしている。 ⑧⑨書写の学習用語は本文と書体を変えて赤の太字で示したり、硬筆の作例に入れる書字のポイントは色文字で示したりすることで、要点が伝わりやすいように配慮している。	①巻頭に3年間の目標を示すとともに、行書についてわかりやすく解説されている。 ①全教材に「目標」「振り返り（自己評価の観点）」を明示し、学習の展開をひと目でわかるようにする（1「考えよう」→2「確かめよう」→3「生かそう」）ことで、生徒が主体的に学習に臨み、知識・技能の定着や自己の変容を高められるように構成されている。 ①各教材の冒頭等で、文字の原理・原則について考えたり、話し合ったりする活動が設定され、対話をとおして書写の学習を深め、生徒の主体性や思考力・判断力・表現力を養えるように配慮されている。 ②「行書を活用しよう」や「目標を書こう」では、豊富な作例を掲載し、書写で習得した知識・技能を、他教科や日常生活に役立てる方法をイメージできるように工夫されている。 ④身のまわりにある文字を取り上げた「全国文字マップ」や、書の用具の製造工程の紹介、文字や文字文化への理解。関心を高める教材がある。 ⑥巻頭に小学校での学習内容をまとめ、小学校からの円滑な接続を図るとともに、基礎・基本を活用の中で定着できるように配慮している。 ⑦「二次元コード」（動画資料の用意）を教材ごとに配置していることにより、適宜タブレット等で資料を見ることが出来る。 ⑧⑨目次や小さい文字には、読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン書体を用いている。 ⑧⑨学習の流れをアイコンで示したり、主たる学習要素は大きく丁寧に、それに付随する要素は小さく簡潔に示したりすることで、学習のねらいが明確で大切なことがつかみやすい構成になっている。
(5) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすい工夫や配慮がなされているか。	②教科書を大判化（A4版）し、見開きの右側に見本、左側に朱墨で書き順や筆順を示している。	①1教材1事項で構成し、学習のねらいを焦点化することで効率的に力をつけられるように配慮している。 ①表紙は明るくさわやかな印象。 ②見本のほとんどを見開きにすることで半紙原寸大で示し、字の大きさやバランスを捉えやすくしている。	
イ 教科・種目別の観点	① 毛筆と硬筆との関連をもたせるための工夫や配慮がなされているか。	①良い姿勢を保つ工夫や、鉛筆・筆の持ち方、扱い方を掲載している。 ①見開きで硬筆（「試し書き」）→毛筆（「練習」）→硬筆（「まとめ」）で構成され、毛筆で学習したことを硬筆にいかせるように工夫されている。	①教材ごとに、毛筆を硬筆に生かして確認ができるような構成になっている。 ①書写ブックを用いることで、行書で学んだことを硬筆に生かせるように、練習を充実させることができる。
	② 文字を正しく整えて速く書く能力を育成するための工夫や配慮がなされているか。	②毛筆では、穂先の通り道を朱墨で示すことで、筆遣いがわかりやすいように配慮されている。	②毛筆教材では、朱墨や筆使いを示す写真を用いて、筆脈や穂先の動きを把握しやすいように工夫している。 ②「書き方を学ぼう」では、正しく整った読みやすい文字を速く書くためのポイントを整理し、他の文字にも応用できる力がつきように工夫されている。
	③ 日常の学習や生活に役立てる態度を育てるための工夫や配慮がなされているか。	③身につけた書写力を生かせる場面やその工夫を多く取り上げている。（「横書きノートの例」（社会）、植物観察のメモとレポート）（理科）、はがきや手紙、包み紙や小包伝票の書き方 等）	③「日常に役立つ書式」では、手紙・はがきや、送り状の書き方を掲載し、学習場面・社会生活での書字をサポートする例を示している。

	発行者の略号	東書	大日本
	書名	新しい保健体育	中学校保健体育
ア 教科・ 種目に 共通な 観点	①編集の趣旨と工夫	①保健体育における「主体的・対話的で深い学び」を具現化し、未来を拓く生徒に必要な資質・能力の育成を目指して編集されている。	①知識を活用する力や知識を活かして物事を解決する力が問われる時代に、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するために、学習したことを生活に活かせる「生きた学び」を目指し、編修されている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①各章末の「学習のまとめ」の中の「確認の問題」で、知識の習得状況を確認できる。保健技能に関する実習ページでは、豊富なイラストや写真を用いて手順が分かりやすく示している。また、技能を映像で確認できるデジタルコンテンツがある。 ②各単元に「思考力・判断力・表現力等」の育成につながる発問が設定されており、課題解決に向けた取り組みができるように配慮している。 ③巻頭に「教科書の使い方」、「保健体育の学習方法」が掲載されており、「見つける」、「学習課題」、「課題の解決」、「広げる」の4ステップ構成を理解して取り組めるように配慮している。	①各小単元の本文で基礎的・基本的な学習内容を分かりやすい言葉で明示し、学習すべき内容の確実な習得が図れるように配慮している。また、知識の定着を図るため、各小単元においてキーワードで学習内容の振り返りをし、各章末では重要語句の再確認ができるようにしている。 ②各小単元の、課題を発見する活動「つかもう」、課題を解決する活動「やってみよう」、「話し合ってみよう」、「調べてみよう」、学習したことを活かす活動「活用して深めよう」などのさまざまな活動により、思考力、判断力、表現力等が総合的に育成されるように配慮している。 ③導入の活動「つかもう」では、生徒に身近な題材や自分の生活について取り上げることで、主体的に学習に取り組む態度を育むことができるようにしている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①概ね内容をふまえている。	①概ね内容をふまえている。
	(6) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①「課題の解決」では、内容のまとめごと「発問」が設けられ、資料などを主体的に読み解き理解できるように配慮している。 ②随所に「他教科マーク」を設け、他教科の学習内容との関連を簡潔に示し、教科相互の関連を図り、系統的、発展的な指導を行うことができるように配慮している。 ③対話的な学習を導くような発問が多く設けられている。また、「活用する」や「広げる」の活動を通して、コミュニケーション能力が育成されるように配慮している。 ④口絵を多く掲載し、伝統文化について学習しやすいように工夫している。 ⑤保健の技能に関するページは、イラストや写真を用いて手順が分かりやすく示されている。また、それぞれ専門家の監修によって制作したデジタルコンテンツを用意し、動画で技能を確認することができるようになっている。 ⑥各章の扉では、小学校で学習したこと、中学校で学習すること、高校で学習することを明示し、系統性のある指導ができるように配慮している。 ⑦質の高い動画やシミュレーションなど、生徒の理解を深めるDマークコンテンツを豊富に用意している。 ⑧学習の流れが一目で分かるレイアウトを心がけ、学習の見通しが持てるように配慮している。 ⑨全ての単元が提携の4ステップ「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」で構成されていて、流れが分かりやすく見通しを持って学習が進められるように配慮している。	①本文ページと資料ページを分け、学習内容の要素が見やすく、参照性が高くなっており、「主体的・対話的で深い学び」につながる活動が行いやすくなっている。 ②社会、理科、技術・家庭など、他教科に関連した題材を適宜扱うとともに、他教科に関連していることが一目でわかるようマークで示している。 ③教科書全体で活動を通して、思考したことを記述し、対話や発表をして他者に伝えることで、コミュニケーション能力や論理的思考力が育成されるように配慮している。 ④武道の成り立ち、貝原益軒の「養生訓」、日本の伝統的な食文化である「和食」などを紹介し、伝統・文化の尊重と郷土への愛の育成に配慮している。 ⑤照度計やガス採取器を用いた実験や、ストレスへの対処のしかた、心肺蘇生法などの実習などを数多く取り入れている。また、家庭や地域において保健体育で学習したことを活用できるよう、該当箇所に「家」「地域」マークを設けている。 ⑥各章の扉扉では、小学校、中学校、高等学校を通じた系統性のある学習ができるように、小学校や高等学校の関連する学習内容を示している。第3学年の最後には、高校生活に向けての生活の目標を書き込むスペースを設け、これからのような生活を送ろうと思う考えられるようにしている。 ⑦学習をより理解したり、広げたりすることができるよう、紙面に2次元コードを掲載した上で、ホームページ上にウェブコンテンツを用意し、対応するページにWEBマークを示している。 ⑧1学年では、本文を単語の途中で改行せず、読みやすい位置で改行をしている。 ⑨各章の章末資料では、学習内容に関連する資料を掲載し、学習内容をさらに広げて知識を深められるよう工夫している。「ミニ知識」や「発展」などの読み物や資料で、個に応じて学習内容を深めることができるように配慮している。
(1) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①学習指導要領の系統性をきちんと踏まえた配列になっており、生徒の発達段階に即した内容になっている。 ②配色及びデザインは、色覚問題の研究者に依頼し、ユニバーサルデザインの観点から全ページ検証を行っている。 ③全ての文字にユニバーサルデザインフォントを使用し、可読性が高められている。また、本文は明朝体、本文中のキーワードはゴシック体とし、区別しやすく配慮している。	①学習内容の系統性、領域のバランス、他教科との連携を総合的に考慮し、適切な単元配列となっている。 ②専門家の監修のもと、読みやすい、見やすい紙面となるよう読みやすい位置での改行をし、ユニバーサルデザインフォントを使用、カラーユニバーサルデザインをふまえた配色を工夫するなどして、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮している。 ③常用漢字、現代仮名遣いを原則とし、教育漢字以外には、見開きページの初出ごとに振り仮名をつけている。用語については、学術的に正確なもので中学生に合ったものを使用し、重要語句は太字にしている。	
イ 教科・ 種目別の 観点	① イラスト、写真、事例等の資料について、最新のデータを扱うなど信頼性があり、生徒が健康・安全について、自他の課題を発見し、解決することに役立つような工夫や配慮がなされているか。	①豊富な資料で興味関心を引きつけている。また、自他の課題を発見するための学習課題の設問が工夫している。	①イラストや写真は生徒の学習意欲を喚起したり、興味・関心を引いたりするようなものに厳選されている。参考資料は科学的根拠にもとづいた最新のデータを採用し、学習の助けとなるものを提示している。
	② 生徒が個人生活における健康・安全について科学的に思考し、判断するとともに、筋道を立てて他者に表現できるような学習活動が取り上げられているか。	②「活用する」や「広げる」では、学習してきた知識を活用して自分で考え、他者に伝えられるように配慮している。	②各章末の「学びを活かそう」では、学習を深め、生活に活かすため、思考力、判断力、表現力等が育成されるように配慮している。
	③ 生徒が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習活動の工夫や配慮がなされているか。	③導入で「見つける」という問題提起をすることで、自分の考えを持って授業に取り組める豊富な資料や、「広げる」という学習したことを生かしてさらに発展させていくように作成している。	③各小単元の「話し合ってみよう」「活用して深めよう」などの活動では、「保健体育の見方・考え方」をはたらかせて深い学びにつながるようになり、生涯にわたって健康を保持・増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力が育まれるように配慮している。

	発行者の略号	大修館	学研
	書名	最新 中学校保健体育	中学保健体育
ア 教科・ 種目 に共通な 観点	①編集の趣旨と工夫	①資質能力の3つの柱を踏まえ、主体的に学習に取り組む態度の育成や、多様な考え方や立場を尊重する態度の育成を目指して編集している。	①保健体育科の目標の実現と、資質・能力の育成のために、課題解決的な学習から実生活に生かし、新たな時代を切り開こうとする態度の育成を目指して編集されている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①学習を進めるにあたってポイントとなる重要語句が[キーワード]にまとめられ、文章中には太字で示している。 ②各項目の冒頭に、生徒の関心や学習意欲を引き出し、気づきや思考を促す導入発問[課題をつかむ]を設けている。 ③中学生に興味・関心のある運動・スポーツに関する話題や、中学生に関わる健康課題を積極的に取り上げている。	①全項目に、「まとめる・深める」または「実習」を設け、その時間で習得した知識をまとめたり、深めたり活用したりする学習活動ができるようにしている。また、ストレス対処や心配蘇生法など身につけるべき技能にはマークを付し、イラスト写真を多く掲載し、分かりやすい工夫をしている。 ②各単元に「課題をつかむ」、「考える・調べる」、「まとめる・深める」項目が設定されており、課題解決に向けた取り組みができるように配慮している。 ③各章末に「探求しようよ！」を設け、学習内容に関係が深く、興味を持ちやすい課題を取り上げている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①概ね内容をふまえている。	①概ね内容をふまえている。
	(7) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①グループで話し合ったり、発表し合ったりして学びを深める課題を設けている。また、言語活動の充実にもつながる内容となっている。 ②関連する内容が他教科にある場合は、[他教科マーク]をつけて示されている。 ③グループで話し合ったり、発表し合ったりして学びを深める課題を随所に設けられ、言語活動の充実にもつながる内容となっている。 ④体育理論③では、特集資料でオリンピック・パラリンピック競技大会を取り上げ、2020年大会が我が国で開催されることの意義が実感できるようにしている。 ⑤「リラクゼーションの方法」や「心肺蘇生法」など、実際に体を動かして身に付ける内容を、「実習」として新設し、写真とイラストでわかりやすく解説している。 ⑥各章のはじめには[章とびら]が設けられ、学習内容と実生活との関連を示すとともに、小・中・高の系統性を示している。 ⑦本文に関連する情報をインターネットで調べられるように[web 保体情報誌]を設けている。 ⑧見やすさ、読みやすさを高めるために、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ⑨各項目見開き2ページで1単位時間に対応され、学習指導要領に示された配当時間での指導が可能となる構成になっている。	①「学習の目標」(学習課題の明示)→「課題をつかむ」(導入課題)→「考える・調べる」(学習活動)→本文(学習内容の確認)→「まとめる・深める」(まとめ・活用)といった流れの基本で成り立っている。 ②体育実技や各教科などの関わりをまとめた「キーワード」で見る保健体育の学習内容を設け、知識や情報を関連させながら、教科等横断的に深く学ぶことができるよう工夫している。 ③話し合う、記述する、表現するなど、コミュニケーション能力や論理的な思考力の育成を促すための言語活動を随所に設けている。主に言語活動を含む学習内容には、「言語」のマークを付している。 ④口絵を多く掲載し、伝統文化について学習しやすいように工夫している。 ⑤実習・実技を取り入れている。特に、口絵が「行って、見て、学ぼう」では、地域や家庭との連携を図っている。また、各項目の最後の「まとめる・深める」では、課題解決的な学習を多く取り入れている。 ⑥各章の扉で小学校、中学校、高等学校の学習内容を見通すことができるようにし、小中連携や小中及び中高一貫教育につなげやすくしている。 ⑦学習活動におけるコンピュータ(ICT 機器)の活用について、事例の写真とともに取り上げている。調べ学習などに有用なウェブサイトなどを随所で紹介し、その箇所にはリンクマークをつけている。 ⑧ユニバーサルデザインの考えに基づいて、配色やフォント、紙色などを精査し、誰もが見やすく分かりやすくなる配慮をしている。 ⑨従来よりも大きいAB版を採用し、紙面幅に余裕を持たせ、分かりやすく構成している。また、各章末に「章のまとめ」を設け、重要語句の確認、基礎的・基本的な知識の習得とその活用ができるようにし、これらを通して自己評価をすることができるようにしている。
(8) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね適切である。 ②教科書のサイズが大きく、広げた際に見やすい構成になっている。ユニバーサルデザインフォント使用。左側のページに配置された「課題をつかむ」で意見を出し合ってから授業に入り、右側のページにある「学習のまとめ」で、個人での振り返りができる構成になっている。 ③漢字にはフリガナが振られ、見やすくしている。	①学習指導要領の系統性をきちんと踏まえた配列になっており、生徒の発達段階に即した内容になっている。 ②見やすいカラーデザインになっている。写真や絵が多く掲載され、視覚的に興味関心を持たせられる。また、本文や見出しなどの書体には、誰もが判別しやすいユニバーサルデザインフォントを使用し、読みやすさや生徒の発達段階を考慮している。 ③文章の表記・表現は、生徒に無理なく理解できる簡潔なものになっている。	
イ 教科・ 種目別の 観点	① イラスト、写真、事例等の資料について、最新のデータを扱うなど信頼性があり、生徒が健康・安全について、自他の課題を発見し、解決することに役立つような工夫や配慮がなされているか。	①p.100の交通事故の実態と原因では、死者数の割合や負傷者の割合がわかりやすくまとめられており、グラフの読み取り方も丁寧に解説されている。 p.81のがんとその予防では、肥満や生活習慣とがんのリスクの関係をわかりやすくグラフ化している。	①言葉だけでなく、科学的に理解できるよう、図やグラフ、写真などの資料が豊富に盛り込まれている。また、各項目に「課題をつかむ」を設け、学習内容の明確化を図るよう工夫している。
	② 生徒が個人生活における健康・安全について科学的に思考し、判断するとともに、筋道を立てて他者に表現できるような学習活動が取り上げられているか。	②グループで話し合ったり、発表し合ったりして学びを深める課題が設けられている。言語活動の充実にもつながる内容となっている。	②章末に設定されている「探究しようよ！」の例や、学習の仕方を示すことなどによって、課題解決的な学習が展開されるようにしている。
	③ 生徒が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習活動の工夫や配慮がなされているか。	③中学生に興味・関心のある運動・スポーツに関する話題や、中学生に関わる健康課題を積極的に取り上げている。	③「課題をつかむ」の設問が、興味関心をひくようになっている。また、章末には、覚えたことを活用し、さらに定着が図れるように、課題が提示されている。

	発行者の略号 書名	東書 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	教図 New 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
ア 教科書・ 種別別掲載	①編集の趣旨と工夫	実践的・体験的に取り組み、生活を工夫し、創造する資質・能力を育成することを目的としている。その工夫として、「家庭分野の学習の意義や大切さが伝わる豊かで楽しい教科書」「実践的・体験的な学びで、生活で生きる知識及び技能が身に付く教科書」「生活の中から課題を見つけ、主体的に解決していく力が身に付く教科書」の3つの基本的な考えで編集されている。	家庭分野に興味・関心を持ち、時代の変化に柔軟に対応できる力を育成することを目的としている。その工夫として、「幅広い知識と教養をしっかりと身につける」「自主及び自立の精神を養い、主体的に社会の発展に寄与する態度を育む」「環境の保全や国際社会の発展などに関する現代的な課題を提示し、課題を解決する力を養う」の3つの基本的な考えで編集されている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条、第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①身につけさせたい基礎的な知識・技能は「いつも確かめよう」、各章末の「学習のまとめ」に示している。 ②実習例の難易度を示してあり、「私のオリジナル」として工夫例を取り上げ、生徒の創造性を引き出すことができるように工夫されている。 ③巻頭に目標が提示され、巻末にはコンクールなどを取り上げた「学んだことを発表しよう」が設定されている。各節には「目標」と「自己評価」欄を設け、自分なりに学びをふり返ることができるように工夫されている。また、「将来を見据えた職業観や勤労観の育成を目指し、「プロに聞く！」コーナーを設けている。	①実践的・体験的に知識や技能を身につけることができるよう、「見つめる」「学ぶ」「ふり返る」の流れで展開し、定着を図っている。 ②各章末にある「学びを生かそう」では、身につけた知識・技能を生かした課題解決の流れが「問題の発見」「課題を設定する」などで示されている。 ③家庭分野の目標が、巻頭の「私の成長と家庭分野の学習」に提示している。理解度や興味・関心に応じて学習を進めることができるように、発展的な学習内容には「発展」マークがつけられている。また、社会で活躍する姿を想像できるように「センパイに聞こう！」コーナーを設けている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①「命を大切にすること」…巻末に「防災・減災手帳」があり、災害への備えなどをまとめてあり、持ち運べる手帳となる。 ②③④どの地域でも使用しやすいように、題材が組み替えやすくなっている。また、実習例を豊富にすることで、幅広く選択できるようになっている。	①「命を大切にすること」…環境保全や発展途上国の労働問題などに関する現代的な問題を取り上げ、生徒が持続可能な社会の構築やグローバルな視点で考える活動につながるよう工夫している。 ②③④どの地域でも使用しやすいように、題材が組み替えやすくなっている。また、実習例を豊富にすることで、幅広く選択できるようになっている。
	(9) 内容と構成 ○中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①随所に学習の始めにできる簡単な活動例「やってみよう」「考えてみよう」などを設け、主体的に調べ、他者と協働して比較・検討し、深い学びができるように図っている。 ②「リンク」「他教科」マークを用い、分野間や教科間の関連を示し、学習の理解が深められるようになっている。 ③生活の課題と実践では、実習例や発表の仕方について具体的に例示し、書く能力やプレゼンテーション能力を高めるように工夫している。 ④「伝統文化」マークを用いて、日本の郷土に昔から伝わる食、衣服、住まいを中心に、写真とともに取り上げている。 ⑤具体的な調理や製作を通して技能が習得できるよう、取り組みやすい実習例が掲載され、身につけさせたい基礎的な技能は「いつも確かめよう」にまとめている。 ⑥各編の導入ページに、「小学校家庭科での学習」をキーワードで学び、振り返りながら中学校の学習に入ることができるように工夫されている。 ⑦情報の収集及びその活用を検討し、意思決定するプロセスが、「よりよい商品の選択と購入のための意思決定のプロセス」で示されている。 ⑧色覚の多様性に配慮し、色のみではなく文字を付け足している。ユニバーサルデザイン書体を採用し、字形を判別しやすいように表記している。また、見開き2頁に「目標」から「まとめよう」までが配置されている。 ⑨基本的な実習の技能などを「いつも確かめよう」コーナーにまとめて示している。各編末には、「学習のまとめ」を設け、学習の振り返りができる。	①随所に話し合ったり、発表したりする活動例「やってみよう」「話し合ってみよう」などを設け、主体的・対話的で深い学びができるように図っている。 ②「リンク」マークを用いて、分野間や教科間の関連を示し、学習の理解が深められるように示している。 ③節目ごとに自分の言葉でまとめる「私の学び」や、「発表してみよう」などの言語活動が学習過程の各所に設定されている。 ④「伝統文化」マークを用いて、日本の伝統的な年中行事や、衣食住の生活にかかわる日本の伝統文化を取り上げている。巻頭・巻末部分には行事や暮らしに関するマークなどがまとめてあり、随所に学習を深めるための参考資料も掲載している。 ⑤学習過程の各所に「やってみよう」を設け、実習・製作などの活動例が掲載されている。 ⑥「リンク」マークを用いて、生徒が見通しをもった学習ができるよう、小学校、高等学校との学習の関連を示している。 ⑦商品を選択し購入する意思決定のプロセスの題材が、「買い物意思決定のプロセス」に設定されている。 ⑧UD フォントを使用し、ルビも大きくしている。また、カラーユニバーサルデザインの視点から、図やグラフの色遣いで色による区別がなく、色の境界がはっきりと識別できるように配慮している」と表記している。また、各節「見つめる」「学ぶ」「ふり返る」の3ステップで構成されている。 ⑨各編の「やってみよう」「学びを生かそう」「章末のまとめ」が基礎・基本から発展的な題材へと順に記載されている。
(4) 分量・装丁・表記等 ①各内容の分量とその配分は適切であるか。 ②体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①全3編「私たちの食生活」「私たちの衣生活」「私たちの住生活」「私たちの消費生活と環境」「私たちの成長と家族・地域」で構成されている。 ②ガイドダスが14頁あり、学習の目標・内容の確認、生活チェックによる振り返りもできるようになっている。 ③「目標」「始めの活動」「まとめの活動」などを全て同じ位置に配列し、生徒が混乱しないように配慮されている。また、課題を意識しながら学習が進められるようにさまざまなマークで表示し、製作や調理などの手順はページの見開きに合わせた左から右に記載されている。 ④各食品の目安量や幼児の体の大きさなどの実物大写真を掲載するなど、写真や資料から視覚的に捉えることができる。重要語句はゴシック体で強調している。衣食住に関する独特な言い回しや名称を、巻末で解説し、正しく理解できるように配慮されている。	①全3編「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」と選択「生活の課題と実践」で構成されている。 ②各編「導入」「やってみよう」「学びを生かそう」「章末のまとめ」で構成されており、編末の「学習のふり返り」では、3つの観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」が示されている。 ③製作や調理などの手順は、縦一列の流れで記載されている。 ④献立シールが巻末にあり、献立を考える際に使用できるようになっている。 ⑤文章は精選されて文章量を抑えてあり、重要語句は青色の太字で色を変えて分かりやすくしている。また、写真だけでなく温かみイラストを使い、生徒の理解が深まるように工夫している。	
イ 教科書・ 種別別掲載	①実践的・体験的な活動を通して、基礎的な知識及び技能の習得やそれらを生かした思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮がなされているか。	①随所に「活動」を設け、実践的・体験的な活動を通して思考力などの育成を図る工夫がある。実習や生活での実践に必要な必ず身に付けさせたい基礎的・基本的技能を「いつも確かめよう」コーナーでまとめて掲載しているので見返しやすい。 ①具体的な調理や製作を通して技能が習得できるように、参考例を設けて生徒が取り組めるように手順をわかりやすく示している。	①教科書を通して学習の流れを統一してあり、各章の「やってみよう」で実践的・体験的に基礎的・基本的な知識や技能を身につけ、「学びを生かそう」では、身につけた知識・技能を生かして、生徒が工夫しながら課題を解決する学習に取り組める構成になっている。 ①巻末の「生活の課題と実践」に、自分の生活の中から問題を見出し、知識・技能を活用する取組が示されている。
	②「技術の見方・考え方」や「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習となるよう、内容構成に工夫や配慮がなされているか。	②各編の導入では、生活の営みに係る見方・考え方をキーワードで例示し、多角的な視点から考えたり、判断して決定したりして、問題解決に取り組めるようにしている。 ②吹き出しのゼリふは見方・考え方を示唆する内容になっており、生徒が見方・考え方を働かせて思考し、深い学びが実現できるように図られている。	②一連の学習過程の中で関連する内容にマークを用いて示し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせることのできる構成になっている。 ②各項目の導入部分「見つめる」では、生活の身近な問題を取り上げた対話場面を通じて、生徒の見方・考え方を働かせて理解を深めることができるようになっている。
	③既存の技術の理解を図る学習過程や、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程が取り上げられているか。	③巻末の「生活の課題と実践」では、生活の中から問題を見つけて課題を設定し、その課題を解決するために計画、実践、評価、改善する学習過程が示してある。また、主体的・対話的で深い学びを通して、問題を解決する能力を高めるための活動例が挙げられている。 ③巻末に「防災・減災手帳」が付録として掲載されており、家庭分野での災害について学習できるようになっている。教科書と切り離して持ち運びできたり、記入欄「自分や家族と考えたことが記入できるように」なっていたりして、生活に活用できるようになっている。	③「学びを生かそう」や「生活の課題と実践」では、問題の発見から課題の解決、次の課題へつなげる6つのステップの流れに沿って課題解決学習を繰り返すことで、課題を解決する力が身につくように図られている。 ③生徒が自分の課題を設定しやすいように巻末には実践例がまとめてあり、「課題設定のヒント」「私の課題例」が示してあり、生徒が課題を見つける参考となる。

	発行者の略号 書名	開隆堂 技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生	
ア 教科・種別 共通な観点	①編集の趣旨と工夫	地域と社会(国内、国際、自然)とかわりながら、命と暮らしを大切にすること、自立について学ぶことを目指している。「自立と共生を目指す教科書」「持続可能な社会の実現に向かう教科書」「命と暮らしを守るための教科書」の3つの基本的な考え方で編集されている。	
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①生活の自立に必要な基礎的な理解と技能が定着するように、小課題「やってみよう」などで実践的・体験的な学習活動を通して身に付けられるように構成している。 ②各章末にある課題解決学習の「生活にいかそう」「ふり返し」では、思考力・判断力・表現力の育成を目指した学習に取り組めるようにしている。 ③授業の導入で学習の動機づけができるよう、「ガイダンス」は家庭分野のはじめに、「わたしの興味・関心」は学習のまとまりのはじめに、導入課題は毎時間ごとのはじめに、小さな課題を配置している。また、多種多様な職種で働いている人へのインタビュー「先輩からのエール」コーナーを設け、進路のヒントやキャリア教育につながるように工夫され、生活に結びつけるようにしている。	
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①「命を大切にすること」…命と暮らしを守るための資料が巻末にあり、防災の基礎知識と心構えが示されている。 ②③④どの地域でも使用しやすいうように、題材が組み替えやすくなっている。また、実習例を豊富にすることで、幅広く選択できるようになっている。	
	(9) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①ガイダンスで主体的・対話的・深い学びがどのようなことか具体的に示されている。随所に生徒同士で対話する活動例「話し合ってみよう」「発表しよう」を設け、深い学びができるように図っている。 ②「他教科」リンクマークを用いて、他教科、他分野の見方・考え方も働かせながら、生活を営む視点でそれらの学びを結びつけられるように示している。 ③実践的・体験的な学習活動を通して言語活動ができるように、実習の際の計画を立てる場面やレポートの作成、発表の場面で学習過程の各所に設けられている。 ④「伝統文化」マークを用いて、日本人としての誇りが育まれるように日本全国各地の伝統文化を掲載し、世界の衣食住にも目を向け、世界的視野から考えられるようにしている。 ⑤学習の途中で学びを理解する小課題の「話し合ってみよう」「やってみよう」「考えてみよう」「発表しよう」などの体験的な活動が取り入れられている。 ⑥「小学校の学び」の表示を用いて、小学校での学習をふり返し、中学校の学習に生かせるようになっている。また、高等学校に関連が深い内容を「発展」として扱われている。 ⑦節目「情報を活用した上手な購入」において、コンピューターや情報通信ネットワークを使用して情報収集したり、学んだことを発表したりして活用できる場面で掲載されている。 ⑧UI フォントやカラー・リアプリーを取り入れ、色覚の個人差を問わず、できるだけ生徒が見やすくなるようなデザイン上の配慮をしていると表記している。また、各項目にある「学習の目標」は冒頭右上にわかりやすく示している。 ⑨学習の目標、導入課題、本文と関連し、ふり返しで自己評価する形式となっている。学習のまとまりごとに、実生活に即して学習を総合する課題「生活にいかそう」が設けられている。	
	(5) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①全3編「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」と「生活の課題と実践」で構成されている。 ②製作や調理などの手順は、生徒の視線の流れを考慮してすべて横流れのデザインで統一されている。調理手順の写真は、実際の調理がイメージしやすいように、実習する生徒の視線から見たアングルを掲載している。 ③学習のポイントや情報を、吹き出しや各ページ下に豆知識として示している。 ④幼児の手足の大きさや、食品群別摂取量のめやすを実物大写真で掲載するなど、写真や資料から視覚的に捉えることができる。調理実習の食物アレルギー物質を含む食材については、黄色いマークで示し、明確に伝わるようにしている。	
イ 教科・種別 個別の観点	① 実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的な知識及び技能の習得やそれらを生かした思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮がなされているか。	①学習過程は、「主体的・学習への関心を高める」②対話的・学習課題に取り組む③深い学び…生活に生かす」の3段階で構成している。「深い学び」では、基礎的な知識・技能の定着を図り、思考力・判断力・表現力を使ってまとめる活動例「やってみよう」「話し合ってみよう」などが設けられている。 ①「調理法Q&A」が設定され、科学的根拠を具体的に掲載している。	
	② 「技術の見方・考え方」や「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習となるよう、内容構成に工夫や配慮がなされているか。	②ガイダンスで生活の見方・考え方について示してある。 ②生活の営みに係る見方、考え方を生かした学習活動「生活にいかそう」「ふり返し」が各節の終末に設定されている。	
	③ 既存の技術の理解を図る学習過程や、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程が取り上げられているか。	③巻末に「生活の課題と実践」についてまとめて掲載しており、生徒の日常生活から問題を見出し、課題を設定できるように6つのステップに沿った学習過程やまとめ方、実践例が挙げられ、主体的に様々な解決方法を考える手立てが示されている。 ③課題の実践例に、「A 家族・家庭生活」「B 衣食住の生活」「C 消費生活・環境」の各編の学習内容のかわりをして示している。 ③過去の災害の経験から学び、生活を見直すことができるように「安全」「防災」マークが教科書全体を通して随所に触れている。巻末には8頁にわたり、防災についての基礎知識と心構えをまとめてあり、防災意識を高めている。	

	発行者の略号 書名	東書 新しい社会 地理	教出 中学社会 地理 地域に学ぶ
ア 教科・ 種目に 共通な 観点	① 編集の趣旨と工夫 (7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①「主体的・対話的で深い学び」を通じて、持続可能な社会の実現を目指す。また、社会的な見方・考え方を働かせ、課題解決的な学習のプロセスを取り入れることにより考える力を育成する工夫がされている。 ①中学校社会科で習得すべき知識などを発達段階に応じて盛り込んである。特に、つまづきやすい事項は、巻末の「用語解説」で補足説明がある。技能では、「スキル・アップ」という項目において、資料の読み取りや、調べ学習の手法が紹介されている。 ②単元内で対話的な学習の場を設けることで、思考力・判断力・表現力を活用して積極的に社会参画し、他者と協働しながらよりよい社会を築こうとする意識と態度を養う工夫がされている。 ③教科書第3章日本の諸地域では、日本各地の人々が自分たちの仕事や生活の様子を語るインタビューの場が充実しており、勤労観や社会参画の意識を高める工夫がされている。	①「学校だけでなく、家でも楽しめる教科書」をテーマに掲げ、グローバル化時代を生きる地理学習のための工夫が紙面・内容に見られる。 ①冒頭の「地理へのアプローチ」で地図やグラフの見方などが解説されており、知識・技能の習得が補助されている。 ②見開きにある「読み取ろう」や「確認!」、「表現!」で思考力・判断力・表現力を鍛えられるような発問が工夫されている。 ③各見開きのタイトルには学習を自分事としてとらえることを目指して主題、副題が設定されており工夫されている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	地域学習では身近な地域の将来像について話し合ったり発表し合ったりする対話的な場を充実させることで、主体的・協働的に参画する意識を養うことができるため、各市町の方針に関連している。	地域調査の部分では課題をとらえて調べ、地域に発信する流れとなっており各市町の方針にも合致している。
	(4) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①小集団での参加型学習「みんなでチャレンジ」を設けることで、話し合いなどの対話的な活動を通じて多様な意見に触れながら学習を深めることができる。 ②環境問題や自然地理学では理科とリンクするところがあり、食文化、諸地域の言語にも触れていることから家庭科や英語などにも関連性が見られ横断的に学習ができる。小中の系統性、3分野の関連にはマークがある。 ③小集団での参加型学習が取り入れられていることにより、概ね良好といえる。 ④教科書内には、重要文化財・世界自然遺産・文化遺産・無形文化遺産にマークがついていることで視覚からのアプローチができる。 ⑤写真や図を効果的に用いることにより、調査、見学などの興味・関心を惹くような工夫がなされている。 ⑥各単元の導入部に、小学校で学習した用語や写真で振り返るページが設定されているため、小・中の学習を円滑に接続することができる。 ⑦具体的な資料を使う「スキル・アップ」で身につけた技能を活用することで、情報収集能力や読み取り、まとめの技能が養われる。 ⑧地理の学習の中で必要不可欠なことや、生徒がつまづきやすい事象については、巻末の「用語解説」で簡潔な説明を加えることで自ら補足することができる。 ⑨社会科以外の教科でも既習事項の内容にはマークをつけることで、他教科の学習との連携を通して、社会的事象や現代的な諸課題を取り入れることにより、より深く理解することができる。	①見開きごとに「学習課題」と「確認/表現」が設けられ、章・節ごとに「学習のまとめと表現」が用意され主体的、対話的な学習ができるよう工夫されている。 ②他教科ではなく、分野ごとのつながりや小中高のつながりについては、見開きごとの「関連」などで示す工夫がされている。 ③キャラクターの言葉で、資料について言語化されており育成につながっている。 ④「地理の窓」や世界の州や日本の地方学習で、各地の伝統や文化に関する記述、写真が多数あり充実している。 ⑤「地理の技」で地図やグラフにふれたり書いたり活用する機会が設定され、体験活動の充実がはかられている。 ⑥特色として「小学校・中学校・高等学校の学びのつながりを意識した内容・構成」が紹介されており円滑な接続が促されている。 ⑦編ごとのタイトルページに「まなびリンク」としてインターネットを利用して学びを広げられるサイトが紹介され、情報活用能力の育成につながっている。 ⑧支援教育やユニバーサルデザインの視点を大切にしている。 ⑨本時ページ、その他のページ、折込み資料などに生徒の興味・関心を引きつける工夫、各ページに段階ごとの問いが用意されている。
(5) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね適切である。 ②概ね良好である。 ③写真や絵図が多く使用されていて生徒の興味・関心を惹き出す工夫がされている。	①概ね適切である。 ②写真やイラストが適度に配置されており、目次が見やすいように工夫されている。 ③概ね良好である。	
イ 教科・ 種目別の 観点	① 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。 ② 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	①地理的分野の教科書の図版との連携を図る一方で、歴史的な分野、公民的分野の学習とも連携したページや資料を設けてマークをつけることによって社会的事象を多面的・多角的に考察させることができる。 ②各単元の学習を、単元全体を貫く問いである「探求課題」と、その解決を補助する問いである「研究のステップ」、1単位時間の学習のめあてである「学習課題」の3段階の問いで構造化し、細かいステップで課題を解決していくことで、多面的・多角的に考察・表現することができる。	①世界地誌の学習では「地理的分野とSDGs」をテーマとした内容が扱われており、意識して学習できるように工夫されている。 ②「ヨーロッパ州」の学習に見られるように、物事を一面的にとらえるのではなく批判的に読み解くような工夫が各所に見られる。
	① 課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③地理的な見方・考え方を、「探求課題」→「探求のステップ」→「学習課題」→「チェック＆トライ」に反映することで、「深い学び」=追究・解決する活動へとつながる。	③編、章、節、1単位ごとに課題、確認、表現などの流れが用意されており、最後の地域学習ではとらえ、調べ、発信することで、それまでの活動のまとめができるように工夫されている。

発行者の略号		帝国	日文
書名		社会科 中学生地理 世界の姿と日本の国土	中学社会 地理的分野
ア 教科・ 種目 に 共 通 な 観 点	①編集の趣旨と工夫	異文化理解や国土理解から、深い学びにつなげ、グローバル化する国際社会の中で生き、各地に見られる諸課題の解決に向けて主体的に取り組む力を育む工夫がされている。	「新しい時代の主権者を育てる教科書」として、生徒の確かな成長と国際理解の深まりを願い、地理的な見方・考え方を働かせながら世界や日本を多面的・多角的にとらえ、公民としての資質の基礎を養えるようにしている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①さまざまな地域の実社会の人々の具体的な話を紹介するコラム「声」や写真資料から、勤労を重んじる態度を養えるようになっている。 ②「未来に向けて」では、環境、防災、共生を主題としたコラムがあり、持続可能な開発目標の意義を理解することができるようになっている。 ③人々の営みを映し出す画像・イラスト地図により、学びに向かう意欲を涵養できる資料が豊富である。	①単元の終わりに「学習のまとめ」を作り、学んできた学習内容のまとめができるように工夫されている。 ②「チャレンジ地理」「アクティビティ」のページを設け、シミュレーションやディベートなどの題材が提示されており思考力・判断力・表現力を育成するための工夫がされている。 ③「自由研究」のページを設けて日本や世界のことを身近に感じられる課題や資料を提供したり、「チャレンジ地理」で自分のこととして考えさせる課題を提供したり工夫されている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	「地域のあり方」でも持続可能な社会を実現する例として提示してあるため、より具体的に地域のあり方を構想することが期待できるようになっている。	概ね良好である。
	(9) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①コラム・特設ページでバラエティにとんだものが紹介されている。 ②理科との関連や道徳的な配慮事項をふまえて題材や写真が吟味されている。 ③章（節）の学習を振り返ろうや確認しよう、説明しようで言語活動備えた学習のふりかえりの場面がある。 ④さまざまな写真資料や、読み物資料が掲載されている。 ⑤身近な地域の調査の方法や展開などが示され、社会参画や体験を考慮するような工夫がされている。 ⑥小学校の学習をふりかえる「問い」を糸口に中学校の学習に結びつけ、各本文ページの下端に小学校での既習事項が掲載されている。 ⑦「技能をみがく」で基礎的な技能を学べ、資料活用問いから活用できるようになっている。二次元コードの利用で、資料の一部をパソコン等で、閲覧でき、生徒にとっての理解しやすさを向上する工夫がされている。 ⑧識別しやすい色を使用、線種を変えるなどの工夫があり、色以外の情報からも読み取れる。ユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ⑨章や節、各本文ページの冒頭の問いから学習の内容に見通しがもてる工夫がされている。	①単元を通して実現できるように構成されている。（導入部分では写真を多く用い、主題の焦点化）→（単元のあらましをつかむ）→（前時の学習に基づきテーマを追求する）→（最終的に振り返る）という流れを設定することで単元を通じて、主体的・対話的で深い学びを実現するための工夫がされている。また、「アクティビティ」のページを設け、ディベートなど主体的・対話的な学習が行いやすい工夫がなされている。 ②ページの下の部分に他教科の学習内容に関係していることが書かれている。 ③ディベートの課題を提示しているページでは、他社の意見に対し、自分なりの反対意見を考えるような課題設定がなされている。また、巻末に用語解説のページがあり、重要語句が開設されている。 ④世界の諸地域の文化や日本の各地の伝統が写真などを扱い説明されている。 ⑤小単元が終わるごとに、ディベート、作図、アクティビティ、自由研究など既習事項を活かした体験活動のすすめが書かれている。 ⑥ページの下部分に小学校で学習した内容に関係していることが書かれている。 ⑦グラフが多く掲載されており、比較がしやすくなっている。また、「スキルUP」というグラフの読み取り方について書かれている記事がある。また防災学習においてハザードマップの読み取りなどが書かれている。また、デジタルマークが付いており、WEBページのコンテンツにつながるような設定になっている。 ⑧ユニバーサルデザイン（フォント、カラー）などの工夫がされている。 ⑨単元の導入部分にある、写真の資料で比較をさせてクイズ形式で質問するなど工夫が見られる。
	(1) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね適切である。 ②概ね良好である。 ③概ね良好である。	①概ね適切である。 ②インデックスによって色分けされていて、見つけたいページが見つけやすくなっている。 ③概ね良好である。ルビの書体などにも工夫がなされている。
イ 教科・ 種目 別 の 観 点	① 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	①「見方・考え方」とは何かを端的に理解できるような写真や資料をキャラクターが会話することを通して、見方・考え方はどのようなことなのかを捉えやすくする工夫がされている。	①巻頭に社会的な見方・考え方とは何かを説明するページがあり、本文のページにもタイトルの下に必ず見方・考え方のポイントが書かれており、配慮されている。
	② 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	②「章（節）の問い」の答えへの論理的な説明や、地域の特色に対する多面的・多角的な考察に取り組むことができ、また、世界、日本の諸地域では、模式図を使って学習内容を整理する活動を通じて、考察を深めるような工夫がされている。	②「ヨーロッパ州」の単元ではEUの課題などが明確に書かれている。「日本の諸地域」の「北海道地方」では本文の横に九州地方と比較するポイントが明確化されている。また「地域課題解決」の中でも多面的に考える大切さが書かれており、多面的多角的に考える工夫がされている。
	③ 課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③「節の学習を振り返ろう」では地域に見られる課題の解決に向けて考えを深める活動が行える。また、学んだ地域の課題と自分たちとの関わりを意識させるコーナーも設けられている。	③「地域のあり方」という章を設け、地域課題を解決するために手法が説明されている。

	発行者の略号	東書	帝国
	書名	新しい社会 地図	中学校社会科地図
ア 教科・種目に共通な観点	① 編集の趣旨と工夫	①地図を使いこなす「地図力」を身につけさせると共に、第四の教科書として「社会科」を総合的に学ぶための地図帳を目指している。	①「大判化でさらに、見やすい！使いやすい！」をポイントとして、紙面の編集を行っている。大判化したことにより各地図が見やすくなり、より詳しい内容も記載されている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「実質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①活用方法を示したページに「SDGs」と世界各国の課題を関連させた図や資料が提示され、多角的・多面的に考慮することができる。 ②実際のハザードマップが掲載されており、自然災害について思考・判断・表現できるように工夫されている。 ③「SDGs」と世界各国の課題を関連させた図では、各課題のゴールが示されており人生や社会に生かせるように工夫されている。	①資料から、地域の人々のくらしや、産業や工業のようすや人々の努力や工夫などが理解しやすいように書かれている。 ②現在、及び将来の社会が直面する課題や持続可能な社会について考えることができよう書かれている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	東京都との関わりなどが図で示されている。	概ね良い。
	(9) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①教科書にはない、教科書より詳しい資料が使われ主体的・対話的な学習につながる工夫がされている。 ②他教科ではないが、社会科の各分野との関連は各ページに各分野の教科書の関連している学習内容（東書のもはページ数も）が記載されている。 ③概ね良好である。 ④世界の各州、日本の各地方について「テーマ資料」のページが設定されており、伝統や文化についてより深く学ぶことができる。 ⑤活用方法の紹介ページで地理の学習だけでなく、その他での活用についても紹介されている。 ⑥概ね良好である。 ⑦読み取りやすい紙面の工夫とともに、Dマークコンテンツでウェブページを使って学びを深められるようになっている。 ⑧学びやすく指導しやすい工夫として、フラットデザインやカラーユニバーサルデザインなどに対応した紙面をなっている。 ⑨3分野の教科書との連携が図られており、資料や関連ページが充実している。	①地図帳の基本的な見方・使い方をわかりやすく解説しており、地形図では作業を通して地形図の見方が身につけられるように書かれている。 ②国名などの欧文表記を英語科、自然遺産、動物、地震などは理科の他教科につながる内容が書かれている。 ③地図から読み取る学習活動や言語活動を促すコーナーとして「地図活用」が配置されている。 ④伝統的工芸品、地場産業の絵記号、世界文化遺産の記載や伝統・文化に関する特別ページがある。 ⑤地図を用いて自ら調べる発問が書かれている。 ⑥鳥瞰表現を用いた立体主題図などの親しみやすい表現の地図が掲載されている。 ⑦学習活動を支援する二次元コードが各所に配置されている。サイト上には、（自然、降水量、人口分布、農業、工業・交通）に分かれた資料が掲載されている。また、「地図活用」の項目が書かれており、資料から読み取る課題が掲載されている。 ⑧ユニバーサルデザイン（フォント、カラー）などが配慮されている。また、インクルーシブ教育に配慮し、都道府県名などを手話で表すコーナーが配置されている。 ⑨世界は州ごと、日本は地方ごとに地図、資料が構成され、資料は地域の特色が偏らずに理解できるよう多角的に題材が選定されている。また、「学習課題」など生徒の理解が深まるような課題提示がされている。
(12) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮されているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね適切である ②教科書と同サイズで持ち運びなども含めて、ひとまとめにしやすい。 ③視覚的効果が高い版番を用いるなど、見やすく印象的な紙面構成が配慮されている。	①概ね良い。 ②インデックスなどで色分けがされ、見つけやすくなっている。サイズも大版で見やすい。 ③文字フォントや大きさが工夫されており、地図上でも見やすい工夫がされている。	
イ 教科・種目別の観点	① 一般図・拡大図・主題図・索引などは適切に配列されているか。	①概ね適切である。	①概ね良い。
	② 統計、各種の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、生徒の発達段階に即したものが適切に取り上げられているか。	②巻頭では小学校の振り返りからの展開も考えてつくられている。巻末の統計資料において、字体の工夫、マークの表示など見やすい工夫がなされ、最新のデータが授業などで活用しやすく適切に取り上げられている。	②概ね良い。
	③ 生徒が自主的に学習に取り組み、情報を読み取る技能及びまとめる技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。	③巻頭で活用方法の理解、巻末で資料の検索性を高めるページが用意されている。資料が様々な側面から見ることができ、地理的スキルを高められる工夫が随所にほどこされている。	③学習活動や言語活動を促す「地図活用」が自主学習に役立つようになっている。また、タイトル横の二次元コードにより、タブレットやパソコンで学習を深める資料やクイズなどを見ることができ、自主学習のサポートがなされている。

	発行者の略号	教出	教芸
	書名	中学音楽 音楽のおくりもの	中学生の音楽
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	○ 主体的な学びと、協働的な学習活動を重視して編集されている。教材ごとの関わりや発展的学習につながるページ(すすんで学び合おう・比べてみよう・深めてみよう)が配置されており、授業実践に活用しやすい工夫がされている。	○ 「音楽を通して社会と関わりながら豊かな人生を切り拓く力」「音楽の幅広い知識や技能」「主体的・対話的で深い学びの実現によって得られる、汎用性の高い学力」を育むことが基本方針として掲げられ、指導要領に示された目標をより具体的なイメージに落とし込んでいる。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「 資質・能力 」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「 学びに向かう力・人間性等 」を涵養するための工夫や配慮	① 教材ごとにねらいが示され、目標を意識して学習に取り組むことができる。また、教材からつながる発展的課題のページも多く配置され、楽曲を通して知識や技能を身につけられるように工夫されている。 ② はじめて触れる楽曲や楽器であっても、既存の知識や学習を応用して学べるように、教材同士の関連が示されている。 ③ 「何が同じで、何が違う?」では、音楽を通して世界とのつながりを実感できるように、「私たちの暮らしと音楽」では著作権やアウトリーチなど、現代社会の音楽とその役割について考えることができるように工夫されている。	① 教材ごとにねらいや活動内容が示され、目標を意識して学習に取り組むことができる。また、音楽記号や用語について、説明されているページ番号とともに抜き出して示されており、楽曲を通して知識や技能を身につけられるように工夫されている。 ② キャラクターたちの会話によって疑問やアイデアなどが示され、思考を深めるサポートをしている。 ③ 現在活躍している文化人・音楽家たちの言葉が、音楽を通した生き方や価値観を学ぶための教材として示されている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	① 市の基本方針に関連している。	① 市の基本方針に関連している。
	(9) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	① 「学びのユニット」として各教材が比較・関連教材として整理され、主体的・協働的な学習のヒントが示されている。 ② 外国語歌唱教材の扱いや、年表による世界史・日本史との比較、地理や理科での既習内容との関連などが示されている。 ③ 自分の考えをまとめて交流できるような紙面構成がされている。またWEBリンクでワークシートが用意されており、思考・記述する学習の充実が図られている。 ④ 郷土の伝統音楽のよさを味わい愛着をもつことができるよう、歌舞伎の鑑賞から長唄や三味線の唱歌につなげるなど、鑑賞と表現との関連が図られている。 ⑤ 「六段の調」での箏の演奏(器楽とは別扱い)、能での謡など、体験を通してより深く伝統音楽を味わう工夫がされている。 ⑥ 1年生の教科書では、歌いやすい声域の楽曲や同声合唱曲などが配置され、混声合唱への段階的な移行について配慮されている。 ⑦ 学習に役立つ情報「まなびリンク」にアクセスできるQRコードが巻頭に示されている。 ⑧ 配色やフォント、ページデザインについてユニバーサルデザインの視点で工夫されている。難しい漢字や固有名詞にはルビがふられている。 ⑨ 写真やイラストが多用され、楽しくわかりやすい構成が工夫されている。	① キャラクターたちの吹き出しによって、話し合いや対話をイメージしやすく示し、主体的・対話的で深い学びを促している。 ② 外国語歌唱教材の扱いや、年表による日本音楽史と世界音楽史の比較など、外国語や社会科の学習内容との関連が示されている。 ③ 鑑賞や創作のページでは課題とともにワークシートが示されており、思考・記述する学習の充実が図られている。 ④ 郷土の伝統音楽に興味を持ち、愛着をもつことができるよう、充実した写真資料とともに視覚的にもわかりやすく提示されている。 ⑤ 雅楽や能での唱歌、交響曲での指揮など、体験を通してより深く音楽を味わう工夫がされている。 ⑥ 1年生の教科書では、歌いやすい声域の楽曲や同声合唱曲などが配置され、混声合唱への段階的な移行について配慮されている。 ⑦ 紙面上の二次元コードに埋め込まれたURLを読み取ることによって、学習に役立つ画像などのコンテンツが閲覧できるようになっている。 ⑧ 配色やフォント、ページデザインについてユニバーサルデザインの視点で工夫されている。難しい漢字や固有名詞にはルビがふられている。 ⑨ 文字情報、イラスト、写真が適切に使い分けられ、楽しくわかりやすい構成が工夫されている。
(2) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	① 適切である。 ② 糊綴りである。 ③ 右のページから教材が切り替わることがある。背景のない切り抜き写真が多い。	① 適切である。 ② 糸綴り方式によりページを開きやすく、また丈夫である。 ③ ページ全体を使った大きな写真が、歌唱共通教材について、楽曲の世界や歌詞の内容をイメージしやすくしている。	
イ 教科・種目別の観点	① 表現及び鑑賞の基礎的な能力を養うために、[共通事項]をよりどころとして、主体的・協働的な学習の展開が図られるような工夫や配慮がなされているか。	○ 「学びのユニット」では、楽曲と関連の強い共通事項がわかりやすく示されている。 ○ 「Let's Try」「Let's Sing」など、思考力・表現力を高めるための発問や課題が提示され、主体的・協働的な学びを促している。 ○ 創作のページはワークシートを兼ねており、他の教材と関連させながら楽しく学習できるように工夫がされている。	○ 目次とは別に、表現及び鑑賞の学習内容を系統的にまとめたページが設置されており、学びの内容、関連する共通事項などが確認できるようになっている。 ○ ワークシートを兼ねた課題のページが多く設置されており、教材を通した主体的・協働的な学びを促している。 ○ 創作の課題が各学年に二つずつ掲載され、学びの手順とワークシートがともに示されている。
	② 「A表現」や「B鑑賞」の教材は、学習を積み重ねていくことができるよう、系統的、発展的に配列されているか。	○ 我が国や世界の舞台芸術について、各学年で扱いがあり、系統的な学習が可能である。 ○ 郷土の音楽、アジアの音楽についての扱いが各学年である。	○ 我が国や世界の民族音楽について、各学年で扱いがあり、系統的な学習が可能である。 ○ 創作について、学年を追って段階的に課題が設定され、3年間を通じた学習の積み重ねが意図されている。
	③ 音楽文化の理解について、多様な音楽を、身の回りの生活や社会と関連させながら学習するための工夫や配慮がなされているか。	○ 「私たちの暮らしと音楽」で、著作権について、アウトリーチ・教育活動・音楽療法について扱われており、現代社会における音楽の役割、ルールなどについて学ぶことができる。	○ 「生活や社会の中の音楽」で、アウトリーチや音楽に関わる職業、SDGsについて扱われており、音楽が生活や社会に役立つ場面を実感する学習を促している。

	発行者の略号	教出	教芸
	書名	中学器楽 音楽のおくりもの	中学生の器楽
ア 教科・種目に共通な観点	①編纂の趣旨と工夫	○ 主体的な学びと、協働的な学習活動を重視して編集されている。教材ごとの関わりや発展的学習につながるページ(すすんで学び合おう・比べてみよう・深めてみよう)が配置されており、授業実践に活用しやすい工夫がされている。	○ 「音楽を通して社会と関わりながら豊かな人生を切り拓く力」「音楽の幅広い知識や技能」「主体的・対話的で深い学びの実現によって得られる、汎用性の高い学力」を育むことが基本方針として掲げられ、指導要領に示された目標をより具体的なイメージに落とし込んでいる。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	① 学びのねらいごとに楽曲が整理され、段階を追って技能や表現力を高めることができる。 ② ギター、箏、三味線、太鼓など初めて触れる楽器についても、写真資料が効果的に配置されている。口元や手元などがクローズアップされており、視覚的に理解しやすく、また興味関心をもって学習を深められる。 ③ 教育基本法第二条の第1号から第5号との対応が示され、器楽の学習を通して多様性への理解を深めたり人間性を高めたりできるよう意図されている。	① 冒頭の楽曲が学習のまとめとしての位置づけになっており、そこに示されたねらいに向けて基礎的な技能や表現力を身につけられるように構成されている。 ② ギター、箏、三味線、太鼓など初めて触れる楽器についても、写真資料が効果的に配置されている。口元や手元などがクローズアップされており、視覚的に理解しやすく、また興味関心をもって学習を深められる。 ③ 現在活躍している文化人・音楽家たちの言葉が、音楽を通した生き方や価値観を学ぶための教材として示されている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	① 市の方針に関連している。	① 市の方針に関連している。
	(6) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	① 写真資料や解説が手がかりに音色や響き、奏法などを主体的に追求できる。また、グループ演奏や発表の例が示され、協働的に学習を深めるためのヒントが提示されている。 ② 様々な時代や地域の楽曲で構成され、外国語や社会科、総合学習などの視点を生かしての学びが期待できる。 ③ 「音のスケッチ」「何が同じで、何がちがう？」など、自分の考えをまとめたり発信したりする課題が示されている。 ④ 篠笛、尺八、箏、三味線、太鼓と和楽器の扱いが多く、学校の実態に応じて幅広く教材が選択できるようになっている。 ⑤ 写真資料や解説がポイントごとに示され、教科書を見ながら自分で練習が進められるように工夫されている。 ⑥ リコーダーの導入期には、ソプラノリコーダーと比較しながら徐々にアルトリコーダーになれていくことができるよう工夫されている。 ⑦ 学習に役立つ情報「まなびリンク」にアクセスできるQRコードが巻頭に示されている。 ⑧ 配色やフォント、ページデザインについてユニバーサルデザインの視点で工夫されている。難しい漢字や固有名詞にはルビがふられている。 ⑨ 写真やイラストが多用され、楽しくわかりやすい構成が工夫されている。	① キャラクターたちの吹き出しによって、話し合いや対話をイメージしやすく示し、主体的・対話的で深い学びを促している。 ② 我が国や諸外国に伝わる様々な音楽が紹介され、外国語や社会科、総合学習などの視点を生かしての学びが期待される。 ③ キャラクターやコラムによって考える観点を例示しながら、主体的で対話的な学習を促している。 ④ 篠笛、尺八、箏、三味線、太鼓と和楽器の扱いが多く、学校の実態に応じて幅広く教材が選択できるようになっている。 ⑤ 写真資料や解説がポイントごとに示され、教科書を見ながら自分で練習が進められるように工夫されている。 ⑥ リコーダーの教材は、同じ楽曲をアルトリコーダーとソプラノリコーダー両方で提示し、小学校の学びをそのまま生かせるように、また学校ごとに選択できるようにしている。 ⑦ 紙面上の二次元コードに埋め込まれたURLを読み取ることによって、学習に役立つ画像などのコンテンツが閲覧できるようになっている。 ⑧ 配色やフォント、ページデザインについてユニバーサルデザインの視点で工夫されている。難しい漢字や固有名詞にはルビがふられている。 ⑨ 文字情報、イラスト、写真が適切に使分けられ、楽しくわかりやすい構成が工夫されている。
(2) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	① 適切である。 ② 糊綴じである。 ③ なじみのうすい言葉について、ルビが一回目にふられている。	① 適切である。 ② 糸中綴じ方式によりページを開きやすく、また丈夫である。 ③ 白を基調とした、みやすくすっきりとした紙面になっている。なじみのうすい言葉について、ルビが繰り返しふられている。	
イ 教科・種目別の観点	① 表現及び鑑賞の基礎的な能力を養うために、【共通事項】をよりどころとして、主体的・協働的な学習の展開が図られるような工夫や配慮がなされているか。	○ 「Let's Play!」では、これまで身につけた基礎的な技能を生かし、より発展的な演奏につなげられるように、共通事項と関連づけた演奏課題と楽曲が提示されている。	○ 目次とは別に、表現及び鑑賞の学習内容を系統的にまとめたページが設置されており、学びの内容、関連する共通事項などが確認できるようになっている。
	② 「A表現」や「B鑑賞」の教材は、学習を積み重ねていくことができるよう、系統的、発展的に配列されているか。	○ どの楽器についても、楽器各部の名称、演奏するときの姿勢などを丁寧に図説したあと、平易な練習曲から徐々に表現力を高めていくよう配列されている。	○ どの楽器についても、楽器各部の名称、演奏するときの姿勢などを丁寧に図説したあと、平易な練習曲から徐々に表現力を高めていくよう配列されている。
	③ 音楽文化の理解について、多様な音楽を、身の回りの生活や社会と関連させながら学習するための工夫や配慮がなされているか。	○ 現在活躍している演奏家たちの写真や言葉が、音楽を通して生き方を学ぶためのメッセージとなっている。	○ 様々な編成やジャンルの合奏曲、また楽器に関連する生徒にとって身近な音楽が掲載され、自分の興味に合わせて学びを深めていくことができる。

	発行者の略号	東書	開隆堂
	書名	New Horizon	Sunshine
ア 教科・種目 共通な観点	① 編集の趣旨と工夫 (7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	「豊かな学びが未来を拓く」をテーマに掲げ、主体的・対話的な学びに向かい、積極的に他者や世界とつながる心とコミュニケーション能力を育成することを目指して編修されており、そのための工夫がされている。 ①Unit・Let's シリーズ(Listen, Read, Talk, Write)・Stage Activity の3つの主要単元で、知識・技能の習得と活用を繰り返しながら思考力・判断力・表現力などの育成をするよう配慮された構成となっている。 ②英語で意思や情報を伝え合う活動や協働して問題解決に当たる活動を充実させ、対話的な学習を促すとともに、話されたり書かれたりしたことの原因や背景を推測したり、自分の考えを深めてそれを表現につなげたりするようなコミュニケーション活動を充実させたつくりになっている。 ③CAN-DO リストを示し、明確な到達点に向かって学習を進められるよう構成されている。また、「学び方コーナー」では、語彙、音声、表現、文章の4種のテーマから学習に役立つコツを系統的に紹介し、生徒が生涯にわたり学び続けるための工夫がされている。	「生きたコミュニケーション能力を身につけ、自己肯定感を育む」、「確かな学力を身につける」、「『地球市民』としての豊かな感性を育む」を基本方針として編修されており、工夫されている。 ①基本的には文法シラバスで構成されているが、Scenes では新出文法の導入が、2コマのマンガ形式で示されており、イラストや音声で「目的・場面・状況」への気づきを促すなどの工夫がなされている。またマンガのイラストには、キャラクターの表情や小物、背景などの描き込みやユーモアがあり、新出文法が記憶に残りやすいしかげがある。 ②Think では推量発問や生徒同士で話し合う発問が示されており、より深い読みを促し思考力を鍛えることができる。また、Retell では「Think の内容を整理して、絵や写真をもとに相手に伝える表現力を高めることができる。新出表現を使って言語活動を行う Interact では、必然性のある場面やトピック設定のもと「理由も入れて自分の考えを言う」などのように思考力、判断力を使って論理的に表現するように促すなど、工夫されている。 ③3年間の到達目標が明確で、1年生から段階的に発展する場面・内容で、自分自身が何ができるようになったのかを意識できるような構成になっている。また、スモールステップを踏んだ活動の設定で、生徒が自信を持って学習を進められるように工夫されている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①小田原市の目指す子ども像「未来を創るたくましい子ども」の「自ら考え、表現する力」など5つの側面に合致している。	①小田原市の目指す子ども像「未来を創るたくましい子ども」の「自ら考え、表現する力」など5つの側面に合致している。
	(4) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①言語材料の知識と技能を基盤とし、生徒が自分で思考し、判断したことを適切に表現できることを深い学びととらえ、段階的に学びを深められるように活動を組み立てている。 ②他教科で学んだことを英語の視点で学ぶコーナーが設けられ、CLIL（内容言語統合型学習）へ対応したつくりとなっている。 ③「学び方コーナー」で日本語との違いに触れるなど、国語を意識した学習ができるように工夫されている。 ④各学年とも、日本の文化に触れた題材を取り上げ、自国への理解を深められるよう教材が工夫されている。 ⑤学期末に年3回設けられている StageActivity ではテーマ別の自己表現活動を通して、それまでの Unit 学習で身につけた力を確かめられるよう工夫されている。 ⑥3年生では、高等学校の学習へ円滑につなぐため、段階的にリーディングの語数を増やし、発達段階に合わせた課題が設定されている。 ⑦教科書紙面の QR コードを読み取ることで、手軽に本文と語句欄の音声を確認することができる。また Preview にはアニメーションと音声も活用できるようになっている。 ⑧視認性や書きやすさに配慮された書体を採用し、4線については第2線と第3線の間の幅をやや広くすることで小文字を書きやすく配慮されている。また、要素のデザインや配置が統一されており、イラストや写真でスローラーナーへの支援も配慮されている。 ⑨1ページあたり1時間を基本とし、全学年を通して既習事項をスパイラルに学習できる構成になっている。また、各 Unit のパート構成を同じにすることで学習の流れが見通しやすく工夫されている。	①Q&A や Share では、事実発問だけでなく、本文の内容から推測して答える推量発問やオープンクエスチョンを設けられ、生徒に「多様なものの見方」を働かせ、「深い学び」を促すための工夫が、Retell や Interact では、友達との対話的な学びの中で「こんなふうに表現すればよかったのか」という気づきを促すための工夫がなされている。 ②育成すべき資質・能力について、教科横断的な指導がしやすく、題材が多岐配置されている ③Try は毎時間の帯活動で行う Small Talk のコーナーとなっており、既習の語彙や表現を使ってペアで活動しながら、既習内容を生かした活動を無理なく行えるように工夫されている。 ④各学年とも我が国の伝統文化に触れ、他国への理解・尊重につながる題材を取り上げており、伝統文化だけでなく、中学生にとっても身近な題材もバランスよく取り交わされている。 ⑤4技能5領域を統合的に活用して行うパフォーマンス活動が設定されている Our Project は、既習表現を使って、発表活動や Show & Tell, PR 活動や記者会見、ポスター発表などに取り組む体験活動が充実した構成になっている。 ⑥読解力をつけるために、PROGRAM の Think ではほとんどの英文を読む練習ができるようになっている。また、Reading や Further Reading では、論理的な説明文や物語などを扱い、読解力を高め中高の接続がスムーズにいくように、工夫されている。 ⑦自学自習の助けとなるように、ページ上部にある QR コードを用いれば、本文やリスニングの音声再生ができるようになっている。 ⑧発音表記については、本文部分では、英語で重要な強弱を示すことと、巻末資料「単語と熟語」に掲載するなど、ゆとりを持たせて見やすい紙面にするための配慮がなされている。 ⑨定着を高める「習得」「思考」「表現」流れになっており、各ページの役割が明確で、何をすればいいかわかりやすく、自学自習に取り組みやすい。
	(4) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①分量と配分は無理のない程度に設定されている。 ②A4 版で「色覚特性の専門家による校閲を受け、カラーユニバーサルデザインの観点から配色及びデザインの検証を行いました」と表記されている。 ③本文の分量が増えた分、A4 版にすることで生徒の理解を助ける視覚資料（イラストや写真、図）を豊富に掲載するとともに、指導や学習の負担に配慮し、本編のページ数は現行の教科書と同等におさえられている。	①分量と配分は、無理なく進められる程度に設定されている ②体裁は AB 版で、「カラーユニバーサルデザイン」、特別支援の観点でも十分な配慮をしました。「識別しづらい色遣いは避ける」「造本は丁寧で堅牢です。また、環境に配慮した用紙やインキを使用しています」と表記されている。 ③1年前半では小学校英語科で使用していた手書きに近いフォント、後半は一般的な活字体に近いフォントが使用され、本課に入る前の Get Ready では 4:5:4 の割合の4線が配されている。さし絵、写真は鮮明で数が多く、学習を支援する材料として理解を助け、深めるように工夫されている。また、活字は太めで大きく、行間も十分に取られ、視認性に優れている。
イ 教科・種目別 の観点	① 「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	①各 Unit では、目的・場面・状況を意識し、4技能5領域をバランスよく活用しながら学習できるよう構成され、Let's シリーズではよりリアルな場面設定のもとで実践的なコミュニケーション力を伸ばす作りとなっている。また、説明文や物語、対話文、スピーチなどさまざまなタイプの文章を取り上げ、「概要・大意をつかむ」「詳細をおさえる」「表現につなげる」という3段階の文章の読み方を身につけるとともに、自分の考えを深め、表現する力を育成できるように工夫されている。	①PROGRAM の活動は、本文、本文の付帯活動、活動の順に4技能を基礎から総合的に育成できるように配置されている。特に多くの生徒が苦手とする、やり取りなどの「即興力の育成」に力点を置き、帯活動の Try (Small Talk)、PROGRAM 最後の活動 Interact (目的・場面・状況に応じて話す)、Our Project (メモをもとに発表する、質問に答える、感想を言う) のスモールステップを踏んだ3つの活動で育成を図ると、工夫がなされている。
	② 小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	②1年 Unit0～Unit5 までを小中接続期と捉え、丁寧につないでいる。小学校の音を中心とする学習を受け止め、「聞く」「話す」活動から授業に入るよう構成されている。中学校における4技能5領域の力をバランスよく育成する学習へと移行できるように構成が工夫されている。	②入門期に Get Ready, Program0 を配置し、小学校英語科の内容について「聞く」「話す」活動から入り、それから文字に関する内容や「音と文字の関係」について扱っており、丁寧かつスムーズに中学校英語の学習に入れるよう配慮されている。また、新出表現導入方法が小学校で慣れ親しんだ「場面シラバスで新出表現を学習する」というプロセスと同じであり、生徒が違和感なく中学校英語に入っていけるように工夫がなされている。
	③ 国際理解を深めることにつながるよう、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などを、生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	③題材や人物の出身国は、英語圏だけでなく、できるだけ多様な世界の国々から設定されており、それぞれの国の良さや違いを感じたり、言語や文化に対する理解を深められる題材になっている。特に3年ではアジアやアフリカの国々を多く取り上げるとともに、各題材を SDGs との関連を図って取り上げている。	③「グローバルな視野をもった地球市民」を育てるために、日常生活だけでなく、環境、平和、人権、共生など SDGsに関連する現代的課題を扱い、生徒に多様なものの見方や考え方について考えさせるための題材が選定されている。場面は日本から始めて広く世界に目を向けさせるように構成が工夫されており、国際理解を深め、国際協調の精神を養い、最終的には英語で自国の文化や考えを発信できる力を身につけることを目標としている。

	発行者の略号	三省堂	教出
ア	書名	New Crown	One World
教科・種目に共通な観点	① 編集の趣旨と工夫 (7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	英語教育を通して、確かな学力、国際社会に対応できる資質・能力と、豊かな人間性を、それぞれの学校段階に応じて育成することを教育理念とし、それを実現するための目標として、「こぼれを使う力を育てる」「他(人や文化)とかかわる力を育てる」「考える力を育てる」「学びに向かう力を育てる」4つの力を育成することを基本方針として編纂されており、工夫されている。 ①GET、GET Plusでは、文法事項などの基礎的・基本的な知識と、それらを読み取り、読んだり、話したり、書いたりして、活用できる技能を習得できるように工夫されている。 ②USE、Take Action、Project では、多様な題材や言語活動を通して、対話的な学びや深い学びが引き出せるように工夫されている。 ③とびら→GET→USE→Project と、学びのプロセスを「見える化」することで、学ぶ意欲を喚起し、学びに向かう力が育成されるように工夫されている。また、Lesson の最初の「とびら」では写真や Q&A を使って Lesson の題材や場面を導入し、題材に関する生徒の背景知識を活性化するなど、学習への動機づけができるように工夫されている。	生徒が楽しく英語を学びながら、外国語によるコミュニケーション能力を培い、予測困難な社会の変化のなかで主体的に生きていく力を育てる一助となることを目指して編纂されており、工夫されている。 ①各レッスンの最後に設けられている「Review」「Task」「Grammar」のコーナーに取り組むことで、本文の内容や言語材料を重層的にじっくりと理解できるように工夫されている。 ②「Project」では、5領域を総合的に活用して課題解決に取り組む活動や、生徒自身の主体的な思考・判断を加えた表現活動の工夫がなされている。また、「Useful Expressions」では、日常的な場面を設定し、目的・場面・状況に応じた表現を学べるようになっている。 ③「Tips」や「How to Study」のコーナーでは、各技能の本質に関わるアドバイスや、復習のしかたや日常生活の中で取り入れる工夫を紹介し、生徒の「学ぶ力」を引き出すための工夫がなされている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町 (7) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①小田原市の目指す子ども像「未来を創るたくましい子ども」の「自ら考え、表現する力」など5つの側面に合致している。 ①題材は、「こぼれを使うこと、思いを伝えること」「かかわることは、互いを認め合うこと」「考えることは、自分と向き合うこと」「学ぶことは、自分の可能性を広げること」の4つの柱に基づいて選定され、生徒の知的な好奇心や興味・関心にかかわるものになっており、対話的な学びや深い学びを引き出す充実した言語活動につながるよう、工夫されている。 ②他教科で習得した知識や技能を、外国語科での学びと結びつけることで、理解を深めたり、広い視野で思考・判断したり、表現をより豊かなものにできるように、題材が工夫されている。 ③小学校で聞いたり、話したりした言葉のうち、すべての中学生に発音語彙として身につけてほしい再掲語の281語は、すべて教科書本文中で扱い、脚注に太字で提示されている。 ④題材として、日本の伝統文化、生活様式などがそれぞれの学年に配置されている。 ⑤Project では、ディスカッションやスピーチなど、4技能5領域を統合する活動を設定し、思考力・判断力・表現力を育てられるように内容が工夫されている。 ⑥本文や言語活動などの分量も豊富で、確かな英語力が身につけられるように編纂されている。また、For Self-Study など、自律的な学習をサポートする資料が示されており、高等学校での英語学習に耐えうる学習スキルを身につけることができるように工夫されている。 ⑦3年間で170か所のQRコードが配置されており、本文の音声だけでなく、リスニングの音声、話すことのモデルとなる動画、発音のアニメーションなど、デジタルコンテンツが充実している。 ⑧各ページの役割や、5領域が明確になるように紙面デザインに工夫があり、見やすさやわかりやすさ、必要に応じて書き込みのスペースが確保されているなど、配慮がなされている。 ⑨基本的に見開き構成で、学習する内容が一目でわかるようになっている。また、教材の配列をわかりやすくし、パターン化することで、学習に集中できるように配慮されている。	①小田原市の目指す子ども像「未来を創るたくましい子ども」の「自ら考え、表現する力」など5つの側面に合致している。 ①巻末の「Activities Plus」を用いて、ペアでの活発な対話活動を積み重ね、お互いの表現から学び合うことで既習の表現を活性化させ、自由に活用できるように工夫されている。 ②他教科の社会、理科、国語や職場体験や修学旅行などの学校行事と連携して、学習が出来るように工夫されている。 ③「Grammar」では、レッスン内の主な言語材料をまとめて確認し、言語活動が実際に使われる文脈がわかるモデル文を参考に理解を深め、友達と会話する活動につなげられるように工夫されている。 ④世界への視野を広げ、日本の文化・伝統を見つめ直すことができるように、世界の様々な国と日本、その両方を比較することができる題材を配置し、類似点や相違点に気づかせるなど工夫されている。 ⑤「Project」では、「標識をつくる」「アンケートの結果を発表する」「将来の夢を発表する」「CAIをつくる」「卒業スピーチをする」「ディベート」など、生徒の興味・関心、発達段階にあわせて、さまざまな課題解決学習や表現活動が配置されている。 ⑥小学校からスムーズにつながった目標によって、長期的な見通しの中で目標達成度を確かめることができ、達成感を持って高校につなげる工夫がなされている。 ⑦教科書に掲載されたQRコードやURLからアクセスする「まなびリンク」で学習に役立つ情報を集められるように工夫されている。 ⑧全体をととのえる統一感や一体感、読みやすさ、わかりやすさを意識したレイアウト、安心感と安定感のある色づかい、トーンバランスに注意し、特別支援が必要な学習者への配慮がなされている。 ⑨本課などの基礎的・基本的な知識・技能の習得と、それらを総合的に活用して生徒が自ら考え表現する「Project」などの活動を通して、コミュニケーション能力の基礎を養うことができるような構成の工夫がなされている。
	(E) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①情報量は多く示されているが、記述されている内容を一律に取り扱うのではなく、各学校の目標や生徒の実態に合わせて、メリハリをつけて進められるように工夫されており、分量と配分は適切である、といえる。 ②体裁は AB 版で、「カラーユニバーサルデザインの見地より、識別しにくい配色を避け、形や記号・番号、説明文などの補助的な手がかりを設けました。色の濃淡や罫線などの工夫を凝らすことで、だれもが使いやすい教科書となるよう配慮しました」「アレルギーや環境に配慮し、植物油・インキ・再生紙を使用しました」と表記されている。 ③アルファベットを書くためのモデルとなるフォント、UD フォント、独自開発したゴシック系フォントなど、読みやすく、書きやすいフォントが使用されている。また、見やすさや正確な図版や、本文の内容に関する写真が、多く配置されており、生徒の理解を促進するものになっている。	①分量と配分は無理のない程度に設定されている。 ②色覚等の特性を踏まえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮している。 ③英文は生徒が読みやすいように折り返しの長さや工夫しており、各学年の巻末カードにはすべてミシン加工が入っていて、手で簡単に切り取って使うことができるようになっている。
イ 教科・種目別の観点	① 「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	①USE では目的や場面、状況に応じて、「まとまりのある英文の概要や要点を読み取る力」「文章の構成を考え、まとまりのある英文を書く力」「音声やデジタルリソースを工夫し、発表する力」を養うための言語活動の工夫がなされている。また、Take Action では、リスニングタスクやスキットを通して、目的や場面、状況に応じて聞く力や、即興で伝えあう力を養うための工夫がなされている。	①各レッスンの「Grammar」や Useful Expressions の中で「言語の働き」と「言語の使用場面」が明確に示されており、また多様な働きと場面が扱われている。活動を通して、実際のコミュニケーションにおける言語材料の意味や適切な使用場面が体験的に理解でき、生徒の思考・判断・表現に資するよう配慮されている。また、「即興で話す力」を育成するための活動「Activities Plus」が工夫されており、対話活動を通して、既存の言語材料を何度も活性化させながら、「生きて使える英語力」が身につけられるようになっている。
	② 小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	②1年 Lesson1～3では、聞くこと・話すことの活動から導入し、ターゲットの文法事項や文構造を含む文を取り出し、英文の類似点や相違点について問いかけをすることで、文法のルールや文構造について気づきを促し、明示的な整理や理解、練習へとつなげるなど、小学校での学びを生かし、中学校での学びにスムーズに接続するための工夫がなされている。	②小学校外国語科での学習事項を踏まえ、中学の学習への基礎をつくる活動が、1年の巻頭に Springboard 1～4 として設けられており、小学校から中学校への橋渡しがスムーズにできるように工夫されている。続く1年生の Lesson 1～3 は、小学校で行われてきた音声中心の活動（自己紹介、好きな物などについての会話、人物紹介など）を見開き単位の紙面で行いながら、言語についての知識・理解や、読むこと・書くことの技能に円滑につながる単元構成とされている。
	③ 国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などを、生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	③深い学びにつながる題材選定の4つの柱をもとに、自然科学、環境、日本や他の国・地域の文化、生徒の感性に訴える物語など、生徒の興味・関心、発達段階に合わせて、題材が選定されている。また、個性的で国際色豊かなキャラクターが登場し、本文だけでなく、小さな活動などにも同じ世界観を取り入れることで、登場人物たちを友だちのように感じながら、身近なことや日常的な話題、社会的なテーマなどを通して英語を学んでいけるように工夫されている。	③「持続可能な世界へ向けて、次代を担う中学生に、世界の多様なあり方と課題を見つめ、【自分のこととして向きあってほしい】という理念をもとに題材が選定されており、異文化および我が国の文化理解、地理・歴史、生命・環境、情報・福祉・健康、平和などの話題が豊富に取り上げられている。

	発行者の略号	光村	啓林館	
	書名	Here We Go	Blue Sky	
ア 教科・ 種目に 共通な 観点	①編集の趣旨と工夫	「グローバル社会に必要な英語の力・心・意欲を育てる」を基本方針とし、特に、「学びに向かう『意欲』が育つ」ことを目指して、各学年のそれぞれテーマを設けた工夫をしている。	「生徒が主体的に関わりながら学びを進める」「コミュニケーションを図るための基礎的な資質・能力を身に付ける」「知識・技能を活用して、思考力・判断力・表現力を育成する」の3点を基本方針とし、今後、期待される社会の姿(Society 5.0)の実現に向けて、生徒が持続可能な社会の担い手となるための資質・能力を培えるように工夫されている。	
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①日常生活に直結した場面の英語を使い、世界の生の情報に触れ、読み方や英語のルールを確認できる小教材で、活きて働く「知識・技能」を習得することができる。 ②各学年3回ずつ、タスクを取り入れた言語活動が取り入れられており、目的や場面、状況に応じて伝える内容を考えて、表現する活動が工夫されている。 ③1年「やってみよう。」、2年「見つけよう。」、3年「続けていこう。」という、各学年にそれぞれテーマを設けて、学びに向かう意欲を涵養するための工夫がされている。各教材の役割や目標がわかる構成とCAN-DOリストの掲載で学びに向かう意欲が育つように工夫されている。	①各 Unit は Get Ready, Practice, Use で構成され、言語材料への慣れ親しみ、知識・技能の習熟、活用と定着という細かい学習過程を踏んで基礎的な知識・技能が身に付くように工夫されている。 ②身近な場面の中での既習の表現を活用して必要な情報を伝え合うなどの実践的なコミュニケーションを通して表現力を養えるように、また、物語や論説文などの読み物を読み、内容や構成・表現について生徒が自分で思考し、判断できるように工夫されている。 ③Unit と Part の最初には学習到達目標(Unit の目標、Part ごとの目標)を明示し、生徒自身が何をできるようになるかを意識しながら、自律的に学習を進められるように工夫されている。また、生徒の学習意欲を高め、より深い学びへと導けるよう題材が工夫されている。	
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①小田原市の目指す子ども像「未来を創るたくましい子ども」の「自ら考え、表現する力」など五つの側面に合致している。	①小田原市の目指す子ども像「未来を創るたくましい子ども」の「自ら考え、表現する力」など五つの側面に合致している。	①小田原市の目指す子ども像「未来を創るたくましい子ども」の「自ら考え、表現する力」など五つの側面に合致している。
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①即興的なやりとりやメモを用いた発表に結びつくような活動が継続的に行われるように工夫されている。 ②職業体験や環境問題、世界の地理や文化、美術館ガイドや鳥獣戯画をテーマにした単元などで社会科や美術科などの教科だけでなく、学校の教育活動との横断的な学習になるような工夫がされている。 ③「即興で伝え合う力」を養うための帯活動教材が巻末についていたり、各単元の内容をリテリングさせたりして既習の表現や語彙をスライダリに学習し、定着がはかれるように工夫されている。 ④2年生の目標が「自分の町や日本の文化などについて、内容を整理して伝え合うことができる。」と設定されており、伝統文化や国と郷土を愛する態度を養う配慮がされている。 ⑤レストランの注文や電話での会話、空港でのアナウンスやラジオ番組の中継などリアルな場面設定で、世界を広げ、多様な見方・考え方を育てる工夫がされている。 ⑥3年生では、Your Couch で長期的な目標をもちながら、中学卒業後も継続して英語各週に取り組むことを促している。また、英単語の成り立ちとして、接頭辞や接尾辞についてイラストと共に示されており、語数が大幅に増える高校からの学習にも役立つような配慮がなされている。 ⑦教科書随所に QR コードがあり、本文の内容をスライドアニメ、会話のイメージをつかめるような実写映像を視聴できる。教科書のリスニングの音声もきけるようになっており、授業だけでなく、楽しみながら家庭で主体的に学習が進められるように工夫されている。また、学習内容についてさらに深めるために参考のウェブサイトへアクセスすることができる QR コードも掲載されている。 ⑧イラストや写真の使用で、親しみやすい工夫がなされている。また、全ての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインとなっている。 ⑨「何ができるようになるか」、「何を学ぶか」、「どう学ぶか」を意識し、主体的・対話的で深い学びのためのサイクルがある。3年間で4人の中心となる主人公による一貫した物語で構成されている。各学年での物語の題材は身近な題材から平和、AI、環境問題など様々で発達段階が考慮された設定となっている。	①随所にペアワークやグループワークなどが設けられ、意見や考えを伝え合い、理解し合うことで、より深い学習ができるように工夫されている。また、Further Study など、あるテーマについて意見を交換するなど、自分の体験を書くことを通じて、「主体的・対話的で深い学び」につながるよう、工夫されている。 ②他教科で学んだ題材や生活用品など生徒に馴染みのある題材を取り上げ、生徒が親しみを持って、基礎的・基本的な語彙や表現を身に付けられるように工夫されている。 ③複数の Unit の学習を振り返ることができるように、Target (文法事項)のまとめのページが設定されている。 ④地域、食文化、生活様式、ゆるキャラなど、題材の中で日本のことも多く取り上げることで、自国の伝統・文化について再発見できるつくりになっており、日本の伝統文化を発信する力も身につけられるように配慮されている。 ⑤Project では、4技能5領域を統合する活動を設定し、場面や状況を考え自ら判断し、コミュニケーション活動を図れるように内容が工夫されている。 ⑥巻末に、1～3年の基本文のまとめ、会話表現のまとめ、英語のつづりと発音、不規則動詞変化表、形容詞・副詞比較変化表、符号の使い方、敬の読み方など、自律的な学習をサポートする資料が示されており、高等学校での英語学習に耐えうる学習スキルを身につけることができるように工夫されている。 ⑦ICTの活用が有効な箇所には QR コードを掲載され、学習の助けになる教材（音声など）を活用しながら臨場感を持って学習が進められるように工夫されている。 ⑧誰もが読みやすいように文節で改行をしたり、学習のめあてを明記したりするなど、インクルーシブ教育に配慮されている。 ⑨生徒が見通しを持って学習が進められるように、Unit の最初に Unit の目標、各 Part に Part の目標が明示されている。1～3年生を通した目標をもって学習したり、振り返って自己評価したりできるように、巻末に Can-Do リストが掲載されている。More Information では、Unit で学んだ内容の補足情報を読むことで、理解を深められるようにしている。	
(4) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①分量と配分は無理のない程度に設定されている。 ②判型は紙面を視覚的に見せることができる横幅の広い AB 判であり、カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点で配慮がされている。 ③入門期においては、生徒が学習しやすいアルファベットのフォントを独自に開発している。「日本語の文のうち、吹き出し内などの小さな文字には、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザイン書体を採用している。」と表記されている。活動の中心となる、4技能それぞれが違う色、記号で示されている。	①分量と配分は、余裕を持って進められる程度に設定されている。 ②体裁は AB 版で、「針金を使わず堅牢な「あじろ綴じ」製本を採用し、ページを大きく開けるよう配慮しました」「書き込みやすく消しやすいく量で丈夫な用紙を採用しました」「アレルギーマシや環境に配慮し、植物油インキ・再生紙を使用しました」と表記されている。また、色覚特性や障がいのある生徒などにもわかりやすいよう、判別しにくい配色を避けたり、シンプルなイラストを扱ったりするなどの配慮がなされている。 ③行間にゆとりがあり、文章が読みやすくなるように配慮されている。また、イラストや写真が効果的に掲載され、生徒の理解の手助けになるように工夫されている。		
イ 教科・ 種目別の 観点	① 「聞くこと」「読むこと」「話すこと【やり取り】」「話すこと【発表】」「書くこと」などのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	①Unit の各パートは左ページの本文で「聞く」、「読む」活動、右ページの言語活動で「聞く」、「話す」、「書く」活動を位置づけており、スタイルが一貫しているため、各パートでバランスのとれた力を養うことができる。それぞれの領域に特化した小教材や帯教材では実社会生活に即した素材を取り上げ、興味深い題材を扱っている。	①4技能5領域の内容を各 Unit 内で適切に取り上げ、問題の横に、該当する4技能5領域をマークで表示して、身に付ける知識・技能が明確になるよう、配慮がなされている。また、めやすや場所、状況などに応じて、様々な話題に関する情報などを推測しながら理解したり、表現したり、伝え合ったりできる力を養えるように工夫されている。	
	② 小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	②小学校での既習事項（語彙・文法）が分かるように巻末付録の一覧ではマークが付いている。小学校との接続期の英文には、書き文字との差異が少ない書体で使用されている。1年の巻頭には小学校の復習や帯活動で発音と綴りのルールを学ぶ教材が用意されている。等の工夫がされている。特に小学校の音声を中心にした学びからの接続に配慮し、ビジュアルを効果的に使ったページで楽しく語彙や内容の導入をしながら、スムーズに文字による本文の学習や言語活動に慣れたいよう構成されている。	②1年の巻頭には小学校の復習 Let's Start を設定し、小学校からの学習がスムーズにつながるよう配慮されている。また、小学校の「Let's Try!」「We Can!」で学習した語彙・表現をもとにスライダリな学習ができるよう題材が選定され、工夫されている。	
	③ 国際理解を深めることにつながるよう、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などを、生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	③世界の中学生の生の声に触れられる教材を用意して、多様な文化や価値観に触れられるようにしている。英語を使ってコミュニケーションをすることの楽しさや意味を実感し、外国語学習の為の見方・考え方を養いながら、生徒の学習意欲を高める工夫をしている。	③グローバル化する社会の中で英語話者の広がりや多様性を実感できるように、教科書には多くの人種・民族の人々、世界の地域が登場するように配慮されている。また、題材を通して、職業・伝統文化・自然・社会などへの見識を深められるだけでなく、異文化理解、反戦・平和などの題材を通して、他者を尊重する気持ちや人間性をはぐくめるように工夫がなされている。	

	発行者の略号	東書	教出
	書名	新しい道徳	とびだそう未来へ
ア 教科・種目 に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	生徒たちが他者と協働しながら未来を切り拓いていく力を身につけられるように、教材を選定したり、学びを仕組んだりしている。	科学技術が進歩し社会がめまぐるしく変化しても、他者や社会とかかわり、支えあいながら、自分自身で考え、選択を重ねて生きてくため役立つような道徳の力がつくように構成されている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）」に基づき、学習指導要領において示された「 「資質・能力」 の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「 「学びに向かう力・人間性等」 を涵養するための工夫や配慮	①キャリア学習に関する教材が含まれている。また、1年では社会への参加、3年では職業選択など、学年に適した内容になっている。 ③「生命尊重」と「いじめ問題」を扱う教材では、ユニット化されていて多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。	①3年では、裁判員制度を通じて社会参画するなど、より高度な課題が設定されている。 ①情報モラル教育として、SNS との付き合い方や人間関係のあり方などについて考えられるようになっている。 ①3年ではLGBTについて取り上げており、正しい知識を身につけることができるようになっている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	各市町の方針に沿っている。	各市町の方針に沿っている。 ①1年では巻末に二宮尊徳の言葉が掲載されている。
	(6) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①新聞の投書や記事から意見を読み取る教材や、スマートフォンのメールからのやり取りから状況を読み取り、考えていく教材がある。 ②各教材のページ下部に、関連する教科が示されている。 ⑥小学校で既習した教材が掲載されていたり、いろいろな分野で働く人が扱われているなど、キャリア教育を通して高校と連携が図られたりしている。 ⑦あらすじや登場人物の紹介がある。 ⑧導入としての投げかけや漫画が掲載されている。 ⑨1つの内容項目が3学年で系統的に配置され、学年が上がるにつれてより高度なものになっている。 ⑨各教材の冒頭に、その教材が内容項目の4つの視点のうちどれに当てはまるかを色とマークで示している。	①生徒が共感的に読める教材、切実感を持って考えられる教材を掲載している。自己肯定感を高めることができる教材を取り入れ、揺れ動く生徒の心に寄り添い、自分らしさに自信が持てるように生徒を勇気づけ、向上心を育てることができるようにしている。 ③巻末に学期末に記入する振り返りシートが付属している。 ③それぞれの教材に対応する内容項目の一覧表があり、授業で感じたことなどについて簡単な記録ができる。 ④様々な分野で活躍した人物の言葉が掲載されている。（全国） ⑥1年の前半は字を大きくしてある。3年では社会との関わりや自分の生き方について深められるようになっている。 ③教材の始まりは右ページからなるよう配慮されている。 ⑨各教材の冒頭に、学習指導要領で示されている4つの視点のうちどれに当てはまるかを色とマークで示している。
(1) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮されているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	②AB判 ③ユニバーサルデザインフォントが使われている ③本文下にスペースがあり、用語の説明がある。	②B5判 ③ユニバーサルデザインフォントが使われている。 ③ユニバーサルデザインへの対応がされている。 ③固有名詞にはすべてルビが振ってある。	
イ 教科・種目 別の観点	① 道徳的な課題を生徒が自分との関わりの中で、主体的に考え、自分の考え、感じ方を明確にすることができるよう、「考える道徳」につながる内容構成になっているか。	・本文下のスペースに、「つぶやき」として教材を読みながら感じたことをメモできる。 ・巻末に「心情円」、ホワイトボードの付録があり、自分や他の人の考えが可視化される。	・すべての教材に「導入」と道徳的価値を考えるための問いが設定されている。「導入」は、学習の内容に関する意識づけと見通しのために活用する。
	② 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えるために、多様な考え、感じ方と出合い交流する「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。	・導入で問題を発見し、教材を読んだり、グループで話し合いをしたりする中で、道徳的価値を深く理解していく教材を設定している。	・「問題解決学習」に適した教材を数多く取り入れ、物事を多面的、多角的に考え、議論ができるようになっている。
	③ 発達段階に応じて、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れるための工夫や配慮がなされているか。	・「ACTION!」という体験的な学習の教材が各学年2つあり、実際に起こりうるシチュエーションについてロールプレイ形式で考えられるようになっている。	・「やってみよう」というコーナーが各学年1～2つ設けられており、ロールプレイや日常の体験を想起して話し合う活動が取り入れられている。

	発行者の略号	光村	日文
	書名	きみが いちばん ひかるとき	あすを生きる
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫 (7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）」に基づき、学習指導要領において示された「 「資質・能力」 の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「 学びに向かう力・人間性等 」を涵養するための工夫や配慮	・3年間の見通しを持った構成がされている。成長過程、学校生活、教材と教材の関連性など、さまざまな面から組み立てを考えている。 ・「きみが いちばん ひかるとき」という副題は、自尊感情を高め、「生命の尊さ」を意識させ、学習意欲を喚起し、教科書に愛着を培うようになっている。 ①各学年の巻頭に、「道徳で何を学ぶの?」「どうやって学ぶの?」「なぜ学ぶの?」について書かれており、学ぶ内容や方法、意味を確認した上で授業に臨むことができるようになっている。 ②教材末に「つなげよう」が設けられており、日常生活や学校行事、他教科などにつながるように配慮されている。 ③各学年の最終教材に、1年間の学びを振り返り、自分の中の変化やこれからの生き方を見つめる教材が位置付けられている。	道徳科の学びを通して、他者と共に社会を創造し、よりよい社会の担い手になるため、一人ひとりが自信をもってよりよく生きられることを目標として構成されている。 ①1学年の「プラットフォーム」において、アンガーマネジメントについて扱われている。 ③身近な人物から先人までの、悩みや葛藤など心の揺れやそれを乗り越える勇氣や気高さなど、多様な生き方が扱われている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	各市町の方針に沿っている。 ②1年巻末「箱根寄木細工」、2年「箱根駅伝に挑む」	各市町の方針に沿っている。 ①「小田原箱根エネルギーコンソーシアム」や二宮尊徳の報徳思想について扱われている。
	(7) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①1年間の学びを、例えば1年では、「自ら考える」「広い視野で考える」「共に学び合いながら考える」の3つの「シーズン」に区切り、段階を経て学習できるように構成されている。 ③ポートフォリオ式の振り返りシートがついており、1時間ごとの学んだことや気づきが記入できるようになっている。 ④巻末に日本全国の世界遺産や工芸など、文化や伝統を紹介するページがある。 ⑥小学校の道徳の定番教材が付録に掲載されていて、自分の考えの成長を自覚し、答えが1つではない道徳の学びを実感できるようになっている。 ⑦スガシカオ、アンジュレアキなど、ポップス曲の歌詞から考える教材がある。 ⑦情報モラルにおいて、情報機器の危機的な側面だけでなく、それらをよりよく扱い活用することのよさについて取り上げている。 ⑧中学校以上の配当の常用漢字全てにふりがなを付している。 ⑨各教材の冒頭に、その教材が内容項目の4つの視点のうちどれに当てはまるかを色とアイコン、端的な言葉で示している。	①問題把握→自力解決→集団検討を採用し、主体的・対話的で深い学びになるよう配慮されている。 ②中学社会、中学数学、美術でも、道徳教育と関連する内容が幅広く掲載されている。 ③ノート下部に、授業での学びや取り組みに関する振り返り欄を設け、主体的に考えることを促している。 ③ペアトークやグループトーク、付箋やホワイトボードを活用した効果的な議論方法が工夫されている。 ⑤高校の新設科目「公共」への接続を意識したコラムが掲載されている。 ⑤中学校で学習する漢字全てにフリガナがついている。 ⑤各教材のはじめが偶数ページ（見開きの右側）で統一されており、見やすいレイアウトになっている。 ⑧すべての教材名の下部に、人物の顔写真や登場人物のイラストが掲載されている。 ⑨タイトル付近に「主題」が示されており、生徒がその教材で何を考えるべきかがわかりやすく、取り組みやすい。 ⑨各教材の冒頭に、その教材が内容項目の4つの視点のうちどれに当てはまるかを色とアイコン、端的な言葉で示している。
	(2) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮されているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	②B5判 ③ユニバーサルデザインフォントが使われている。 ③カラーユニバーサルデザインへの配慮がなされている。色の区別だけに頼らず、文字の説明を加えてある。	②B5判 ③ユニバーサルデザインフォントが使われている。 ③カラーユニバーサルデザインへの配慮、文字の読みやすさへの配慮、図の読み取りやすさへの配慮がなされている。
イ 教科・種目別の観点	① 道徳的な課題を生徒が自分との関わりの中で、主体的に考え、自分の考え方、感じ方を明確にすることができるよう、「考える道徳」につながる内容構成になっているか。	・各学年に4か所「深めたいむ」があり、前の教材で学んだことを自分事として考えられるようになっている。	・発問がノートに印刷されていないため、生徒自身から出たテーマについて考えたり、教師が授業の方向を設定したりと、柔軟な使い方ができる。 ・発問はすべて「考えてみよう」と「自分に+1」の2間に絞られており、1つ目はねらいに迫るための問い、2つ目は学んだことを生かすための問いとなっている。
	② 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えるために、多様な考え方や、感じ方と出合い交流する「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。	・教材の理解を深めるための発問の「考えよう」のほかに、「見方を変えて」として切り口を変えた発問を設定している。	・「学習を深めるヒント」欄に、「考えを深める視点」が設けられ、多面的・多角的に考えられるようになっている。
	③ 発達段階に応じて、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れるための工夫や配慮がなされているか。	・相手の立場となって自分の気持ちを伝える活動や、自分の気持ちをコントロールする方法（アンガーマネジメント）を学び、実際にロールプレイで体験できるページがある。	・「学習のすすめ方」で役割演技や議論の様子が写真で示されており、イメージしやすく工夫されている。

	発行者の略号	学研	廣あかつき
	書名	明日への扉	自分を見つめる（1年）自分を考える（2年）自分をのぼす（3年）
ア 教科・ 種目に 共通な 観点	①編集の趣旨と工夫	自ら学び、自ら考え、よりよく生きる力を育むために、現代的な課題が数多く盛り込まれた教材で、プラス思考と未来志向を備えた生徒の育成を目指している。	子どもたちが、自分の人生を自分らしく、自分で切り拓いていける力が育めるよう、「人間のよさ」を感じられる教材が精選されている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①巻頭に「考えを深める4つのステップ」が明示されている。また、随所に特設ページが設けられ、工夫と配慮がある。 ①「クローズアップ」では、教材に関連した内容を地域や過去の実話に結び付けながら紹介している。 ①情報モラルの教材が各学年2教材ずつ用いられ、発達段階に合わせて考えることができるようになっている。 ③「遵法精神」「相互理解」「思いやり」など、様々な内容項目からいじめ防止につなげている。	①各学年の巻末に、いじめや情報機器との付き合い方など、現代的課題に関する記事を取り上げ、掲載している。 ③すべての教材の最後に先人の言葉が掲載されている。 ③道徳の内容項目に示された4つの視点からいじめについて考えることができるようになっている。
	(4) 各市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④瀬河原町	各市町の方針に沿っている。 ③2年の「クローズアップ」において、真鶴町の魚つき保安林が紹介されている。（森と海のつながり）	各市町の方針に沿っている。
	(4) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①読みもの資料だけでなく、絵や写真、図やグラフなどのバラエティに富んだ素材で構成されている。 ②各教科等での道徳性の育成につながる教材が用意され、関連を考慮しながら年間計画が作成できるよう工夫されている。 ③巻末に、学期末に記入する振り返りシートが付属している。 ③中学校で習う漢字や固有名詞にはルビがある。 ④各教材の始めが偶数ページ（見開き右側）で統一されており、見やすいレイアウトになっている。 ④情報モラルや生命に関する教材には、タイトル付近にアイコンで記されている。 ④各教材の冒頭に、その教材が内容項目の4つの視点のうちどれに当てはまるかを色とマークで示している。	①「人間としての生き方」について考えを深めるために、道徳科で学ぶさまざまな道徳的価値との関わりで「いじめ」について考える。 ②教材ごとの各教科や他の教育活動との関わりが、本冊の巻末に示されている。 ③別冊ノートに毎時間の授業の記録や考えたことある程度分量のある文章で記入できる欄がある。 ③ノートの巻末に「心のしおり」として、学期はじめと学期末に、目標や伸ばしていきたいこと、その振り返りを記入するページがある。 ④日本人として自覚をもって文化の継承・創造と社会の発展に貢献しようとする態度が養えるように編集されている。 ⑥哲学者の生き方や考え方を自分との関わりにおいて考えられる教材があり、公民との接続が考慮されている。 ⑥未習の漢字や、固有名詞にはフリガナが振ってある。 ⑥各教材の冒頭に、その教材が内容項目の4つの視点のうちどれに当てはまるかを色とマークで示している。
(4) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	②A B判 ②ユニバーサルデザインフォントが使われている。 ②カラーユニバーサルデザインへの配慮がなされている。 ③写真や図版を大きく掲載している。	②A B判 ②カラーユニバーサルデザインへの配慮がなされている。 ③イラストの配置が工夫され、文章が読みやすくなっている。 ③1年生は本文の文字がやや大きくなっている。	
イ 教科・ 種目別の 観点	① 道徳的な課題を生徒が自分との関わりの中で、主体的に考え、自分の考え、感じ方を明確にすることができるよう、「考える道徳」につながる内容構成になっているか。	・教材の冒頭に主題名を示さないことで、特定の価値観を押し付けずに生徒自らが考えられるようになっている。 ・ユニット学習で視点や内容項目の異なる複数の教材を関連させ、広い視野で考えさせる授業が展開できるようになっている。	・別冊ノートが付属しており、ノートは内容項目の解説と生徒の学びの記録で構成されている。それぞれの内容項目で学ぶべきことが明確に記されており、生徒が教材の理解を深めることができる。 ・教材で学んだ内容項目について、いっそう理解が深められるよう「thinking」が配置されている。
	② 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えるために、多様な考え、感じ方と出あい交流する「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。	・重点テーマは「命の教育」。さまざまな観点を通して「いのちの大切さ」について多面的・多角的に考えている。	・それぞれの教材に「考える・話し合う」コーナーが設けられている。「考えを広げる・深める」では、教材に関連した内容をどのように自分の生活に生かすことができるか考える発問がある。「学習の手がかり」では、その教材の理解を深めるための発問が設定されている。
	③ 発達の段階に応じて、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れるための工夫や配慮がなされているか。	「深めよう」のページの内容が充実している。 →「やってみよう」として、登場人物の立場をロールプレイで体験する活動がある。	・役割演技の動作化、追体験など、道徳的行為に関する体験的な学習を通して、道徳的価値についてより深く考えられる教材を「体験的な学習を促す教材」として、積極的に掲載されている。

	発行者の略号	日科	
	書名	生き方から学ぶ(1年) 生き方を見つめる(2年) 生き方を創造する(3年)	
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	国境や文化を超えた「普遍的な心」によって、地域社会や国、そして世界に主体的にかかわる意識を生み、これからの未来を見据えて行動できる生徒の育成を目指す。	
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①2年生では、性的マイノリティについての教材、3年では障がいのある人に対する合理的配慮について考える教材がある。 ①各学年の巻頭に「道徳科って何を学ぶの?」というページがあり、学ぶ意味を確認した上で授業に臨むことができるようになっている。 ①SNSとの付き合い方に加えて、SNSのメリットについてもふれている。	
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	各市町の方針に沿っている。 ①3年の「天地と共に」の教材で二宮尊徳が扱われている。	
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①登場人物の悩みや葛藤を共有し、道徳的問題や判断の結果を自分自身のことと捉え、考え、話し合うことで道徳的諸価値への理解が深められる。 ②学習指導要領の内容項目順に教材が配置されているため、学校独自に順番を変えて学習計画を立てることができる。 ③年度末にそれぞれの内容項目で学んだことや授業の取り組みについて振り返るための振り返りシートが付属している。 ④歴史人物やスポーツ選手などの著名人の生き方や体験から学ぶ教材がある。 ⑤現場の教師たちが執筆したオリジナル教材が多く、生徒が興味関心をもてるように工夫されている。 ⑥ワーク方式で、思考と議論を年単位で積み重ねられるようになっている。例:「二つの足跡(1年)」「あなたが見ているもの(2年)」「あなたはどう思う(3年)」また、ストーリーに連続性を持たせているものもある。	
	(エ) 分量・装丁・表記等 ①各内容の分量とその配分は適切であるか。 ②体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮されているか。 ③文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	②B5判 ③過去にどのような出会いをしてきたかで未来の選択が創られると考え、表紙の写真は上段に日本の伝統文化、下段に新しい技術が掲載されている。	
イ 教科・種目別の観点	①道徳的な課題を生徒が自分との関わりの中で、主体的に考え、自分の考え、感じ方を明確にすることができるよう、「考える道徳」につながる内容構成になっているか。	・それぞれの教材の発問は2つずつで構成されている。1つ目の発問は、その物語や内容の理科を助けるためのもの、2つ目の発問は、教材から学んだことをどのように自分の生活にいかすことができるか考える発問になっている。 ・教材の文末が工夫されていて、生徒が自然に考え出すような仕掛けになっている。	
	②自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えるために、多様な考え方、感じ方と出あい交流する「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。	・文章で表現された物語教材以外に、絵や写真から情報を読み取ったり、過去の事例を題材に話し合ったりする教材がある。	
	③発達段階に応じて、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れるための工夫や配慮がなされているか。	・ネット社会に関する教材など、現代社会について取り上げたものがあり、生徒が自身の体験を通して自分事として考えることができる。	